

海牙ノ陸軍条約ハ取立金ニ于テ(一)軍ノ需要人ハ占領地行政
上ノ需要ニ應ズル爲ニタル場合ニ限リテ之ヲ索スルヲ得ルトシ(二)
總指揮官ノ命令書ニ依リ其責任ヲ以テスルニテハ後収スルニ
トフ得ストシ(三)成レハク其土地ニ於ケル現行ノ租税賦課ニ于テ
ル規則ニ依リテ徴収スヘキモノトシ(十)一切ノ取立金ニ付テハ
納付者ニ納收證ヲ与フヘシトスヘ海牙ノ陸軍条約五二)
人民ニ對シテハ連帶ノ責アリト認ムヘカラザル但人ノ行為ニ爲メ
金銭上其他ノ連坐罰ヲ科スルヲ得スヘ(五三)故ニ都市ノ一部ノ人ノ
敵對行為ノ爲メ都市全体ニ付テハ刑罰トシテ取立金ヲ科スルヲ得ス
第四 徵 稅

海牙ノ陸軍条約ハ現出徵稅及賦課ニ于テ(一)占領軍ノ需要ノ
爲ニシテ(二)アヲサレハ之ヲ要求スルヲ得ストシ(三)占領地方ニ於
ケル指揮官ノ命令ニ依リ又ハ許可ヲ得ルニテアヲサレハ之ヲ要求ス
ストシ(四)徵稅及課税ハ其地方ノ實力ニ相應セタルヘカララスト

シ(十)人民ヲシテ其本国ノ政府ニ敵對スル作戰動作ニ加ハル兵隊
ヲ負ハシメサル性質ノモノタルヲ要ストスヘ(五)徵稅ニ依ル現出
徴稅ニ對シテハ成ルヘク即金ニテ支払フヘク然ラザレハ領收証ヲ与
ヘテ之ヲ証明スヘキナリ且之ニ付スル金額ノ支払ハ成ルヘク速ニ履
行スヘキモノトスヘ(五二)
兵士ノ宿舍ヲ命スルコトハ徵稅ノ一種ト看做スヲ得ヘキナリ兵士
ノ宿舍ノ場合ニハ一定ノ長ノ將校、兵士ニ付スル宿舍ノ場所、器具
及食物ヲ供給セシメ時ニ或ハ馬匹ニ付スル厩圍及秣第ヲモ供給セシ
ムルモノナリ物価ニ付スル徵稅ニ付スル規定之レニ準用セラルヘキ
ナリ

第十一章 陸上ニ於ケル敵ノ財産ノ破壞

第一 破壞

首時ノ戦争ニ於テハ侵入軍隊ハ屢其使用又ハ採取^{一九二}レ得タル敵ノ公
有物ハ私府ノ財產ヲ燒キ又ハ破壊セリ其ノ後戦争ニ干スル慣行協和
トナルニ及ヒテハ協和交戦國ハ國際法上敵ノ財產ヲ破壊スルノ權利
ヲ保有スト思惟セラレタリ然レトモ實際ニ於テ特別ノ理由ナクシテ
破壊ヲ行フコト希ナルニ至リ今日ニ於テハ上述ノ如キ權利ハ最早不
使用ニ依リテ消滅セルモノト認めルヲ得ヘキニ至レリ海牙ノ陸戰條
規ハ戦争上ノ已ムヲ得サル場合ノ外敵ノ財產ヲ破壊シ又ハ押収スル
コトヲ得スト規定スヘキニ至リ(一)但攻撃又ハ防禦ノ爲メ財產ヲ
破壊毀壞スルハ戦争ノ必要上ノ已ムヲ得サルモノニシテ適法ナリト
云ハサルヘカラス適法ノ砲撃ニ依ル諸種ノ財產ノ破壊モ適法ト云ハ
ルヘカラス戰術ノ際戰場ニ於テ破壊毀壞ヲ行ヒ得ルノミナラス又
戰術準備ノ爲メ又ハ攻圍ノ準備ノ爲メニナス破壊モ適法ト爲ケサル
ヘカラス又進軍、退軍、輸送、又ハ便給ノ爲メ己ムヲ得スレテ行フ
財產ノ破壊毀壞モ亦適法ナリトス敵ノ要塞ヲ占領セルトキハ又ハ破
壊スルヲ得ヘク敵ノ兵器製造所ヲ占領セルトキハ少クモ兵器ヲ破

壊スルヲ得ヘク又敵ノ野戰兵器ヲ占有セル軍隊ハ其再ヒ敵手ニ歸ス
ルノ虞アルトキハ之ヲ破壊スルニ得テ適法ナル破壊ニ對シテ
賠償ヲ爲スノ義務ナキコト實際ニ於テ認めラル
海牙ノ陸戰條規ハ占領地ニ於テ宗教、慈善、教育、技藝及學術ノ
爲ニ設ケラレタル建築物、歴史上ノ記念建物、技藝及學術上ノ製作
品ノ故意ニ押収、破壊又ハ毀壞スルコトハ禁テ禁セラレ且罰金セラ
ルヘキモノトスト定ム(一五六)

第二 一般の荒蕪

一般の荒蕪即チ敵ノ財產線ニ建物、耕作物、樹木、水産、井、
飲料品、被服類等ノ一般の破壊、毀壞、燒棄ハ之ヲ行フヲ得ヘキ
ヤ否ヤノ問題アリ海牙ノ陸戰條規ハ戦争ノ必要上ノ已ムヲ得サル外
敵ノ財產ヲ破壊シ又ハ押収スルコトヲ禁セリ(一三)一(一)号ト云
モ戦争ノ必要上ノ已ムヲ得サルトキハ一般の荒蕪ヲ行ヒ得ヘキヲ認
メサルヲ得ス但一般の荒蕪ヲ許スヘキ戦争上ノ必要ハ種々テ緊切ナ

一九四
ヲナルハカラス例ハ既ニ占領セル地方ニ於ケル平民敵対ノ場合及敵
カ既ニ普通ノ戦闘ヲ継続スルノ力ヲ失ヒ小部隊ニ分レ脱出シテ
敵対行爲ヲ継続スル場合等ニ於テ自己ノ安全ノ爲メ又ハ戦争ヲ終止
スル爲メ極メテ必要ナルトキニハ之ヲ許スヘキモノナルヘシ但一般
的ノ荒壞ヲ爲ストキハ荒壞ノ行ハルル地方ニ於ケル平和的ナル人民
ノ爲ニ之ヲ措置ヲ爲ササルヘカラス例ハ人民ヲ一定ノ場所ニ集メテ
生活セシメ之ニ適當糧食ヲ供給スルカ如キ是ナリ

第三部 海戦法規

第一章 敵船ノ攻撃及拿捕

（海海上私商財產ノ捕獲ニ）
干スル主義ノ沿革

第一 海戦概説

戦争ノ一板のナル軍事上ノ目的ハ敵ノ抵抗力ヲ挫クニアリ此目的
ヲ達スルニ必要ナル加害手段ハ海戦ニ於テ陸戦ト異ナリトス一面ノ
海軍ハ敵國ノ海上又ハ沿岸ノ戦闘力ヲ打破スルノ任務ヲ有スルニ止
マラスニテ海ノ商船ノ海洋ノ使用ヲ妨害シ（敵國商船ノ拿捕海洋ノ
方面ヨリスル一定ノ敵地ノ沿岸ノ交通ヲ妨害シ（封鎖海底電線ノ切
断）自國ノ軍事上ノ目的ニ有害ナル中立國船ノ航海ヲ妨害シ（戦時
禁制品輸送又ハ軍事的補助ニ從事スル中立國船ノ拿捕）自國ノ沿岸
ヲ擁護シ自國ノ商船ヲ擁護シ輸送ノ上陸、戦闘等ニ干シテ陸軍ヲ援
助スルノ任務ヲ負フモノナルヲ以テ海戦ニ於ケル加害手段ノ著シキ
モノハ次ノ如キモノナリ敵船ノ攻撃及拿捕、敵人ヲ殺傷シ又ハ俘虏
トスルコト、敵船及其搭載貨物ノ破壊、微命、敵國沿岸ノ砲撃、海
底電線ノ切斷、封鎖奇計、同謀及戰時輸送ノ利用、戰時禁制品輸送
又ハ軍事的補助ニ從事スル中立國船ノ拿捕等ナリトス
海戦ニ於テモ善敵手段ハ氣制限ニテラズシテ条約又ハ國際慣習法
ニ基テ特別ノ禁止アルトキハ之ヲ行フヲ得ス然レトモ斯ノ如キ特別

ノ禁止ナキトキハ敵ノ抵抗ヲ挫ク戰爭ノ一級別軍事上ノ目的ヲ達スレニ必要ナル害敵手段ハ之ヲ行フヲ得ヘキナリ海戰ニ于テハ木夕陸戰ニ于スル海牙ノ陸戰法規ノ如キ一般的方法ヲ有セサルモ許多ノ海戰ニ于スル條約及宣言ニ依リ海戰ニ於ケル害敵手段ニ付テハ明限ヲ設ケラレタリ海戰ニ於ケル害敵手段ノ主要ナルモノハ敵艦ノ攻撃及拿捕ナリトス

第二 敵ノ公船ノ攻撃及拿捕

敵ノ軍艦ハ公海又ハ西交戰國ノ領海ニ於テ直ニ之ヲ攻撃シ得敵ノ攻撃ノ度ケケル艦船ノ自ラ防禦シテ反テ敵ヲ攻撃シ得ヘキハ言ヲ須クス陸上ノ兵力カ敵國軍艦ニ砲撃ヲ加フルコトアリ得ヘキナリ敵ノ軍艦ニ付スル攻撃ハ大砲ノ射撃、魚形水雷ノ射撃及衝筒ニ依ル衝突、水雷敷設、海軍飛行艇等ニ依ル射撃助又ハ爆裝物ノ投下等ノ手段ニ依レズ掃雷艦艇ニ上リテ乘襲ヲ殺傷シ又ハ之ヲ俘虜トスルコト行ハル

攻撃ノ新奇ナル手段ナル飛行機等ニ依リ空中ヨリ射撃物又ハ爆裝物ヲ投下スルコトハ第一平和會議ニ於テ議定セル禁止ノ宣言ニ加シテ之ナル回ノ和ハレル戰爭ニ於テハ行ヒ得ヘキ所ナリ

普通ノ水雷ニ付テハ海牙ノ第二回平和會議ノ自動衝筒水雷ノ敷設ニ于スル條約中ニ於テ命令中ニ於ケル場合ニ無害トナラサル魚形水雷ヲ使用スルコトノ禁止アリ敷設水雷ニ于テ公海ニ於テ之ヲ敷設スヘカラスト論スル者アリ然レトモ公海ハ交戰國ノ交戰區域トシテ認ラレタル場所ナルヲ以テ特別ノ國際法ノ規則ヲ新ニ成立スルニテハハレハ公海ニ水雷ヲ敷設スルヲ不法ト爲スヲ得ス公海ニ於ケル水雷ノ敷設カ中立國船ノ航海ニ危險ヲ及ボスノ事實ハ此法理上ノ論議ヲ左右スレニ足ラス然レニ敷設水雷ノ危險特ニ初ヨリ敷設セザルカ又ハ敷設後緊要ヲ失ハル所ノ自動衝筒水雷ノ中立國船ニ對スル危險ハ大ニシテ日露戰爭中其直後ニ於テ此危險ノ經驗セラレタルヲ以テ第一平和會議ニ於テ自動衝筒水雷ノ敷設ニ于スル條約ニ依リ(一)魚形衝筒自動衝筒水雷ハ之ヲ敷設セシ者ノ監視ヲ負レテヨリ長クトモ一時

向以收無害トナルノ構造ヲ有スルモノヲ除クノ外敷設ヲ禁止シ、
 (一) 緊要自動航行水雷ハ禁設ヲ被シタル後直ニ無害トナルモノ
 アラサレハ此ノ敷設ヲ禁止セリ、(二) 又(三) 軍ニ商業上ノ航海ヲ
 遮断スルノ目的ヲ以テ敵ノ沿岸及港ノ両面ニ自動航行水雷ヲ敷設ス
 ルコトヲ禁ム、(四) 緊要自動航行水雷ヲ使用スルトキハ平
 和的航海ヲ安全ナラシムル為メ一切ノ為ニ得、キ手段ヲ執ラナ
 ルヘカラス交戦者ハ為ニ得ル限リ水雷ヲシテ一定ノ期間経過後ハ
 無害トシムルノ措置ヲ施スヘキコト及水雷ニシテ監視セラレテ
 ルニ至リタルトキハ軍事ノ必要上差支ヘキ限リ速ニ航海者ニ対ス
 ル告示ヲ以テ対危險区域ヲ指示スヘキコトヲ約定ス、(五) 外交上
 ノ干渉ニヨリ起マ各国民政府ニ通告スヘキモノトス、(六) 締結國ハ戰
 争終了ニシタルトキハ各自其敷設シタル水雷ヲ引上ケル為メ得、
 十條ヲノ手段ヲ尽スヘキヲ約定ス、(七) 締結國ニシテ
 本條條約ニ規定スルカ如キ完全ナル敷設水雷ヲ有セズ候テ(一) 一
 (一) 及(四)ニ準テタル規則ニ準據スルコト能ハサルモノハ違背

ノ規則ニ適應セシムル為メ其水雷材料ヲ出未得ル大々速カニ
 (annexed que possible) 改良スルヲ欲スルノ明文ヲ置キテ同
 條ニ吳等ノ規則ノ完全ナル施行ヲ實際上無期限ニ延期スル結果ヲ生
 シタリ

軍艦ハ敵船ヲ追ヒ、敵ヨリ直レントシ又ハ戦闘ヲ為メ為ノ敵船ニ
 近キニシトスル時ニ於テ中立國又ハ敵國ノ領土ヲ得ルヲ得、キモ攻
 撃ヲ開始セントスルニ當リテハ必ラス先ツ其ノ回波ヲ揚ケタルハカ
 ラズ

攻撃又ハ反撃ヲ度ケタル艦船カ其船被ヲ引キ却ヒシテ存存ノ命因
 ヲ高ストキハ攻撃ヲ止メテセテ拿捕スヘキモノトス降伏セシトスル
 ニ向テ攻撃ヲ施行シ其船船乗員ヲ其メントス、(一) 慣習國際法ノ違反
 ナリトス唯極メテ稀ニ自衛上ノ緊急ノ必要又ハ威嚇復仇ノ場合トシ
 テ許サルルコトアルヘキノミ
 拿捕ハ拿捕船ヨリ其將校及乗員ヲ拿捕セラルル艦船ニ送り被艦船
 ヲ其収収ニ置クコトニ依リ行ハレ然レトモセテ実行スルコト不可能

ナル場合ニハ拿捕者ハ拿捕セラルル船舶ニ命スルニ其船被ヲ即ニテ
其命令ニ従ヒ船海スハキコトヲ以テスルヲ得

軍艦其他ノ公船ノ拿捕ノ結果ハ直ニ没収ノ效力ヲ生シ船舶ハ拿捕
ニ依リ戦利品トナル也ヲ務メ引入ルルト直ニ破壊スルトハ拿捕者
ノ自由ニ没収シ得ル所アリトス

拿捕サレタル公船中ノ人ハ總テ俘虏トシレ但敵ノ私人ノ公船中ニ
在ルトキハ戦争上重要ノ地位ヲ占ムル等俘虏トスノ特別ノ自由ア
ルモノニアラサレハ適吉ノ時期ニ之レク解放ヲ為スニ至ルハキナリ

拿捕サレタル公船中ノ搭載物ニ干シテハ敵性ヲ有スル物ハ拿捕ノ
結果直ニ没収セラレ戦利品トナルモノニシテ直ニ之ヲ破壊スルコト
ヲモ爲シ得ヘキハ疑ヲ容セス中立人ニ屬スルモノハ拿捕セラレタル
船舶ト共ニ戦利品トナリ没収セララルト爲ス説トモ之ニ反対スル説ト
アリ

第三、公船ノ拿捕免除

海難ニ依リ文戦國ノ港ニ避難セル敵國公船ノ拿捕ヲ免除セル実例
西班牙、仏國其他ノ諸國ニ在スルニ國際法上拿捕免除ノ規則ヲ確立
セリト云フヲ得ス

學術、宗教又ハ博愛ノ任務ヲ帯フル公船ニ関シテ此ノ種ノ私船ト
同シク拿捕ヲ免除スヘキニト第ニ回平和會議ノ海戰ニ於ケル捕獲權
行使ノ制限ニ干スル條約(四)ニ依リ認メラルル此實ハ私船ノ拿捕免
除ノ場合ニ係セテモ述フヘシ

軍用病院船ニ干スル攻撃拿捕ノ免除ニ付テハ第ニ回平和會議ノ訓
示ニ於テ餘餘ノ原則ヲ海戰ニ適用スル條約ニ具規定アリ此實ハ海戰
ニ於ケル傷者病者ノ救護ニ干シテ最クニ當リ評議スヘシ
俘虏交換船及軍使船ノ攻撃拿捕ノ免除ニ干シテハ既ニ述フル所ア
リタリ

第四、私船ノ攻撃及拿捕

敵ノ商船其他ノ私船ハ地方文戦國ノ軍艦ヨリ臨檢ニ應ムヘキ適当
ニ〇〇一

合國ヲ侵テ艦隊ヲ拒ムトキニ於テ始メテ之ヲ攻撃シ得攻ニ敵ノ
 私船ハ海上ノ矢ノヨリ攻撃ヲ受クルコトナキヲ常トス敵ノ私船ハ素
 ヲリ艦隊ニ應ムルノ義務アルニテ之ヲ應ムルヲ拒ミ之ニ由
 リ攻撃ヲ受ケレハ自ラ防禦スルヲ得然レトモ巴里宣言以來捕獲免許
 私船廢止セラレタルヲ以テ今日ニ於テハ敵ノ軍艦又ハ商船ヲ攻撃シ
 得ルハ軍艦ニ限ラレ私船ハ敵ノ公船ノ船艦ニ對シテ進テ攻撃ヲ加フ
 ルヲ得ル私船ニシテ進テ敵ノ公船ノ船艦ヲ攻撃スルトキハ陸上ニ於
 テ攻撃者ノ資格ナキ私人ノ敵對行為ヲ行ハル場合ト同シク敵國ニ依
 リ戰時望罪ヲ犯スモノトシテ取扱ハルルニ至ル私船カ一旦敵ノ船艦
 ニ依テ攻撃カレタルトキハ反對ニ敵ヲ攻撃スルヲ得ヘク此場合ニハ
 攻撃者ノ資格ヲ得テ攻撃ヲ為セル敵船ノ逃ケルヲ進テ之ヲ拿捕スル
 ヲ得ヘク後令敵ノ為ニ捕ヘラルルモ伴虜ノ取扱ヲ受ケルヲ得ヘキモ
 ノトス
 私船ノ攻撃ヲ始メタル後私船カ船被テ即ニ降参ノ合國ヲ為ストキ
 ハ攻撃ヲ中止シ之ヲ拿捕スヘキモノトス

私船ノ拿捕莫クハ公船ノ拿捕ト異ル所ナキモ拿捕ノ結果ハ公船ノ
 拿捕ノ時異ニ異ニシ私船ノ拿捕ニ依リ船隻及其内ニ在ル人及貨物
 ハ拿捕ヲ行ヘル者ノ权力内ニ在リ船長及船員ハ一定ノ場合ニ之ヲ伴
 屬トスルヲ得又船隻及船中ニ在ル貨物ハ拿捕ニ依リ直ニ没収カ確定
 スヘキ裁判旨ナルモノニアラマシテ捕獲商被所ノ檢定ニ依リ始メ
 テ没収カ確定スヘキ捕獲物ナリトス
 敵國私船カ捕獲シ得ヘキコトハ舊條ヨリ認めラレル所ニシテ海上
 私有財産ニ干シテ古來主義ノ沿革ナリシモ現レ中立船自體又ハ敵船
 若ハ中立船ニ搭載セル貨物ノ取扱ニ干ス此實ハ本章ノ終ニ掲ケル海
 上私有財産ノ捕獲ニ干スル主義ノ沿革ニ於テ詳ナリ

第五 私船ノ拿捕免除

私船ノ拿捕免除ニ干シテ次の場合ニ注意スヘキナリ
 (一) 沿岸漁業船及地方的小航海用船 專ラ沿岸漁業ニ用ニラレル
 船隻ハ之ヲ大洋ノ漁業ニ従事スル船舶ト區別シ拿捕ヲ免除スル

ノ慣例ハ他國ノ最モ早ク認メタル所ナリ是等ノ船舶ヲ用フルハ
 多クハ細民ナルヲ以テ之ニ無益ノ苦痛ヲ与フルコトヲ避ケント
 スルノ趣旨ニ基キ拿捕免除ヲ行フ。英國ハ在米慣例上免除ヲ行ヒ
 シモ國際法ノ規則トシテ免除ノ義務ヲ認ムルヲ肯セサリニ所ナ
 リ然レトモ此慣例ハ広ク行ハレ合衆國ニハ此慣例ヲ認メテ國際
 慣習法ト爲セル判決例ヲ存ス然ルニ第一回平和會議ニ於テ專ラ
 西岸ノ漁業ニ從事スル船舶ノミナラス地方ノ小航海用ニ使セテ
 ルル船舶モ亦其獲獲具、船具、操縦機械及搭載物ト共ニ拿捕ヲ
 免除スルコトト定メラレタリ（海戰ニ於ケル捕獲權行使ノ制限
 ニ于スル條約ニ第一項）

（二）學術、宗教又ハ博愛ノ任務ヲ帯フル船舶 學術上ノ發見ニ從
 方ノ船舶ハ如何ナル方法ニ依ルヲ問ハス敵對行為ニ加ハルトキ
 ヲリ拿捕免除ヲ享有スルヲ得ルモノトス佛國國ハ上述ノ船舶
 ノ無害ナル性質ヲ利用シ其平和的外觀ヲ存シテ之ヲ軍船上ノ目
 的ニ使用セサルヘキモノトス（同上ニ第一項及第三項）

事スル船舶モ十八世紀以來拿捕免除ヲ与ヘラレルノ实例漸ク注
 シ十九世紀ニ至リ一般ノ慣例トナレリ第一回平和會議ニ於テ學
 術、宗教又ハ博愛ノ任務ヲ帯フル船舶ハ拿捕免除ヲ受クヘキコ
 トヲ定メ（同上條約四）斯ノ如キ船舶ハ公船私船ノ別ナク拿捕
 ヲ免除セラルヘキモノトス

（三）開戦ノ際敵國ノ港内ニ在ル船舶等、開戦ノ際一方及戰國ノ港
 内ニ在ル敵國商船又ハ開戦前ニ最後ノ發航港ヲ出航シテ開戦ノ
 事實ヲ知ラスニテ一方及戰國ノ港内ニ入りタル敵國商船又ハ開
 戦前ニ於テ最後ノ出航港ヲ出航シ海上ニテ遭遇セル際開戦ノ事
 實ヲ知ラサリシ敵國商船等、抑留拿捕又ハ没収ノ免除ニ下シテ
 ハ既ニ之ヲ述ヘタリ

（四）病疫船 私人又ハ公認セラレタル救恤協會ノ費用ヲ以テ全部
 又ハ一部ヲ負擔シタル病疫船ノ拿捕ヲ免ルルコトニ関シシハ不

列の条約、原則ヲ海戦ニ適用スル條約ニ之カ規定アリ(ニ)後
章ニ詳述スヘシ

海難ニ依リ或戦國ノ港ニ避難セル敵國ノ私船ノ拿捕ヲ免除スル或國
ノ權利ハ未タ國際慣習法トシテ確立セザルナリ
敵國郵便船ニ攻撃及拿捕ノ免除ヲ与フルコトニ干シテ特別条約ヲ
請ヘル國アルトモ一紙ノ國際法規トシテ此意旨ノ規定ク成立セリト
モフコトヲ得ズ唯中立郵便船ニ付テハ其艦艇搜索ヲ必要ナル場合ニ
限ルヘシ又寬大且迅速ニ之ヲ行フコトヲ要スルト為ス(海軍ノ相續
執行使ノ制限ニ干スル條約第二條)而シテ郵便船自體ニ干シテ海
上ニ於テ中立船又ハ敵船ニ搭載セル中立者又ハ文職者ノ郵便信書ハ
其他貨物公取ヲ回ハス總テ不可侵トシ若シ船舶力拿捕ケレタルトキ
ハ拿捕者ニ於テ出采得レズ又各郵便信書ヲ移送スヘシトシ此規
定ハ封鎖違反ノ場合ニハ封鎖港ニ定テ又ハ封鎖港ヨリ末ル信書ニハ
之ヲ適用セズトスルノ規定ヲ設ク(同上條約第一條)

第六 敵ノ私船ノ拿捕ノ認メラルル理由

今日ニ於テモ戰争ハ國家ト相手國ノ臣民トノ間ニ戰争上ノ必要ノ
範圍内ニ於テ敵對ノ干渉ヲ生スルト認ムヘキヲ以テ許多ノ洋艦ノ如
ク戰争ハ國家間ノ干渉アリトノ單純ナル論理ヲ以テ海上ノ敵性私船
財產ノ拿捕ヲ批准スルヲ得ルナリ但シ今日ニ於テハ國家ト相手國
ノ臣民トノ敵對干渉ハ戰争上ノ必要ノ範圍内ニ於テノミ存スヘキニ
ノト認ムヘキヲ以テ今日ニ於テ果シテ私船拿捕ヲ戰争上ノ必要ナルマ
デヤヲ疑フスルノ必要アリ

敵ノ私船ノ拿捕ハ敵ノ戰國力ノ資源ヲ殺キ或戰國力ノ資源ヲ加フ
ルノ結果ヲ生ス私船モ依依巡洋艦トシテ使用スルコトアリ尙察、輸
送等ノ為メ軍用船トシテ使用スルコトアリ近時ノ海戦ニ於テ海軍ニ
為テ輸送供給スル船舶ノ必費重大ニシテ私船ヲ以テ之ニ充ツルヲ
得而シテ許多ノ國ニ於テハ其國ノ汽船会社ト契約シテ私船ノ製造ニ
付テ戰時ノ使用ニ供シ得ヘキ設計ヲ採用セシメ戰時ニ至レハ之ヲ徵
集シテ軍用ニ供スルコト為ス故ニ私船ハ今日ニ於テモ戰國力ノ要

大ナル資源ノ一ナルヲ以テ敵ノ私船ヲ拿捕シテ敵ノ私船供給ノ資源
ヲ阻ラシメ供給ニ加フレハ敵ノ戦力ノ資源ヲ殺シ或戦力ノ資源
ヲ加フルノ結果ヲ生ス且戦時ノ軍艦ノ乗員補完ハ私船ノ乗員ニ須ク
ナルヲ得ナルヲ以テ敵ノ商船ヲ拿捕シ其乗員ヲ俘虜トスルハ軍艦ノ
乗員補充ノ供給ヲ少クシ敵ノ戦力ノ資源ヲ殺クノ結果ヲ生ス加之
敵船ノ捕獲ニ依リ敵國ノ海洋ヲ其通商航海ノ爲ニ使用スルコトヲ禁
スルハ應ニ戦争上直接ノ影響アルヘキ軍艦、兵艦、石炭其他ノ軍需
品ノ搬送ヲ妨グルニ止マラズシテ又敵國ノ通商航海ニ妨害ヲ与フル
コトニ依リ敵國ノ経済ニ打撃ヲ与ヘテ戦争ニ於ケル敵國ノ経済上ノ
資源ヲ殺シ又經濟上ノ壓迫ニ依リ敵國人民ヲ多ク平和ヲ思ハシメ同接
ニ敵國ノ抵抗ヲ鈍クスルノ效果ヲ生スルコトナリ故ニ今日ニ
於テモ私船拿捕ハ全然戦争上ノ必要ヲ欠クト云フヲ得ス

第七 海上私有財産ノ捕獲ニ付スル主義ノ沿革

今日モ尚昔時ノ如ク敵船ハ私船ト雖モ捕獲シ得ヘシト爲レ此矣ニ

ニ於テ古今相異ル所ナシ然ルニ敵貨ヲ搭載セル中立船及中立船又ハ
敵船ニ搭載セル貨物ニ付スル諸國ノ權例上ノ主義ニ付キ變遷アリ又
敵ノ私船ヲ拿ハ一坂、海上敵性船有財産ニ付キ之ヲ捕獲ヲ廢止スハ
シトノ學說上ノ主義アリ今諸主義ノ沿革ニ付キ簡單ニ述ブレテアテ
ントス

(一) 敵性船主義 此ノ主義ハ古ク行ハレ中立貨物載船ニ搭載
セルトキハ敵貨ノ如ク没収シ而シテ中立船モ敵貨ヲ搭載セルト
キハ敵船ノ如ク没収セ船船自体ヲ没収スルノミナラス之ニ搭載
スル中立貨物モ没収スルノ主義ナリ中立性ノ財産モ敵性ノ財産
ト認接スルトキハ敵性ノモノトシテ取及ビ始テ敵性ヲ受クルカ
如キ貨物ヨリ敵性船主義ト線ス仙國ハ一五四三年ノ勅令第四十
ニ條及一五八三年ノ勅令第六十九條ニ依リ此主義ヲ明ニ認メ一
六五〇年ニ於テハ後述ノ「ゴロン」ライト、レルマール、主長ヲ
採リシモノ一六九〇年ノ勅令ニハ敵性船主義ヲ採リ西班牙モノ
七一八年、八四年ノ主義ヲ採レリ

(三)

「コンヴェラート、テル、マール」主義 此主義ハ十四世紀ノ頃地中海沿岸諸國ノ間ニ行ハレタル海事規則ヲ集録セル *Consolato del Mare* ノ採レル主義ニシテ交戦國ハ敵國ノ私船及私貨ヲ拿捕没收スルヲ得ルコトヲ認メ船中ハ貨物力中立性ヲ有スル場合ニ於テ敵船及之ニ搭載スル敵貨ハ没收シ得ルモ敵船ニ搭載スル中立貨ハ之ヲ中立人ニ戻スヘシトシ又敵貨ヲ搭載スル中立船ハ拿捕シ得ルモ該船中及之ニ搭載スル中立貨ハ没收ヲ免レ單ニ之ニ搭載スル敵貨ノミヲ没收シ得ルト爲ス此主義ハ船中及貨物ノ没收スヘキマ否ヲ所有者ノ敵人ナルヤ中立人ナルヤノ標準ニ依リテ決セントスルモノナリ此主義ハ十四世紀及十五世紀ノ間許多ノ條約ニ於テ採用セラレシモノ一般ニ行ハレタリトシテ得ルハ國モ一六五〇年ニ於テ一旦此主義ヲ採レルコトアリ英國ハ十八世紀及十九世紀ノ前半ニ於テ此主義ヲ採レリ

(三)

「自由船舶、自由貨物」 「敵性船舶、敵性貨物」主義 此

主義ハ一方ニ於テ敵船中ノ貨物ハ中立貨ヲモ没收シ得ヘキヲ認メ他方ニ於テハ中立船中ノ貨物ハ敵貨ヲモ没收シ得スト爲サントスル主義アリ是レ船舶ノ敵性ヲ有スルト否トヲ標準ト爲シ船舶ノ敵性ヲ有セサル船舶即チ没收シ得サル所謂自由船舶ナルトキハ之ニ搭載スル貨物ハ將主ノ國籍住所以何ヲ問ハズ總テ没收シ得サル貨物即チ所謂自由ナル貨物ト爲シ之ニ及シ船舶ノ敵性ヲ有シ没收シ得ヘキトキハ之ニ搭載スル貨物ハ總テ敵性ヲ有スルカ如ク爲故ニ之ヲ没收スヘシト爲スナリ此主義ハ和蘭ノ如クメテ主張セル所ニシテ條約ニ依リ諸國ヲシテ此主義ヲ採用セシメント努メタリ仏國ハ一七七八年ノ和衆國トノ條約以來確シテ此主義ヲ採リ巴里宣言ノ條ニ及ヘリ此主義ノ一半タル「自由船舶、自由貨物」ノ主義ハ武装中立同盟ノ主張セル所ニシテ巴里宣言ノ採用セル所ナリ

(四)

「巴里宣言ノ主義」 一八五六年ノ巴里宣言ニ於テハ敵船中ノ貨物ニテハ「コンヴェラート、テル、マール」ノ主義ニ依リ

中立船舶ノ貨物ニ干シテハ自由船舶、自由貨物ニシテ敵性船舶ノ敵性貨物ノ主義ニ依リ而主兵ノ中立人ニ莫大ナル莫ク採用也
リ即チ巴里宣言ノ第二規則及第三規則ニ於テ左ノ如キ規定ヲ見
ルニ至レリ

巴里宣言第三規則 中立ノ被擄ハ戰時禁制品以外ノ敵貨ヲ庇
護ス

△宣言第三規則 戰時禁制品以外ノ中立貨物ハ敵ノ被擄ノト
ニ在リテモ拿捕スルヲ得ス

巴里宣言ノ第二及第三規則ノ主ナル趣旨ハ定ニ中立船舶ノ敵貨
ヲ拿捕没收シ得ス敵船舶ノ中立貨物ヲ拿捕没收シ得ルヲ定ムル
ニ在リ而シテ敵船舶ノ拿捕没收シ得ヘキコトハ前提トシテ認めラ
レソルモノナルヲ以テ巴里宣言ノ下ニ於テハ敵船舶及之ニ搭載セ
ル敵貨ハ拿捕没收シ得ルナリ巴里宣言ノ是等ノ規則ハ巴里宣言
ニ加盟セタル國ニ之ヲ遵守スル所ナレヲ以テ現時ニ於テハ國際
法ノ一規則ト看做スヲ得ヘキナリ又ニ海上私有財産捕獲ニ干ス

ル原則ノ大綱カ巴里宣言ニ至リ始メテ國際法上一定スルニ至レ
リト云フヘシ然レトモ巴里宣言ニ所謂敵貨中立貨ノ區別ノ標準
カ今日ニ於テモ未ク一定セサルコトハ敵性ノ問題ヲ説クニ當リ
テ既ニ述ヘタル所ナリ

(五)

海上私有財産捕獲禁止ノ主義 現今ニ於テ中立宣言ノ主義ニ
敵船舶及敵船舶ノ敵貨ヲ捕獲シ得ヘシト爲スノ主義ヲ現實國際法
上ノ一規則タルヲ認メサルヲ得ナルニ海上私有財産捕獲ヲ全然
禁止スルノ説ハ學說トシテハ英國以外ノ諸國ヲ通シテ多數ヲ占
ムルニ云フヲ得ヘキナリ然レトモ多數ノ歐洲大陸諸國カ此ノ説
ヲ支持スルニ當リテハ國家個ノ干渉ニシテ個人ハ敵性ヲ有セスト
ノ單純ノ證據ヲ以テセントスルハ不可ナリ戰爭ハ國家ト相手國
ノ臣民トノ間ニ戰爭上ノ必要ノ範圍内ニ於テ敵対干渉ヲ生スル
ヲ認メサルヘカラサレハナリ陸上ニ於ケル私有財産ノ不可侵ノ
認メラレタルニトハ必シモ事情ヲ異ニスル海上ニ於ケル私有財
産捕獲ノ禁止セサルヘカラサルノ理由トシテモニアラズ、海

上私所有財産、廢止說、眞ニ有リナル論據ハ世界ノ海運ノ進歩ト
巴里宣言ニ依ル中立船内ノ敵貨ノ捕獲ノ廢止ト中立船ノ通商航
海ニ干スル地位カ法規止確保ナルルニ在レルコトト依リ敵船
及敵船内ノ敵貨ノ捕獲力戰爭上ノ必要ノ程度ヲ看シク概シタル
ノ点ニアリ敵船及敵船内ノ敵貨ヲ捕獲スルモ敵國ノ經濟ヲ攪亂
スルノ效果微少ナルニ至リ敵國ノ抵抗力ヲ挫キ講和ヲホメシム
ルノ戰爭ノ一般的ノ目的ニ敵替スルコト若大ナラサルニ在レル
ノ点ニアリ今日ニ於テ敵船及敵船内ノ敵貨ノ捕獲力全然戰爭ノ
一般的目的ヲ遂クルコトニ干渉アシト云フヲ得ケルコト明白ナ
ルト同時ニ又ニ因レ私人ノ苦痛カ其戰爭ノ目的ニ對スル效果ト
相應スルヤ否ヤニ付キ疑ヲ抱クノ余地ナキニアラサルニ在レリ
惟フニ將來ニ於テ國際法ノ一規則トシテ海上私所有財産捕獲廢止
ノ規則ノ採用セラルルコトハ全クアリ得ヘケラサルノ事項ニ屬
セケルナリ然レトモ現美國際法上ニ於テハ敵船及敵船内ノ敵貨
ヲ捕獲シ得ヘキコト疑ヲ容レサルノミナラス最近ノ實際ニ於テ

有リナル國家ニシテ海上私所有財産捕獲廢止說ヲ強ク主張スル者
ナキニ在レルコトニ注意セサルヘカラス

第二章 敵ノ私船ノ沒收及破壞

第一 捕獲審檢所

敵ノ私船ノ捕獲ニハ必ズ交戰國ノ捕獲審檢所ノ審檢ヲ受フルヲ要
シ而シテ其沒收ハ捕獲審檢所ノ決定ノ確定ニ依リテ始メテ確定ス交
戰國ノ捕獲審檢所ヲ設ケタルハ畢竟審檢所ニ依リ捕獲事件ノ決定ヲ
爲シシメ中立人ノ捕獲ノ不法ノ主張及損害賠償ノ要求ニ干スル外交
談判ノ難ケントスルニ出テ主トシテ中立人ノ利益ニテ認メラル
ルニ在レルモノナルモ今日ニ於テハ交戰國ノ捕獲審檢所ヲ設テ敵
船ト推定スヘキモノト中立船ト推定スヘキモノトノ區別ナク捕獲ニ
付キ決定ヲ爲サシムベキコト國際慣習法上決マルニ至レリ捕獲審檢

所ハ各国民大抵ニ審判度ヲ採ル英國如ク裁判官ニ依リ檢定ヲ爲ス制度アリ我國及他國ノ如ク戰爭毎ニ設置スル特別ノ審判所ニ依リテ檢定スルアリ又其ノ中同一位スル如キ制度アリ

又戰國ノ捕獲審判所ハ戰國又ハ其同盟國ノ領ニ領水ノ如何ナル場所ニ之ヲ置クモ可ナルモ又戰國ハ中立國ノ領ニ又ハ中立國領内ノ船舶ニ於テ捕獲審判所ヲ設置スルヲ得ス、第一平和會議ノ存否ノ場合ニ於テ中立國ノ裁判官ヲ之ニ任ズルニ依ル

又戰國ノ捕獲審判所ノ檢定カ中立國人ニ對シテ其裁判ヲ保護スルニ定メザル、或アルヨリ國際的ノ組織ヲ有スル審判所ヲ置クノ議生シテ第一平和會議ニ於テ一定ノ捕獲事件ニ付スル第一審ヲ決スハキ國際捕獲審判所ヲ設置スルノ條約カ許多ノ國ノ間ニ締結セラレルニ至リ然レトモ此ノ條約ハ未タ批准ヲ得ス

第二 拿捕サレタル船舶ノ送致

船舶ヲ拿捕スルトキハ直ニ捕獲審判所ノ在ル港即チ審判港ニ之ヲ

回航セサルハカラス海難又ハ軍事上ノ必要ノ場合ニアラサレハ時日ヲ遷延スルコトヲ許サズ原則トシテハ拿捕ヲ爲ス軍艦ヨリ拿捕セラレタル船舶ニ乗組マシムル所ノ士官(捕獲士官)カ審判港ニ其船舶ヲ航行セシム士官ハ其船舶ノ船長及船員ニ對シ船舶ノ回航ニ付キ接頭ヲ手フヘキヲ請求スルコトヲ得但シ請求ニ應メサルトキハ之ヲ強請スレトヲ得ス拿捕ヲ爲ス軍艦ハ拿捕セラレタル船舶ニ付テ審判港ニ至ルヲ要セス士官及下士卒ヲ拿捕セラレタル船舶ニ乗組マシムルコト能ハサル例外ノ場合ニ於テ船舶ヲシテ其回航ヲ引卸サシメ軍艦ノ命令ニ從ヒ送航セシムルコトヲ得此場合ニハ拿捕ヲ爲ス軍艦カ審判港マテセテ伴フヲ要ス

拿捕セラレタル船舶ハ航海ノ不能、海上ノ險惡又ハ燃料若ハ食料等ノ欠乏等ノ事由ニ依リテアラサレハ之ヲ中立港ニ引致スルコトヲ得又其等船舶ハ其入港ヲ正当ナラシムルノ事由止ミタルトキハ直ニ出港ス、キエトス、海軍ノ中立ニ付スル條約ニ一、送致ノ船舶カ中立港ニ入ルヲ許サレルトキハ軍艦トシテ其引致ノ權限ヲ有ス

海牙ノ條約ニ依リハ中立國ノ許ストキハ捕獲艦檢有ノ檢定アル迄拿捕セラレタル船舶ヲ拘置スル爲メ中立港ニ入ルコトヲ得ハ同上條約ニ三ノ

拿捕セラレタル船舶ハ原則トシテ檢定ヲ受クル爲メ港檢所ニ送ルハキモノナルモ已ムヲ得サル場合ニハ拿捕サレタル船舶以テ船舶書類及捕獲ニ當リ船舶ヲ密檢志ニ送致セザルモ情ヲ明ニムル証明書及他審檢ノ爲メ必要ナル書類ニ依リ又ハ港人ノ証詞ニ依リ檢定ヲ爲スコトアリ

拿捕セラレタル船舶ノ船長及船員ノ全員ヲ船舶ト共ニ送致スルヲ原則ト爲ス又ハ実行ニ難キ事情アレハ少クトモ船長及船員長運載士又ハ水夫長等ノ重トル者ノ中三四名ヲ送シ西人トナス爲メ船舶ト共ニ送致スハ此種ニテ其地ノ船乗セシメタル船員ハ他ノ交通手段ニ依リ速リニ該船舶ノ回航地ニ送致スハキナリ

拿捕セラレタル船舶ノ載貨ハ其全部ヲ該船舶中ニ置キテ回航スハキモノナルモ其全部又ハ一部ヲ荷取ノ虞アル埠捕獲艦檢港ニ送ルニ適セサル状態ニ在ルトキハ時ノ必要ニ應ジテ之ヲ破壞シ又ハ拿捕セル

場合ニ於テ若ハ最近ノ本國港ニ於テ若ハ中立國官憲ノ承諾ヲ得タルトキハ中立港ニ於テ賣却スルコトヲ得ハ賣却ノ場合ニハ捕獲士官ハ一切ノ売却手續キニテスル証明書ヲ作成シ売却計算書及其他ノ存案ヲ添付シ拿捕サレタル船舶ト共ニ之ヲ審査港ニ送致スハキモノト又載貨中ノ餘テノ中立貨ハ巴里宣言ニ依リ其中立人タル持主ニ復セサルハカラスモ一旦審査港ニ送ラサルハカラス然レトモ若シ中立貨ニシテ審査港ニ送ルニ適セサル状態ニ在ルトキハ時ノ必要ニ應ジテ売却又ハ破壊ヲ爲スヲ得

第三 拿捕サレタル敵回私船ノ破壞

凡ソ捕獲物ノ没収ハ中立性ノモノハ勿論敵性ノモノタリトモ審檢所ノ檢定ノ確定ヲ待テ始メテ確定スルモノナルヲ以テ檢定確定前ニ破壞ヲ行ハテトテ原則トス然レトモ此原則ニ對シテ例外ヲ認メサルヲ得ス而シテ例外タル場合ニ于テ此種既慣例ヲ未タ一致セサルナリ
拿捕サレタル敵船ノ破壞ニ于テ或ハ已ムヲ得ナル必要ノ場合ニノ
二一九

ニニ。破壊シ得ハシトシ或ハ破壊ニ依リ使取ヲ得ハキ場合ニ於テハ破壊
ヲ為スヲ得ルトス中五拿捕船ノ破壊ニ付テハ倫敦宣言ニ規定ヘ第四
章一ノ五ヲタルモ蘇船ノ破壊ニ付キテハ未タ明約セラレタル所ナキ
ヲ以テ此点ノ解決ヲ將來ノ國際法ノ發達ニ望ミタルヲ得ス
拿捕セル船舶ノ破壊ヲ行フ場合ニハ破壊ヲ為ス可キ船ニ在ル人
員ヲ取戻スルニ又船舶書表及審檢ノ為ノ必要ナル書類物件ヲ取載シ
ラシテ保管スヘク又未得ハクシハ載貨ヲモ取載スヘキナリ船舶ノ
船員、船舶書類及載貨ハ之ヲ審檢港ニ送還セラルヘカラス
拿捕セル船舶ノ商船ヲ破壊シタル場合ニ於テ破壊サレル船舶ニ
搭載セル中五貨物ノ持主ニ於テハキ賠償ニ付キ取戻スルヲ要ス若シ
船舶自体ノ破壊力適宜ニシテ載貨ヲ取載スルコト不可能ナル場合ニ
ハ破壊ヲ行ヘル文獻國カ賠償ヲ取ハサルヲ常トス然レトモ是レ中五
人ノ利益ヲ害スルヲ以テ此ノ向題ハ將來國際捕獲審檢所成ルニ至テ
ハ之ニ依リ何等カノ決定ヲ更ルニ至ルハキナリ

第四、横 贖

横贖ハ今日ニ於テ行ハルルコト稀ナルモ國際法上禁止セラルルニ
アラサルヲ以テ若シ國內法ニ於テモ許サハ行ヒ得サル所ニアラス
横贖ハ拿捕ノ後即時ニモ行フコトアリ又審檢港ニ引致ノ後ニ於テ
モ審檢所ノ檢定前ニ於テハ之ヲ行フヲ得横贖ニ於テ拿捕ヲ行ヘルモ
ノト拿捕サレル船舶ノ船長トノ間ニ契約ヲ結ビ拿捕者ハ船員中ノ
一人ヲ人質トシ又ハ金ク人質ヲ取ラスシテ拿捕セル船舶員ノ船員及
載貨ヲ解放シ船長ハ之ニ代ヘテ將來ニ於テ若干ノ横贖金ヲ取フコト
ヲ約スルモノナリ船長ハ拿捕者ニ横贖ノ支払ヲ約スル横贖証書ヲ与
ハ人拿捕者ハ船長ニ横贖証書ノ原本ヲ与フ横贖証書ノ原本ハ好意亦
ノ用ヲ為シ其船舶ニシテ横贖証書ニ定メタル航路ヲ行レタルトキハ
再々拿捕ヲ受クルコトナラシム横贖金ノ支払ハレサル時ハ人質ヲ
却留スルヲ得横贖金ノ任意ニ支払ハレタル場合ニ於テ拿捕者ノ訴訟
ヲ提起シ得ハキ否ハ一ニ回収法ノ規定ニ依ル若シ拿捕者ノ管船
ハ人質又ハ横贖証書ヲ取セテ敵ニ拿捕セラレ敵ノ捕獲物トナルトキ
ニニ。

ハ人更ハ解放サレ償額訶書ハ其効力ヲ失ヒテ償額金ヲ支払フヲ要セ
ザルニ至ル

第五 捕獲物ノ喪失

捕獲物ノ喪失ハ(一)捕獲物カ再々拿捕サレタルトキ(二)捕獲
物タル船舶カ其船員ノ力ニ依リテ拿捕者ノ力ヲ脱シタルトキ(三)
拿捕者ノ故意ニシテ放棄シタルトキ等ノ三ノ場合ニ於テ起ルモノト
ス

是等ノ場合ニ於テ審判所ノ決定ノ確定前ナレハ拿捕者ノ捕獲物ニ
對スル所有權ヲ確定前ニ有スルコト能ハサルニ至リ又決定ノ確定後
ナレハ一旦決定ニ依リテ得タル所有權ヲ喪ツモノトス拿捕者カ
船舶カ其船員ノ力ニ依リテ拿捕者ノ力ヲ脱スル場合ニハ船舶カ原
ノ所有者ノ權利ニ屬スハキハ何國ニテモ之ヲ認ムル所ナリ然レドモ
捕獲物タル船舶カ一旦放棄サレタル後中立國船又ハ本國ノ他ノ船舶
ニ依リテ占有セラレル場合ニ於テ何人カ船舶ノ所有權ヲ有スハキヤ

ニ付キテハ其中立船ニ干スル場合ニ付キテモ國際法上明定スレトコ
ロナク今日ニ於テハ總テ國収法ノ定ムル所ニ委ヌヘキモノトス再々
捕ノ場合ニ於テモ船舶ノ所有權ノ喪ケタル命令ヲ履行セサル場合ニ
於テ既ニ他ノ方志ニ依リテ命令ノ存在、恢復ノ証明セラレタルトキ
ハ其航海日誌ニ記入ナキ事實ヲ以テ抗弁ト爲スヲ得スレ病疫船ニ干
スル其等ノ制限ハ畢竟(一)病疫船ニ干ラレタル時限ハ病疫船ノ
救護セントスル病者、傷者、難船者ノ利益ノ爲ニ認メラレタルモノ
ニシテ病疫船員ノ爲ニ設ケタルニアラザルコト(二)及病者、傷
者、難船者ノ利益ハ交戦國ノ戰爭ノ目的其モノヲ反却スヘキニアラ
ザルコト(三)ノ觀念ニ基クモノナリ
病疫船ノ保護ハ病疫船ノ害敵行為ノ爲ニ使用セラレルトキハ失ハル
ヘキモノトス(ハ第一項)然レドモ病疫船ノ人員カ秩序維持ノ爲メ
及傷者又ハ病者保護ノ爲ニ武装シタル事實至ニ船舶ニ無線電信ノ設
備ヲ有スル事實ハ其保護ヲ喪失スヘキ性質ノモノト認メス(ハ第一
項)

二二四
文戦國ノ軍艦ハ病院船ノ国籍又ハ種類如何ヲ問ハズ其外ニ在ル傷
者病者又ハ難船者ノ引渡ヲ請ハスルコトヲ得(一ニ)

保護ヲ受クヘキ条件ヲ備ヘタル病院船ノ戦時ニ於テ締約國ノ港ニ
於テ該國國家ノ利益ノ為メ船舶ニ課セラルル各種ノ租税及賦課金ヲ
免除マラルヘキコト一九〇四年ノ病院船ニ于スル條約ニ依リ定メラ
レタリ(一ニ)但シ其等諸港ニ於テ現ニ行ハルル現法若クハ其ノ他ノ
法律ニ於テ定ムル臨檢其他ノ手續ヲ行フコトヲ妨ケタルモノトス(ハ
ニ)

病院船ノ標識ニ于テ海牙ノ條約(五)ハ軍用病院船力其外部ヲ
白色ニ塗リ幅約一メートル半ノ緑色ノ横筋ヲ施シテ之ヲ標識ス
ヘシトスル而シテ交戦國ノ一個人又ハ救恤協会ノ幟裝セル病院船又
ハ中立國ノ一個人又ハ協会ノ幟裝セル病院船ハ其外部ヲ白色ニ塗リ
幅約一メートル半ノ赤色ノ横筋ヲ施シテ之ヲ標識スヘシトスル
是等ノ病院船ニ附屬スル船隻及救護用ニ使セラルヘキ小舟ハ前述ス
ル所ニ準シテ塗色施線ヲ以テ之ヲ標識スヘシトス(以上五第一項乃

五第三項)

病院船ハ總テ其國被ト共ニシテネガア條約ニ定メタル白地ニ赤十
字ノ旗ヲ掲ケ又中立國ニ屬スルモノナルトキハ石ノ外掲旗ヲ受ケル
交戦國ノ國旗ヲ大槓ニ掲ケラセテ標識ス(五第四項)敵ノ為メニ捕
留セラレタル病院船ハ其屬スル交戦國ノ國旗ヲ撤去スヘキ事(五項)
上述ノ病院船及船隻ニシテ其專有スル尊重ヲ及同確突テシムン
ト欲スル者ハ其附隨スル交戦國ノ同意ヲ得テ其標識、塗色ヲ着局シ
スル為メ必要ナル措置ヲ執ルヘシトス(五第三項)

上述ノ塗色施線、床十字標符ノ特殊徽章ハ平時ト戦時トヲ問ハズ
條約ノ保護ヲ受クヘキ病院船ヲ保護シ又ハ標識スル為ニシテナレハ
之ヲ使用スルコトヲ得ストス(六)

五三 軍艦及ノ病院

軍艦及ニ於ケル戰國ノ場合ニ於テハ病院ハ為シ得レ限リ之ヲ尊重
保護スヘキモノトス(七第一項)然レトモ病院及共等附屬ノ戰船

ノ法規ニ従フヘテ第ニ項前文ノ改ニ或利言ト為スヲ得シ性傷者、病者ニ必要ナル箇ハ其用途ヲ他ニ転スルコトヲ得スヘテ第ニ項後文ノ尤ニ病室及其所属材料ヲ自己ノ叔以ニ属セシメタル指揮官ハ重大ナル揮市上ノ必要ナル場合ニ於テ病室以ニ在ル傷者、病者ノ安全ヲ確保シタル上ニ之ヲ処分スルコトヲ得ヘテ第ニ項ノ般以病室ノ保護ハ其害敷行爲ノ爲ニ使用セラルルトキハ夫ハルハキモトス但病室ノ人負ハ秩序維持及傷者又ハ病者防護ノ爲メニ武装シタル事更ハ其保護ヲ喪失スヘキ性質ノモノト認メスヘテ

第四 中立国ノ軍艦又ハ私船ニ依ル防護

中立国ノ軍艦ニ於テ傷者病者又ハ難船者ヲ収容シタルトキハ爲レ得レ限リ是等ノ者ヲ二再ニ作戦動作ニ加ハルヲ得サレシムヘシトノ(一三) 是等ノ者ヲ敵ニ引渡スヘカラスシテ敵軍ノ終了迄自ラ抑留シカラスハ其他ノ手段ニ依リ爲レ得レ限リ作戦動作ニ加ハサラン

中立国ノ商船、遊船、又ハ端舟ノ交戦者、依價ニ依リ傷者病者ヲ収容シ又ハ自ラ是ヲ傷者、病者、難船者ヲ収容シタルトキハ特別ノ保護及一定ノ時限ヲ享有ス是等ノ船舶ハ如何ナル場合ニ於テ一定等ノ人員ノ輸送ノ書実ノ故ヲ以テ拿捕スルコトヲ得ス但是等船舶ニ対スル特別ノ約束アル場合ヲ除クノ外其中立違反ノ行爲ハ例ハ戰時策動品輸送、封鎖浸透、敵対幫助ノ如キ文藝因ノ側面ヲ加ヘ得、又中立船舶ノ行爲ヲ指スヘリアルトキハ是ヲ拿捕スルコトヲ得ルモノトス(九第ニ項)シ、又戰時、軍艦ハ中立國艦ヲ拘ルル商船、遊船又ハ端舟以ニ在ル傷者、病者、又ハ難船者ノ引渡ヲ指ホムルヲ得、(一三)

第五 傷者病者及難船者

艦船内ニ在ル陸海軍人及公務上陸海軍ニ所属スル其他ノ人員ニシテ負傷シ又ハ疾病ニ罹リタル者ハ国籍ノ如何ヲ問ハズ拿捕者ニ於テ之ヲ尊重シ且看護スヘトス(一一) 然ラズ文藝者ノ叔内ニ收メスル

、難知者、傷者、病者、俘虜タリトスセテ俘虜、^{二二八} 爲レル文書者ハ百
情ノ如何ニ依リ或ハ定テ難知者、傷者、病者ヲ押留シ或ハ送リ得
同者、中止悉クハ敵艦ニ送致スルヲ得ヘ一四〇文ノ敵艦ニ送致スル
場合ニ於テ本國ニ送還セヨレル俘虜ハ戦争ノ証跡中服役スルコト
ヲ得スヘ一四一及文ノ中五回ノ地方官憲ノ承諾ヲ得テ文書者ク中五回
ニ上陸セシメタル難知者、傷者、又ハ病者ハ中五回ト文書同トノ間ニ
及テ、被食ナキ取リ再ヒ作戦動作ニ加ハルコトヲ得サレシムル限中
立回ニ於テセテ却テ入虎及西置ノ費用ハ難知者、
傷者又ハ病者ノ所屬國ニ於テセテ負担スルモノトスヘ一四五
各戰術ノ後双方ノ文書者ハ軍事上之文ナキ限リ難知者、傷者及病
者、被食ニ且被食及者等ニ對シテ、名ヲ保護スルノ措置ヲ取ルヘ
コトノハ一六一各文書者ハ送來シタル傷者又ハ病者ノ人名譯ヲ取ル
ヘシテ、其本國官憲又ハ所屬陸海軍官憲ニ送付スヘキモノトスヘ一
七第一項ノ文書者ハ至ニ其取扱ニ在ル傷者及病者ノ留置、被食、入
虎及死之ニ于テ通報ヲ爲スヘク又拿捕シタル難知者ニ於テ余見シ又

ハ病院ニ於テ死之シタル傷者若ハ病者ノ遺留シタル一切ノ自用品、
有價物信託等ヲ于依者ニ其本國官憲ヲシテ伝送セシムル爲メ蒐集ス
ヘシトスヘ一七第二項)

第六 死者

死者ニ于テ各戰術ノ後双方ノ文書者ハ軍事上之文ナキ限リ、
及肩持一対レ死者ヲ保護スルノ措置ヲ取ルヘク死者ノ土葬火葬、又
ハ火葬クヘ主トシテ生アルモノヲ死者トシテ取扱フヲ避ケル爲メ其
死体ヲ綿密ニ検査シタル上ニテ行ハルル探査視スヘシトスヘ一六
又各文書者ハ死者ニ付キ祭具シタル噸飲ノ記録又ハ身分ヲ証明ス
ヘキ記号ヲ述ベ其本國官憲又ハ所屬陸海軍官憲ニ送付スヘシトスヘ
一七第一項)

各文書者ハ又死者ニ屬シタル一切ノ自用品、有價物、信託等ヲ于
依者ニ其本國官憲ヲシテ伝送セシムル爲メ蒐集スヘキモノトスヘ一
七第二項)

第七 衛生救法人員

二三〇

今期セラレタル一切ノ権限ハ在リテ救法、互療及看護ニ従事スル人員ハ不可侵ニシテ予備ト爲スコトヲ得ル人其ノ權限ヲ違去ルトキハ其私智ニ屬スル如シ及外科用具ヲ携帶スルヲ許サルハキニシテ一必らずアル救リハ引渡キ其ノ職務ニ従事スヘクセテ取返ニ致セシメタル之取回ノ總指揮官ニ於テ差支ナシト認ムル時ニ至リ退云スルコトヲ得ル之職者ハ其取回ニ致シタル如人其ノ取回自國海軍ノ同一階級ノ人員ニ付スルト同種ノ給養及待遇ヲ給スルコトヲ得ルハ一〇一

第五章 海戰ニ於ケル徴金取立金及砲撃

第一 取立金及徴金

海軍カガ敵ノ沿岸ノ都市ニ取立金及徴金ヲ存シテ突所ハ地メラナクテトモ合ク之ヲ存セスト云フヲ得ル第一四平和會議ノ戰時海軍力ヲ以テスル砲撃ニ付スル徴金ハ三及四一ニ於テ軍艦力取立金ヲ支給ハサルヲ理由トシテ防衛セサル沿岸ノ都市、村等ヲ砲撃スルヲ禁シタルニ徴金ニ應マサル場合ニ砲撃ヲ加フルヲ得、キヲ認ム、是レ海上ノ便艦カ沿岸ノ都市、村等ニ付シテ徴金ヲ爲ス、キヲ向接ニ認ムスルモノナリ

海軍ノ上述ノ条件ニ於テ防衛マラレサル港、都市、村等、任意、又ハ建物ハ地方官意キ其附近ニ在ル海軍ノ目前ノ需要ヲ充タス為メ必要ナル糧食又ハ軍需品ノ徴金ヲ正式ノ報告ニ依リ給付シラレタルニ拘ラヌ也ニ應スルコトヲ拒ミタルキハ則チ之ヲ拒絶スルハ(一)前面ニ在ルヲ砲撃スルコトヲ得ルシ、而シテ右徴金ハ(一)前面ニ在ル海軍ノ目前ノ需要ヲ充タス為メ必要ナル糧食又ハ軍需品ノ徴金ナルコトノ条件ノ外ニ(二)地方ノ實力ニ相應スルモノナルヘキコト、(三)必ス附近海軍ノ指揮官ノ許可ヲ得テセテ爲スヘキコト及ニ、
二五二

（四）此二村に於てハ成ルヘク即金ニテ支払ヒ然ラザレハ鎮收在テ以テ之ヲ証明スヘキコト等ノ条件ニ通スルヲ要ストス（同条附三）
同条約ハ取立金ニ付テハ之ヲ支払ハサルヲ理由トシテ防衛マラシラレモ、都市、村落、住宅、又ハ建物ヲ砲撃スルヲ得ストム（同條約四）故ニ海上ノ軍艦カ軍ニ砲撃ヲ以テ得リシテ沿岸ノ都市等ヨリ取立金ヲ徴収スルコト認メラレサルナリ

海軍ノ條約カ海軍力ノ徴収ヲ認メシムルハ艦隊ニ於テレ占領地ノ徴収ノ場合ト同シカラスシテ未タ収メテ置立マサル一地方ノ住民ヨリ徴収ヲ得スラ認メタルモノナリセレ戦争上ノ緊切ナル必要ヲ根拠トスルモノニ外ナラス、初シテ徴収ヲ許スハ好ニ港、都市、村落等ノ方面ニ在ル海軍ノ目前ノ需要ヲ充タス為メ必要ナル糧食又ハ軍需品ニ限レリ、取立金ニ對シテハ海軍力カ之ヲ金スルノ戦争上ノ緊切ナル必要アルヲ認メラル得サルヲ以テ海軍ノ條約ハ取立金ヲ支払ハサルヲ理由トシテ防衛マサル港、都市、村落、住宅、又ハ建物ヲ砲撃スルヲ禁シタルナリ

第二 砲撃

戰時海軍力ヲ以テスル砲撃ニ付スル條約ハ防衛マラレサル港、都市、村落、住宅、又ハ建物ヲ海軍力ヲ以テ砲撃スルヲ禁スルノ原則ヲ置キハ一節一項ノ又禁レノ地域トモモ軍ニ其ノ港前ニ自衛艦隊水雷ヲ敷設シタル事実ノミヲ以テ之ヲ砲撃スルヲ得ストム（一節一項）然レトモ軍車上ノ工作物、陸海軍建設物、兵器又ハ軍用材料ノ貯藏所、敵ノ艦隊又ハ軍隊ノ用ニ供セラルヘキ工場、又設備並ニ港收ニ在ル軍艦ハ之ヲ砲撃シ得ルコトス（一節一項）海軍指揮官ハ砲撃ノ期間ヲ以テ予ハタル艦艦ノ敵地方官憲ニ於テ右期間ハ是等ノ建物、設備又ハ軍艦ヲ破壊スルノ措置ヲ執リカリシ場合ニ於テ金ノ他ニ手飯ナキトキハ自ラ砲撃ヲ以テ破壊スルヲ得ルモノトス（一節一項）而シテ此場合ニ於テ砲撃ノ為メニ性スルコトアルハキ故意ニ出ラサル損害ニ付テハ砲撃ヲ加ルル海軍ノ指揮官ハ何等ノ責任ヲ負ハサルモノトス（一節一項）海軍ノ必要上即時ノ行動ヲ要スル為メ

期間に年フルコトヲ得ナル場合ニハ警告ヲクシテ以テ之ヲ建初、或ハ
又ハ順應ヲ弛緩シ得、キニ所守セラレサル都市共ニノヲ弛緩スルヲ
得、且其順指揮官ハ弛緩ノ為メ都市ニ対シ威トヘテ損害ヲ予ハサル
カ為メ一切ノ相当ナル手段ヲ執ルヘキトス(ニ第三項)

防好セラレサル場所ヲリトニ適法ノ救済(本章取立及後条ノ節
参照)ニ應ビサルトキハ弛緩シ得(四)取立金ヲ支払ハサルヲ理由
トシテ所守マラレサル場所ヲ弛緩シ得ス(五)

尚軍力ヲ以テ弛緩ヲ為スニ當リテハ指揮官ハ宗教、技藝學術及医
吾ノ用ニ依マラレル建初、歴史上ノ紀念是建初、病院並ニ病弱及傷
者ノ収容所ハ同時ニ軍車上ノ目的ニ使用セラレサル限り之ヲ弛緩
ルハク損害ヲ受レシムル事ニ必要トル一切ノ手段ヲ執レ、キモノト
ス(六)第一項ノ注長ハ自軍ノ後進ヲ以テ拒ミ建初、能念建初又ハ
収容所ヲ表示スルノ義ヲ受テ指揮官ハ堅固ナル方形ノ大板ニシテ
沖角線ノ一カ線ヲ上部ハ懸ク下部ハ空白ニ画シ用所ニ区別シメルニ
ノナルハシトス(七)五第ニ項ノ、砲、都市、村落ノ弛緩ニ當リ以上ノ

建初、建初切若ハ収容所ヲ除キテハ公取ノ建初ニ向テテ禁絶シテ可
ナリトス

軍事ノ必要上ニシテ得ナル場合ヲ除ク、外攻撃海軍指揮官ハ攻撃
ヲ招ムル前其ノ旨地方官憲ニ通告シ、為メ弛緩シ得、キ一切ノ手段ヲ
悉クヘキモノトス(六)通告ヲ為スコトカ絶対的ノ義務メフナルニ
トニ注意スヘキナリ

第三 攻撃

都市其他ノ地域ハ攻撃ヲ以テ攻取シタル場合ト雖モ之ヲ疎率ニ妥
ムルニトテ付ス(七)

第六章 海軍ニ於ケル奇計並ニ向謀

及戰時 敵艦ノ利用 二三五

第一 奇計

奇計ハ海戰ニ於テモ陸戰ト同シク其背信ノ行爲ヲオル以上ハ使ヲ用アルヲ許サルルコト慣習法上ノ原則ナリトス陸海ノ旗章ノ使用ニ干シテハ文成國軍艦カ敵ヲ追ヒ又ハ敵ヨリ逃レントシテハ敵國ヲ爲メ敵ニ近フカントスル等ノ爲ニ中立國又ハ敵國ノ旗章ヲ用フルコトヲ得ヘキモ攻撃ヲ始メ又ハ捕獲、搜索、拿捕等ヲ行ハントスル折ニ於テ其真ノ國旗ヲ示ササルヘカヲ入背信ノ行爲ト爲タル奇計ノ例ハ海陸ニ通ルレノ各國ヲ爲シ又ハ軍使使ヘ白旗ヲ掲ケテ敵ヲ欺キ戰術上ノ利益ヲ得ントスル如キ是ナリ

第二 向謀及戰時救逆

海戰ニ於テ陸戰ノ如ク遂行ハルルコトナキモ全然向謀及戰時救逆ノ利用ノ場合ヲ存セスト云フヲ得スル向謀ニ干スル海牙條約ノ規定ハ陸戰ニ干スルモノナルヲ以テ當然海戰ニ適用アルモノニアラス然

ルトモ海戰ニ於ケル向謀ニ干シテモ大體ニ於テ海牙條約ノ規定ニ干スルヲ得ヘキナリ又戰時救逆ニ干シテハ陸戰ニ付テハ條約ノ所ナク適用アリトス

第七章 海底電線ノ破壞

第一 概説

海底電線ノ保護ニ干シテ平時ニ付テハ一八八四年ノ海底電線保護ニ干スル巴里條約ニ依リ約束スル所アリシモ戰時ニ干シテハ海牙ノ陸戰條約中ニ敵地占領ノ場合ニ於テ敵國ト中立國トヲ連絡スル海底電線ニ干シテ規定アルノ如ク戰時ニ於テ電線ヲ破壞切斷スルヲ得ルモ否ニ付テハ場合ヲ分テ論セサルヘカラス中立國ト交戦國トヲ連絡スル電線ノ破壞、切斷ニ干シテハ未ダ國際法規程確定セリトシテ得又此處ハ中立ヲ保テ論スルニ當リ説クヘキモノナルモ今後此ノ爲

二五二條又説クハ...

二二八

第二 一方ノ文戦國領土間ノ電線

海底電線カ一方文戦國ノ屬スル領土ノニ其ヲ連絡スル場合ニ於テハ... 電線ノ破壊切斷ヲ爲シ得ハキハ...

第三 雙方ノ文戦國領土間ノ電線

海底電線カ双方ノ文戦國ノ領土ヲ連絡スル場合ニハ孰レノ文戦國ニ通信ヲ所過シ得ハク必要アレハ電線ヲ破壊切斷スルニトテモ高シ...

第四 中立國領土間ノ電線

海底電線カ兩中立國又ハ同一中立國ノ領土ヲ連絡スル場合ニハ電線ハ所謂不可侵ニシテ破壊切斷ヲ行フヲ禁ザレ...

第五 中立國領土ト文戦國領土トノ間ノ電線

海底電線カ一方文戦國ノ領土ト中立國ノ領土トヲ連絡スル場合ニ於テ其電線ニ依リ連絡セラルル所ノ領土ヲ有スル文戦國ハ其主權ニ依リテ通信ヲ制限シ又ハ要アレハ之ヲ禁止スルヲ得...

一五九

於テハ電線ニ依リ連絡サレル敵地ヲ有效ニ封鎖サレタル場合ニ於テ
封鎖線ノ範圍内ニ於テスルハ切斷シ得ストシ、此場合ニ於テハ
出來得ル限り速ニ電線ヲ修復スルハシトス、而シテ敵國ノ領土上又ハ
敵國ノ沿岸海軍ハ低潮ノ水陸分界線ヨリ三哩迄ヲ舍ム、ニ於テハ常
ニ切斷シ得、^三爲ス然レトモ主トシテ切斷ノ場所ヲ探率トシテ切
斷シ得、キマ否マラズニトシ、時ニ敵國ノ領土上又ハ敵國ノ沿岸海
軍ニ於テハ常ニ切斷シ得、高又低ニ於テ概テ免レヌ如何トシ
場合ニモ敵國ノ領土上又ハ敵國ノ沿岸海軍ナレハ切斷シ得、シト爲
スハ中立國ノ交通ト交通スル正當利益ヲ無視スルモノナリ、海牙陸
戰法規ハ中立地ト占領地トヲ連絡スル海底電線ハ絶対的ノ必要ナレ
場合ニアラサレハ之ヲ押収シ又ハ破壞スルヲ得スト爲、又絶対的ノ必
要アリテ押収又ハ破壊スル場合ニ於テ平和克復ニ至リテ之ヲ還付シ且
之ヲ賠償ヲ決定ス、キマ否ト爲人（五四）絶対的ノ必要ナレハ電線
陸地ト占領セシ場合ニ占領地又ハ敵國領水（沿岸海ヲ舍ム）以テ
於テ切斷シ得、キマ勿論理論トシテハ公海ニ於テ又切斷シ得、キマ

三四〇

認メサルハカラス、又敵地ノ有效ノ封鎖ノ場合ニハ封鎖沿岸ト海洋ノ
方面ニ於ケル外部トノ交通ヲ絶ツ爲メ、敵國領水（沿岸海ヲ舍ム）ハ切
斷公海ト爲、封鎖艦隊ノ行動區域ニ於テ切斷シ得、キマコト明白ニ
シテ余ハ進ンテ其以外ノ部分ニテモ切斷シ得、キマニテラス、モト考フ
又敵地占領及敵地封鎖以外ノ場合ニ於テモ軍用上ノ絶対的ノ必要
ノ場合ニ於テハ敵國領海又ハ公海ニ於テ切斷ヲ爲ス、^現得スト信ス、感
レトモ絶対的ノ必要アル場合又ハ海底電線陸地ノ有效ナル封鎖ノ
場合以外ニ於テハ、後令敵國領水以テ於テモ切斷シ得、キマト爲ス、^可ト
ス、キマナリ

以上ノ場合ニ於テ電線ヲ占有スルモ私有タルモ又敵人ノ所有タルモ
中立人ノ所有タルモ區別スル所ナシトスルヲ通説トス、是レ一方ニ於
テ海底電線ニ依ル通信ニ干スル利害ハ所有者ニ干スルヨリモ電線ニ
依リ連絡セラルル地方ノ人民ニ干スル所大ナリト爲、ハク是テ破壞
切斷ニ干シテモ電線ニ依リ連絡セラルル地方ノ如何ニ依リテ之ヲ爲
シ得、キマ否マラズ、キマナルハカラス、^二而シテ他方ニ於テ切斷ヲ爲

サントスル交戦者ノ切斷ヲ為スノ戦争上ノ必要モ所有者ノ如何ニ依
ルヨリモ連綿セラルル地方ノ如何ニ依ル所大ナルヲ以テナリ

二四二

第二編 中立法規

第一章 中立ノ概念

第一 中立ノ性質

戦争ニ干与セサル国家ノ状態ヲ戦争ノ干係ヨリ免レハ則チ中立ナ
リ斯ノ如キ状態ニ在ル国家ハ即チ中立國ナリ國際法ノ未ク幼稚ナリ
シ時代ニ在リテハニ國家間ニ戰端ヲ開クトキハ他ノ國家ハ其一方ニ
干スルニアラサレハ則チ必ス其敵トナラサルヘカテナル有様ナリシ
カ一方ニ於テハ交戦國ヲ第三國ノ敵國ヲ助ケルヲ妨ケントスルノ念
應ヨ有シ又他方ニ於テハ戦争ノ原因ニ干係ナキ國家ノ戦争ノ時ニ於

テモ尚ホ平時ニ於テ利益將ニ交通及商ノ利益ヲ享ケントスルノ念
應ヲ抱スルヨリ遂ニ敵ニモアラヌ又味方ニモアラサル中立ノ地位ヲ
國際法上明確ニ認めラルルニ至レリ

二國家間ニ戦争起ルトキハ其戦争ニ干与セサル中立國相互間ノ干
係ハ竟ニ平時ニ比シテ変更アレコトナリ中立國ト交戦國トノ干係ニ
於テモ原則トシテ平時ニ於ケル権利義務ノ干係ヲ継続シ唯交戦國ノ
戦争ノ目的ヲ遂行スルノ必要ト中立國ノ利益保護ノ必要トニ基キ戰
争ニ干係シテ是等ニ固ノ固ニ特異ノ権利義務ノ干係ヲ生スルニ至ル
ナリ

中立ニ伴フ國際法上ノ権利義務ハ独リ國家ノ有スル所ナリ中立國ニ
偏スル個人ハ國際法上ノ中立状態ニ伴フ所ノ國際法上ノ権利義務ノ
主体ニヤラズ或ハ戰時禁制品ノ輸送又ハ貨幣ノ毀破ニ伴テ中立國ノ
臣民カ國際法上ノ権利義務ヲ有スルノ説ヲ為ス者アルモ個人カ國際
法上ノ権利義務ヲ有スルニアラズシテ交戦國カ其戦争ノ目的ニ有基
ナル個人ノ行為ヲ防遏スル爲ニ行ヒ得ハキ如置ノ範圍ニ干与シテ個人

二四三

ノ所為國タル中立國ニ於テ國際法上ノ權利義務ヲ有スルニ過キス交
戰國ト中立國ノ個人トノ直接ノ干渉ハ事實上ノ干渉ニアラサレハ交
戰國ノ國內法上ノ干渉ニ外ナラスシテ國際法上ノ干渉ニアラス唯其
干渉カ中立國ノ其所屬ノ個人ヲ保護スル一般の權利ヲ制限スルノ点
ヨリ交戰國ト中立國トノ間ニ國際法上ノ權利義務ノ關係ヲ存スルナ
リ、

學者ハ多ク中立狀態ニ伴フ權利義務ニ普通ナル抽象的觀念ニ依リ
中立ノ實質的ノ定義ヲ定メントシ中立トハ双方ノ交戰國ニ對スル公
平不偏ノ態度ヲ以テ為スル常トセリ然レトモ現時ノ中立ノ觀念ニ於
テハ單ニ双方ノ交戰國ニ對スル公平不偏ノ態度ヲ維持スレテ以テ足
レリトモシテ一方ノ交戰國ノ戰爭上ノ利益ヲ顧シ又ハ一方ノ交戰
國ノ不利益ヲ顧シ結果ヲ生スヘキ一定ノ行為(例ハ軍隊ノ供給)ハ能
對的ニ之ヲ避シ又ハ之ヲ交戰國ノ雙方ニ對シテ均等ニセテ行フコトヲ
モ許サレ又中立國ノ領域外ニ於テ一方ノ交戰國ノ不利益トナルヘ
キ他方ノ交戰國ノ機干又ハ一私人ニ依ル一定ノ行為(例ハ軍隊ノ領

土通過)ノ行ハルルヲ絕對ニ禁遏セサルヘカラス又中立國ハ自國臣
民ノ行フ所ノ一方ノ交戰國ニ有害ナル一定ノ行為(例ハ戰時禁制品
ノ輸送)ニ對シテ該交戰國ノ戰爭行為ヲ行ヒ得ヘキ地域内ハ双方ノ
交戰國ノ領域又ハ公海)ニ於テ特定ノ所過手段ヲ行フコトヲ嚴禁セ
サルヘカラス故ニ蓋テ中立ノ實質的定義ヲ定メントシテ或ハ公平不
偏ノ態度ナリト爲シ或ハ能動的ニモ被動的ニモ交戰國ニ補助ヲ与フ
ルヲ禁止スルノ地位ナリト爲スモ是レ皆中立ノ地位ニ伴フ能テノ權
利義務ヲ蔽フ所ノ普通ナル抽象的觀念ヲ以テ許シ得トス公平不偏
ノ態度カ中立ニキル主要ナル基本觀念ノ一ニシテ中立國カ數量ヲ
爲スノ余地アル場合ニハ公平不偏ノ義務カ活動スルヲ免ルト雖モハ
例ハ中立國ハ兵隊彈藥ヲ交戰國ニ輸出スルヲ禁スルノ義務ナキモ自
己ノ數量ニ依リ之ヲ禁スルヲ得ヘシ而シテ之ヲ一方ニ輸出スルヲ禁
ムレハ公平不偏ノ義務カ活動シテ他方ニ輸出スルコトヲ禁セサル
ヘカラサルニ至レシ此ノ種ノ觀念ノ一ニヨリ強テ中立ノ實質的定義
ヲ定メ中立ニキル能テノ權利義務ノ實質ヲ演說スル基礎ヲ作ラン

ト試ムルヨリモ單口中立ハ戰爭ノ干渉ヨリ見タル戰爭ニ干渉セザル
國家ノ狀態アリトスル形式の定義ヲ以テ精定シテ此國家ノ狀態
ニ伴フ權利義務ヲ國際法ノ淵源タル條約及慣習ニ依リテ深究スルヲ
可トス而シテ條約及慣習ニ依リテ定ムル所ノ中立ニ干渉スル現狀國際
法ノ規則ハ交戰國ノ其戰爭ノ目的ヲ遂行セントスルノ利益ト中立國
ノ平素ヨリ享有スル權利ト益ヘ適適交通上ノ利益ヲ含ヘ一ノ維持ニ
干渉ル利益トヲ調和スル所表の交際的ノ規則ニ外ナラサルナリ但双
方ノ交戰國ニ對シテ公平不偏ノ態度ヲ守ルコト及能動的ニモ受動的
ニモ何レノ交戰國ニモ補助ヲ与フルヲ禁止スルコトハ現狀國際法上
中立ノ地位ニ干渉スルヲ要スルニノ主要ナル原則的觀念タルヲ
失ハサルニトニ留意スルヲ要ス

第二 中立ノ種類

或ハ中立ニ完全ナル中立ト不完全ナル中立トノ區別アリトスル者
アリ然レトモ昔時ニ所謂不完全中立トハ特定ノ戰爭ニ干渉スレテ一

般のニ約セル條約ノ規定ニ依リ軍隊又ハ軍需品ノ供給ヲ爲シ軍隊ノ
中立領土通過ヲ許ス等直接又ハ間接ニ交戰國ノ一方ヲ補助スル場合
ニ存スルモノニシテ十八世紀ニ於テハ斯ノ如キ意義ニ於ケル所謂不
完全中立モ適法トシテ認めラレタル所ナルモ今日ニ於テハ最早之ヲ
適法トシテ認ムルヲ得ル一國ハ完全ノ中立ヲ守ラザルトキハ中立後
多邊及テ以テ目サレルナリ然レトモ今日ニ於テモ中立國ノ領土ノ一
部ヲ戰爭ノ目的ニ干渉アル場合等ニ於テ中立國ノ領土ノ一部ヲ交戰
國トナルコト下リハ例ハ日露戰爭ノ旅ノ滿洲ニ此場合ニ於テ當該
中立國ハ不完全ナル中立又ハ制限サレタル中立ノ地位ニ在リト云ヒ
難キニテヨサルナリ

或ハ中立ニ好意的中立ト否トノ區別ヲ認メ得ヘシト爲メアリ好
意的中立ノ語ハ三回同盟ノ基礎ヲ成セル独逸同盟ノ條約文中ニ用ヒ
ラレタリ國際法上ヨリ三ハハ中立ノ地位ノ二種ヲ認ムルハカザルモ
外交上ニ於テハ今日ニ於テモ好意的中立ヲ認ムルヲ得ケルニテラス
但今日ニ於テ認メ得ヘキ所謂好意的中立ハ國際法上中立ノ義務ニ違

及カサル範圍内ニ於テ外交等ノ手段ニ依リ交戦國ノ一方ニ對シテ利
益ヲ与フルヲ圖ルニ外ナラサルナリ

戰時ニ於ケル中立ハ之ヲ永久的中立國ノ地位ト區別セサルヘカラ
ス永久的中立國トハ諸強國ノ干渉スル條約ニ基キ永久的ニ交戦國
ニ干渉セサルノ地位ヲ維持スヘキコトヲ定メラレタル國家ニシテ永
久中立國家ハ他ノ攻撃ニ對シテ防禦ヲ爲ス場合ノ外ハ戰争ヲ行ハス
又平和ヨリ他國間ノ戰争ニ引入レラレハキ干渉(同盟條約等)ヲ作
ラサレノ義務ヲ有スルモノナリ永久中立國以外ノ國家ハ斯ノ如キ義
務ヲ有セスシテ他國間ニ戰争起ル場合ニ中立ノ地位ヲ守ルノ義務
ヲ有スルコトナク任意ニ戰争ニ加ハルヲ得ルナリ但永久中立國ト戰
争ニ中立國トハ其戰時ニ於ケル中立ノ地位ニ干シテハ權利義務ヲ異
ニスルコトナキナリ

一國ノ領域ノ一部タル土地又ハ運河ニ干スル所謂中立(例ハコル
ノ島又ハスエズ運河ノ中立)ハ條約ニ依リ該地域内ニ於テ戰争行為
ヲ実行シ又ハ之レヲ準備スルヲ得サルコトヲ定ムルニ外ナラス

第三 中立ノ始期及終期

一ノ國家ノ中立ノ地位ニ在ル否ニハ他國ノ間ニ戰争ノ狀態ノ成立
スルヲ必要トスルヲ以テ中立狀態ニ伴フハキ權利義務ハ他國間ニ戰
争ヲ開始セラレタル後ニ發生シ他國間ノ戰争止ミタル後ハ存在セ
ルノ理ナリ而シテ一國ノ中立狀態ノ存在ノ必要條件タル戰争狀態ノ
存在ヲ知ラサル間ニ之ニ中立狀態ニ基ク義務ヲ負ハシムルハ不
ルヲ以テ中立ノ權利義務殊ニ義務ノ發生ハ中立國ノ戰争開始ノ事
ヲ知リ得ル時ヨリスルモノト爲スヘキナリ第二回平和會議ニ於テ新
ニ交戦國間ニ通告ナクシテ敵對行為ヲ開始シ得サルヲ定メタルト
同時ニ新ニ交戦國ニ負ハシムルニ戰争狀態ノ成立ヲ遲延ナク中立國ニ
通告スルノ義務ヲ以テシタリ此通告ハ僱護ヲ以テシテ爲スヲ得
ム而シテ戰争ノ狀態ハ通知後領ノ後ニヤラサレハ中立國ニ對シ其
果ヲ生セサルモノトス但中立國ノ實際戰争狀態ヲ知リタルコト確
ナルトヤハ該中立國ハ通告ノ欠缺ノ故ヲ以テ其責任ヲ免ルルヲ得
ス

(開戦ニ関スル海牙条約ニ)

現今中立国ハ中立ノ宣言ヲ為スヲ常トス然レトモ中立ノ地位ヲ維持セントスル国ハ必スシテ宣言ヲ為スヲ要セ又中立ノ宣言ハ中立ノ権利又ハ義務ノ發生ニ必要ナル条件ニテラス戦争ノ原因ニテ係ナク又交戦国ト同盟千係又ハ從屬千係ヲ有セサル国ハ戦争ニ干渉スルノ宣言ヲ為スユトナク又實際上交戦国ノ一方ニ援助ヲ為ハサル以上ハ中立ノ宣言ノ有無ニ拘ラス中立国ト看做サルヘキモノナリトス中立ノ宣言ハ一國力中立ノ状態ヲ維持スルコトヲ其臣民其他領域内ニ在ル者至ニ交戦国ニ対シテ明ニスルノ目的以外ニ於テ中立国ノ領域内ニ於テ禁遏ス、キ行爲ヲ明示スルノ目的ヲ以テ行ハルレトアリ是レ中立ニテマレ權利義務ハ國際法上未ダ明確ニ確定セザル莫アルノミナラズ種々ノ事項ニテ中立国ニ裁量ノ餘地アルヲ以テ中立宣言中ニ中立国ノ領域内ニ於テ禁遏セントスル行爲ヲ明示スルナリ

中立状態ノ存在スルニハ他国間ニ戦争状態ノ存在スルヲ要スレ

ヲ以テ他国間ノ戦争状態ヲ終止スルトキハ中立ノ状態モ終止スルモノトス又中立国力戦争ニ干渉スルニ至ルトキハ其國ノ中立ノ状態ノ終止スレハ言ヲ發ス但交戦国力中立ヲ侵害シ又ハ中立国力中立義務ニ違反スルモ当然中立ヲ終止スルト云フヲ得ス然令中立侵害又ハ中立義務違反力重大ニシテセテ因リ中立国ト交戦国トノ間ニ戦争ノ起ル場合ニモ戦争ノ開始ヲ生シ從テ中立ヲ終止セシムルモノハ中立侵害ノ行爲又ハ中立義務違反ノ行爲其モノニアラスニテ侵害ヲ被レル中立国力交戦国ニ対シ又ハ中立義務違反ニ依リ害ヲ被レル交戦国力中立国ニ対シテ行フヘキ開戦ノ宣言又ハ敵對行爲ニ在リトスヘ第一節第一節第六條參照)但交戦国力中立国ニ対シテ敵對行爲ヲ行ヒ又ハ中立国力交戦国ニ対シテ敵對行爲ヲ行フトキハ立ニ依リ戦争開始ニ中立ヲ終止スルコトトナルヘキナリ茲ニ注意ス、キハ中立国力其中立ノ侵害ヲ防止スル事實ハ兵力ヲ用フル場合ト云モセテ以テ敵對行爲ト認ムルコトヲ得サルコト是ナリ(陸戰ノ場合ニ於テ中立国及中立人ノ權利義務ニ干スル條約一〇參照)

第四 中立ノ権利義務概説

中立國相互間ノ干渉ハ毫七平時ニ比シテ變更アルコトナク中立國ト交戦國トノ關係ニ於テモ原則トシテ平時ニ於ケル権利義務ノ干渉ヲ継続シ且交戦國ノ戰爭ノ目的ヲ遂行スルノ必要ト中立國ノ利益保護ノ必要トニ基キ戰爭ニ干渉シテ果第一國ノ間ニ所謂中立ニ干渉スル特別ノ権利義務ノ干渉ヲ生スルニ外ナラサルモノナリトス故ニ中立國ノ狀態ハ全然平時狀態ノ継続ナリト云フヲ得サルモ原則トシテハ平時狀態ノ継続ナリト云ヒ得中立干渉ニ於テ概シテ云ハハ中立國ノ義務又ハ交戦國ノ権利カ若シキ現象ニシテ學者中或ハ中立干渉ニ於テ交戦國ニ對スル新ナル権利ヲ中立國ヲ中立國ヲシテ享有セムルニ至ルコトナシト為スモノアリ中立國ノ交戦國ニ對シテ有スル権利ノ多數ハ平時ニ於テ一國カ他國ニ對シテ有スル權利ト其收奪ヲ回クスルコトハ爭フヘカラヌ例ハ領域ヲ侵サレサルノ權利ノ如キハ一國カ平時ニ於テモ有スル所ナリ唯戰時ノ中立干渉ニ於テ是等ノ權利ハ特別ノ義務干渉ヲ附帶スルニ至ル例ハ中立國ノ領域ヲ侵サレサルノ權利ハ之ヲ一方ノ交戦國ニ對シテ履行セサルトキハ他方ノ交戦國ニ對スル中立義務違反トナルリ而シテ中立國カ中立干渉ニ於テ平時ニ存セザル余ク新ナル權利ヲ享有スルニ至ルコトモ亦爭フヘカラヌ例ハ戰爭ノ開始ヲ交戦國ニ依リ通告セラルルノ權利又ハ中立船中ノ敵貨ヲ拿捕セシメサルノ權利等ノ如キ是ナリ

中立國ノ狀態ハ原則トシテハ平時狀態ノ継続ナリト云フヲ得ヘキヲ以テ中立國ハ原則トシテ交戦國トノ總テノ交通ヲ継続シ得ヘク又原則トシテ其臣民ノ交戦國又ハ交戦國臣民トノ交通ヲ禁遏スルノ義務ナキナリ中立國ト交戦國トノ間ノ交通々商ノ自由ハ種々ノ干渉ニ於テ認めラルヘ例ハ巴里宣言ハ中立船中ノ敵貨ノ拿捕シ得サルヲ認メ又ハ海牙ノ海上拿捕ノ制限ニ干スル條約(一)ハ封鎖港ヨリ出テ又ハ之ニ入ル場合ノ外ハ中立船又ハ敵船上ノ中立人又ハ敵人ノ郵便物ノ不可侵ナルヲ定ム然レトモ戰爭狀態ニ於テ交戦國ニ其戰爭ノ目的ヲ遂行スルノ權能ヲ認めサルヘカラサルヨリ他方ノ交戦國トノ

中立國ノ交通々商ノ自由ニ對シ制限ヲ課スルニ至ル例ハ中立國ノ一
 方ノ交戦國ノ領域ニ於テ享有スル條約上ノ權利ハ他方ノ交戦國力戰
 時占領ヲ爲ス場合ニ於テ占領地ニ於テ實際ノ行使ヲ妨ケラレルニ至
 リ又交戦國ト通商スル中立國ノ商船ハ交戦國ノ軍艦ニ依リ臨検搜索
 ヲ受クヘクニテ封鎖便破、戰時禁制品輸送又ハ軍事的補助者ノ故ヲ
 以テ拿捕ヲ受ケサルヘカラサルニ至ル中立國ハ斯ノ如ク戰爭ノ干係
 ニ基キ交戦國トノ交通々商ニ於テ制限ヲ受クト爲テ中立國ハ交戦國
 ノ一方ニ收奪セル其外交官カ他方ノ交戦國ノ占領スル地方ニ在ルト
 キ心クトモ該占領区域ヨリ妨害ヲ受クルコトナク退去シ得ヘキコト
 ヲ主張スルヲ得ヘク又中立國ハ交戦國ノ一方ノ領地又ハ海上ニ在ル
 其臣民又ハ其臣民ノ財產カ戰爭法規ノ課スル以上ノ苛酷ナル取扱ヲ
 受ケサルコトヲ要求スルヲ得ヘキナリ

中立干係ニ於テ最モ顯著ナルハ中立國ノ義務又ハ交戦國ノ權利ナ
 リトス、中立國ノ義務ハ研究ノ便宜ノ爲メ又レヲ三種ニ分テテ論ス
 ハシ

二五四

中立國ノ義務ノ第一種ハ中立國自身ノ交戦國ノ一方ヲ援助スルヲ
 避止スルノ義務ナリトス此義務ニ依リ中立國ハ交戦國ニ對シ軍艦ノ
 供給ヲ爲シ又兵器其他ノ軍用材料ノ供給ヲ爲スヲ得ヘキトス、
 避止 (Abstention, 義務)

中立國ノ義務ノ第二種ハ其領域内ニ於テ交戦國ノ一方ノ軍艦ニ
 目的ヲ進歩スヘキ行為ヲ禁遏スルノ義務ナリトス此義務ニ依リ中立
 國ハ交戦國ノ軍艦艦隊ノ中立國ノ領域ハ沿岸海ヲモ含ヘ) 收ニ於テ
 敵對行為ヲ爲スヲ禁遏シ又交戦國ノ軍艦艦隊ノ中立國ノ領域ヲ離
 上ノ特別ノ利益ヲ得ル爲ニ利用シ又ハ一人ノ中立國ノ領域ヲ一方
 ノ交戦國ノ軍艦ヲ助ソル爲ニ利用スルコトヲ禁遏セサルヘカラサル
 ニ至ル (Prevention, 義務)

中立國ノ義務ノ第三種ハ中立國ノ自國臣民ノ行ヲ所ノ交戦國ノ一
 方ニ有害ナル行為(例ハ陸上ノ敵對行為又ハ海上ノ戰時禁制品ノ輸
 送若ハ封鎖便破ノ行為)ニ許シテ共交戦國ノ戰爭行為ヲ行ヒ得ヘキ
 地域内(普通及方ノ交戦國ノ領域及公海)ニ於テ一定ノ防護干渉ヲ
 二五五

行フコトヲ黙視スルノ義務ナリトス此義務ニ依リ中立國ハ臣民リ其
敵對行為又ハ戰時禁制品輸送若ハ封鎖破ノ行為ノ爲ニ交戰國ノ國
際法上認めラレル一定ノ範圍内ノ防遏手段ヲ度フルヲ黙視シ候テ交
戰國ノ一方ニ對シテ敵對行為ヲ爲シタル中立國臣民カ同一行為ヲ爲
セシ敵國人ヨリ嚴酷ナル取扱ヲ受テタル以上ハ交戰國ハ是等ノ中立
國臣民ニ對シテ施ス防遏手段ヲ黙視シハ極限ノ中立ニ至ルベシ然レ
トモ照シ又公海若ハ交戰國領海ニ於テ交戰國ハ中立國船ニ臨檢或
ツ行ヒ禁制品ノ輸送、封鎖破或ハ軍事的補助ヲ行ヒタルヲ察見セ
ルトキハ之ヲ拿捕シテ審檢所ニ引致シ時ニ沒收ヲ行フコトヲ黙視セ
サルハカラナルニ至ルハ黙視 *Requiescant* (義務)
以上ノ三義務中禁運ノ義務ハ作爲ノ義務ハ或ハ積極的義務ニシ
テ禁止及黙視ノ義務ハ共ニ不作爲ノ義務ハ或ハ消極的義務ナリ年
ニ不作爲ノ義務ナリト雖モ禁止ノ義務ハ中立國自身カ交戰國ヲ援
助セサルノ義務ニシテ黙視ノ義務ハ中立國カ其臣民ノ受ケル所ノ交
戰國ノ過法ノ處置ニ對シテ保護的ノ手段ヲ爲ササルノ義務ナリ黙視

ノ義務ハ交戰國ノ積極的ノ行為ニ對スル義務ナルヲ以テ交戰國ノ權
利ノ方面カ著シク各人ノ注意ヲ惹クモノナリト雖モ交戰國ノ權利ノ
範圍ニハ常ニ中立國ノ義務ヲ存スルコトヲ忘ルヘカラス
昔時中立ノ思想カ未ダ發達セサル時代ニ於テハ中立國ハ單ニ禁止
ノ義務ニ背カリルヲ以テ其分ヲ尽シタルモノトシ而シテ禁止ノ義務
ニ至リテモ一定ノ行為ニ干シテ他對的ニ義務ヲ存セズニテ双方ノ交
戰國ニ公平ニ行フトキハ交戰國ヲ援助スルノ結果ヲ生スル行為ハ軍
隊ノ供給、兵器彈藥ノ供給、軍艦ノ領土通過ノ認許等ニモ之ヲ行ヒ
得タル時代アリ禁止ノ義務カ一定ノ行為ニ付キ他對的ニ認めラレル
ニ至リテモ未ダ他種ノ義務ヲ生セザリシ時代アリ然ルニ中立ニ至
ル思想ノ漸ク發達スルニ從ヒテ禁運ノ義務及黙視ノ義務カ認めラ
ルニ至リテ禁運ノ義務ハ其禁運一團レハ禁止ノ義務ニ至ル思想ノ
實行ニ外ナラス中立國ハ一方ノ交戰國ヲ援助スルコトヲ禁止スルノ
義務ナルニ中立國ノ領域カ交戰國ノ一方ノ爲ニ或戸ノ目的ヲ達ス
ルニ利用セラルルヲ黙視シテ禁運シ得ヘキニ禁運セサルトキハ同等

二五八
二一方ノ交戦國ヲ援助スル者ハ其國ノ戰争ノ目的ノ爲メ
既テ其國ノ領土ヲ侵シテ其國ノ戰争ノ目的ノ爲メ
ニ利用スルノ行為ハ交戦國ノ軍隊組織又ハ其他ノ機關ノセテ行フコ
トアリ又一個人ノ之ヲ行フコトアリ故ニ中立國ノ禁過ノ義務モ交戦
國ノ機干ノ行為ニ干スルコトアリ、單ニ個人ノ行為ニ干スルコトノ
リ

黙視ノ義務ニ至リテモ中立國ハ其臣民ノ行フ所ハ交戦國ノ一方ノ
戰争ノ目的ノ爲メニ有害ナル行為ヲ交戦國力所過スルニ對シテ其平
素有スル臣民ヲ保護スルノ一般ノ権利ニ依リ交戦國ノ戰争ノ目的ヲ
遂ケントスルヲ妨害スルコトヲ爲ササルノ不作為ノ義務ナルヲ以テ
強ラ云ハハ永遠止ノ義務ノ思想ノ發所ヲ以テ目スルヲ得ナルニア
ス

第五 中立ノ侵害及中立國ノ責任

中立國ノ責任ノ問題ニ牽聯セル中立ノ侵害ニ付テ一言スハ、シ余ハ

中立ノ侵害ヲ中立義務違反ト區別シ交戦國々中立國ノ中立ニ干スル
權利ヲ侵シタル場合ヲ指稱セントス中立領域ヲ侵サレサルノ中立國
ノ權利ニ付ヤ中立國ハ一方ノ交戦國ノ中立ノ侵害ヲ黙視スルトキハ
他方交戦國ニ對スル禁過義務ノ違反トナルヘキナリ故ニ中立領域ニ
干スル中立侵害ノ場合ニハ中立國ハ中立後援ノ遂ルコトヲ未然ニ防
避スル爲ニ一切ノ手段ヲ尽シ侵害既ニ起レルトキハ事後相當ノ改正
ノ方法ヲ取メサルヘカラス改正ノ方法ハ場合ニ依リ異ルト云モ普通
ハ謝罪又ハ禁解ヲ要ホシ又不正行為ノ結果ヲ消滅セシムルコトヲ要
ホスヘク出来得ル又ケ事柄ノ原因回復ヲ取メサルヘカラス例ハ中立
艦ニ於テ俘虜ヲ捕ハタル場合ニ於テ捕ハラレタル俘虜ヲ釋放セシ
メ中立領海ニ於テ船舶ノ拿捕ヲ行ハル場合ニ於テ拿捕セラレタル船
舶ヲ解放セシムル如キハ海戰ノ場合ニ於ケル中立ニ干スル條約三ノ
是ナリ而シテ中立領海ニ於ケル敵船拿捕ノ場合ニ干シテハ中立國ハ
損害ヲ受ケタル交戦國ノ爲ニ原状ノ回復ヲ取メ回復シ難キ損害ニ付
テハ損害賠償ヲ取メセテ損害ヲ受ケタル交戦國ニ責任スルノ權則ト

ナレリ中立國ハ中立ノ侵害ニ付シテ爲セル戰國ニ付シテ完
分ノ改正ヲ示メカルトキハ他方ノ交戦國ニ付シテ中立義務違反トナ
リ中立國ハ他方ノ交戦國ヨリ改正ヲ要求セラレ就中損害賠償ヲ要求
セラルルニ至ル

中立義務ニ於テ敵ヨリ攻撃ヲ受ケタル交戦國軍艦カ公然中立國ノ
保護改正ニ依頼セシテ敵ノ攻撃ニ付シテ自ラ防禦シタル場合ニ於テ
ハ自ラ防禦スル軍艦ハ自己モ亦中立ヲ侵害スルコトトナリ中立國ハ
其損害賠償ノ責ニ任セストノ說要行ハル然ルト云モ此点ニ於テ正判
ヲ爲ササルヘカラス攻撃ヲ受ケタル前ニ中立國官憲ノ保護ニ依頼スル
余船アルモ依頼セカルトモニ於テ始メテ防禦スル軍艦モ自ラ中立ヲ
侵害スルコトトナルト云ヒ得ヘキナリ且中立國官憲カ現場ニ於テ攻
撃スルハ拿捕ヲ妨ケタルニ反ルノ兵力ヲ有セサル場合ニ於テモ先ヨリ
國官憲ノ保護ニ依頼スルヲ要ス中立國官憲ハ兵力ヲ用ヒスニテ保護
ヲ完シスルコトヲレハナリ(ジュネブル、グロームストロント、第百事件)
然レトモ中立國官憲ノ保護ヲ依頼スルノ餘裕ナキニ敵ノ攻撃ヲ受ケ

自ラ防禦スルハ緊急状態ニ因リ防禦行爲ニシテモ以テ中立ノ侵害
ト同視スルハ不可ナリトス

中立國ノ責任ノ程度ニ付シテ中立國ノ義務中禁遏義務ニ付キ議論ア
リ中立國ハ禁遏シ得ヘキニ善意ヲ付キ禁遏セザリシト明ナルト
キハ中立義務違反ナルコト明ナリ然レモ中立國カ如何ナル程度ノ注
意ヲ以テ禁遏ヲ行ノノ責任アルカニ付キ議論アルナリ素ヨリ中立國
カ相當ノ注意ヲ以テ禁遏スルコトヲ得ヘキモノヲ禁遏シタルトキハ
其責任ヲ尽シタルモノト認ムヘキモ所謂相當ノ注意ノ何アルカニ付
シテ爭ヲ生ス其米國ノ争議タルアラバク等事件ノ際ニ仲裁裁判ノ準
則トシテ定メラレタル所謂ワシントンノ規則中ノ相當ノ注意(due
diligence)ノ語ニ付シテシエネカアニ用カレタル仲裁裁判所ハ米
國ノ解釈ヲ容レ相當ノ注意ハ中立義務ヲ反ク爲ニ交戦國ニ生人ヘキ
危険ノ度ニ比例シテ定メサルヘカラストスルノ說ヲ採ルニ至レリ之
レ中立國ニ付シテ客觀的標準ニ依リテ監視ノ程度ヲ嚴密ナラシメサ
ルヘカラサル重大ナル責任ヲ負ハシムルモノナリ當時英國ハ相當ノ

注意トハ其場合ニ於ケル總テノ事情ヲ考ヘテ其事情ノ下ニ合理的ニ
責任者ニ期待スルヲ得ル程度ノ注意即チ責任者ニ于スル主観的標準
ニ依リテ定メル程度ノ注意ナリトノ解釈ヲ採レリ海牙ノ海戦ニ于テ
中立國ノ権利義務ニ于スル條約中ハ及ニ五ノ規定又ハ違反ヲ防
止スル為ニ中立國ノ施設再ヘキ手段ニ依リ監視ヲ行フノ義務アリト
為シタルハ詔異ルモ其意英國ノ相当ノ注意ノ解釈ニ于スル見解ト相
類ス

中立國ノ東邊義務ニ于スル責任ハ其領域内ニ限ルモノナリ責任ハ
必ス権利ト相伴フヘキモノニシテ責任ノ在ル所ハ即チ権利ノ存スル
所ナラサルハカラサレハナリ、陸戦ノ場合ニ於ケル中立國ノ権利義
務ニ于スル條約ハ五第二項ハ中立國ハ自己ノ領土内ニ於テ犯シタ
ルモノニテラサレハ中立違反ノ行為ヲ処罰スルヲ要セスト為ス
茲ニ中立ノ侵害ニテ條約一言スヘキコトアリ中立國ハ中立ノ侵
害ヲ所ノ為メニ交戦國ノ領土ノ一定ノ港灣又ハ一定ノ領水ノ部分ニ
入ルヲ禁シ之ヲ悉ク敷設水雷ヲ敷設スルヲ得ルコト是ナリ第三平和

公海ノ自動航行船底水雷ノ敷設ニ于スル條約ハ四ハ中立國ハ其ノ
沿岸ノ前面ニ自動航行船水雷ヲ敷設シ得ヘキヲ認メ而シテ其場合ニ於
テ交戦者トシテノ規定ニ遵據シ且ツ四ハ一ノ平所手段ヲ執ルコトヲ要
スト為セリ

第六 中立侵害ニ依リ捕獲ノ交戦國向ノ效力

本章ヲ終ルニ臨ミ中立侵害ニ依リ行ハレタル條約ノ拿捕ノ交戦國
向ノ效力ニ付キ一定スヘシ拿捕力中立ヲ侵害シテ行ハレルモ交戦國
向ニ於テハ捕獲力無効トナルコトナシ改ニ交戦國ノ捕獲審檢所ニ於
テハ敵人ハ拿捕力中立侵害ニ依リ行ハレタルコトヲ理由トシテ捕獲
物ノ没収ニ及テスルヲ得又但道法ノ拿捕ノ為ニ中立ヲ侵害サレタル
中立國政府ハ外交裁判ヲ以テ捕獲物ヲ回復シ戻所相立ニ侵スルヲ得
ルナリ

中立侵害ニ依リ拿捕セル船舶カ交戦國爲檢所ノ檢定ニ依リ捕獲物
トシテ没収サレタル後第三者ニ之ヲ賣却シ又ハ審檢所ノ拿シタル捕

獲物公賣処分ニ依リ賣却サレタレ後ハ合衆國ニ於テハ買主ノ中立ヲ
侵害サレタル國ニ於テモ侵ス、カラケル權利ヲ得ルト為スモ之ニ對
シテ次討議アリ但不法ナル拿捕ヲ為セシ拿捕者リ捕獲物ノ没収ノ款
定ムルモ又ハ捕獲物公賣処分ノ際之ヲ購フモ拿捕ノ不法ナル結果ヲ
免ルル能ハサルハ何人モ認ムル所ナリトス

中立侵害ニ依ル不法ナル捕獲ノ改正ニ付テハストリーパー、ア
ミス、タッド、ウ、リユー、ス等事件ニ於テ捕獲物ノ所有主ハ捕獲物ノ
回復ヲ得ルノ權利アルモ拿捕ニ依リ延レル損害ノ賠償ヲ受クルノ權
利ナシト爲ス英國ノ外國就役條例ノ定ムル所モストリーパーノ説ク
所ニ由ル

第二章 中立國自身ノ積極的行為ニ 関スル 中立國ノ權利義務

(禁止ノ義務及之ニ牽聯スル權利)

中立國ハ交戦國ノ一方ニ對シテ直接ニモ間接ニモ積極的ニ戰爭上
ノ援助ヲ爲スコトヲ得サルナリ故ニ交戦國ニ對シテ軍隊ヲ供給スル
ヲ得ス又軍糧其他ノ軍用ニ供シ得ル船舶又ハ兵器彈藥其他ノ一切ノ
軍用材料ヲ供給スルヲ得ス(海戦ノ場合ニ於ケル中立ニ付スル條約
又ハ金銭ヲ供給スルヲ得ス)

昔時ト異リテ今日ニ於テハ平時ニ於テ諸ヒタル契約ノ定ムル所ニ
依テ戰時ニ軍隊又ハ軍用材料ヲ供給スル如キモ中立義務ノ違反ト認
メラル

中立國自身ノ直接ニ交戦國ニ軍隊又ハ兵器彈藥其他ノ軍用材料ヲ
供給スルニ付一旦他人ニ賣却スレ場合ニ於テモ中立國ハ其間接ニ交
戦國ノ手ニ歸スハキコトヲ現ニ知リ又ハ知ラサルハリラサル狀況ニ
在リテカク賣却ヲ行ヒタルキハ中立義務ニ違反スルモノト認メテ
此點ニ付テ異論ヲキニアラズモ第ニ平和公義ノ爲メハ海戦ノ場

合ニ於ナル中立ニ于スル條約ニ於テハ如何ナル名義ヲ以テ人ルヲ
向ハ人直達スルハ自給ニ軍艦、彈藥又ハ一切ノ軍用材料ヲ交戦國ニ交
付スル場合ニ由立後亦返反アクト認メタリ

軍艦ノ供給ニ于シテ(会社)中立國ノ補助運洋艦ト定メラレタル船
舶ヲ賣却セントスルヲ中立國政府カ許可スルトキハ中立國ノ補助海
軍ノ一部ヲ交戦國ニ供給スルモ認ムルモノトシテ以テ中立後亦返
反ト為スヘシト思惟ス

金銀ノ供給ニ于テ中立國自身ハ如何ナル名義ヲ以テスルヲ向ハ人
軍資金ノ供給ヲ為人ヲ得ルノミナラズ利子ヲ取ノ權利ノ為ニ為ス
ト否トヲ向ハ人交戦國ニ金銀ヲ貸与スルヲ得ルモノトス又中立國
政府ハ一方ノ交戦國ノ公債ノ募集ニ際シ該交戦國ノ為ニ公債ノ保証
ヲ為スニトモ為シ得サルモノトス
中立國ハ其ノ軍艦又ハ其他ノ公船ヲレ一方ノ交戦國ノ為ニ軍事
ニ于テ輸送ニ從事セシムルヲ得ス中立國ハ其軍艦又ハ其他ノ公
船ヲレテ戰事上一方ノ交戦國ヲ利ス、キ後進ヲ其交戦國ニ于ヘシム

ルコトヲ得ス又外交官其他ノ機關ヲシテ斯ノ如ク行爲ヲ為サシムル
ヲ得ス

中立國ノ公許水先人ニ于テ海戰ノ場合ニ於ケル中立ニ于スル條約
第十一條ニ規定アリ是ニ依ルトキハ中立國ハ戰艦ヲ行フノ余地アリ
テ運送ニ于テ領海ニ入ル交戦國軍艦ノ入港ノ水先案内ヲサシム又通
道ヲ禁セサル領海ヲ通過スル交戦國軍艦ハ水先案内ヲ為サシムル
ヲ得然レトモ海難ノ場合ヲ除キテハ公海ニ於テ一方ノ交戦國ノ軍艦
ノ水先案内ヲ為サシムルトキハ他方ノ交戦國ハ之ニ對シ抗議ヲ為ス
ヲ得ヘキナリ

中立國ハ交戦國ノ作戦行動ヘ如何ニ或國封鎖等ノ妨害スルヲ得ス
又中立國ハ戰事ニ于テ依リタルキモノナルヲ以テ交戦國ノ領ニニシ
テ戰事ノ原因ニ于テ依アル力ヲ行ハルモノ地理上ノ理由ニ依リ作戦ノ成
功ハ不成功ニ于テ依タルヘキ地ヲ占領シ又ハ讓渡スルヲ得ス又戰事
中一方ノ交戦國ノ占領シ若ハ在版セルエ地ヲ讓渡スルヲ得ス

中立國ハ交戦國ニ對シテ諒解行爲ヲ行フヲ得サルハ勿論ナルモ交
戦國ノ兵カカ中立ヲ侵害セントスルニ當リ強カク以テ之ヲ妨グルコ
トヲ得

トアリ例ハ文戦國軍艦カ中立港ニ於テ敵船ヲ拿捕セントシ又ハ文戦國ノ軍艦カ中立國ノ領土ヲ通過セントスルトキハ中立國ハ兵カヲ以テ之ヲ妨クルコトアリ此場合ニ於テ中立國ハ彈力ヲ用フルニ中立ノ侵害ヲ防キ中立義務ヲ完フセントスルカ爲ニシテ敵船ノ意思ニ基クニアラサルヲ以テ之ヲ敵對行為ト認ムヘカラス改ニ陸戰ノ場合ニ於ケル中立ニ干スル條約第十條ハ中立國カ其中立ノ侵害ヲ防止スル旨ニ兵カヲ用フル場合ト云モ之ヲ以テ敵對行為ト認ムル事ヲ得スト云

第三章 中立領域ニ於ケル交戦國ノ行為又ハ個人ノ行為ニ関スル中立國ノ権利義務

(禁過ノ義務又ニ禁斷ノ權利)

第一 概説

中立國ハ其領域内ニ於テ交戦國又ハ個人カ一方ノ交戦國ノ戦争上ノ目的ヲ進悞シ他方ノ交戦國ニ損害ナルヘキ行為ヲ爲スヲ禁過スルノ権利ヲ斯ノ如キ行為ニ關リ利益ヲ得クヘキ交戦國ニ對シテ有クト同時ニ斯ノ如キ行為ヲ禁過スルノ義務ヲ斯ノ如キ行為ニ關リ不利益ヲ受クヘキ交戦國ニ對シテ有スルナリ而シテ上述ノ禁過ヲ爲スノ權利ハ一國ノ領域ヲ侵サレサルノ權利ノ戰時ニ於ケル義務ニ外ラサルヲ以テ是ヲ中立國ノ不可侵取ト致スルヲ得中立國ハ其領域内ニ於テ戦争ノ損害ヲ進クルヲ求ムル者ヲ收容スルノ權利ヲ有スルニテ庇護ヲ受クタルヲ禁過スルヲ得中立國ノ不可侵取ハ之ヲ行為ヒルトキハ他方ノ交戦國ニ對シテ禁過義務ヲ受クコトナルヲ常トスルモ他方ノ交戦國ニ對スル義務ノ範圍以外ニ巨リテ禁過ヲ爲スノ權利ヲ認メラハル場合アリ例ハ戰時禁制品ヲ交戦國ニ向ケテ輸出スルヲ禁過スルハ中立國ノ義務トスル所ニアラザルモ中立國ハ其ノ數量ニ依リテ禁過ス

ルノ裁判ヲ認ムラルル如キ是ナリ但禁過ヲ為ス場合ニハ双方ノ交戦
國ニ對シテ均等ノ条件ヲ以テ之ヲ行フコトヲ要ス

第二 中立領域ノ不可侵

中立國ハ其領域ニ於テ一方ノ交戦國カ他方ニ對シテ戰爭ヲ行ハザル
ヲ中立ノ限トシテ禁過スルヲ得ヘク之ヲ禁過シ得ヘキニ禁過セ
サルトキハ他方ノ交戦國ニ對シテ禁過スルニ違反スルコトトナ
リ領域外ニ於テ禁過ノ為メ必要ナル海力ヲ用フルモ敵對行爲ト看做
スヲ得ス(陸戰ノ場合ニ於テ中立ニ干スル條約一ノ取極メ中立國
ハ未然ニ禁過ヲ為サレハ事後ニ改正ヲ求メサレハカラス交戦國カ
中立領域ニ於テ行フヲ得ザル戰爭行爲ハ拿捕及臨檢ニ干スル行爲ヲ
含ムヲ以テ中立領域ニ於テ臨檢檢索又ハ拿捕ヲ行フトキハ中立ノ優
害トナル中立領域外ノ拿捕ニ干シテ該中立國カ尚ホ其領域外ニ在ル
拿捕サレタル船舶ヲ其職責及船隻ト共ニ解放セシムル為メ施シ得
キ一切ノ手續ヲ尽サハルハカラスハ此場合ニ拿捕者カ船舶ニ乘込メ

シタル船舶ヲ抑留スヘキモノトス)又拿捕セラレタル船舶カ既ニ
中立國ノ領域ヲ去リタル場合ニハ中立國ハ外交ノ手段ニ依リ之ヲ解
放ヲ拿捕セル交戦國ニ要スヘキナリ(海戰ノ場合ニ於ケル中立ニ
干スル條約三)斯ノ如キ外交上ノ要求カ未ダ達セラレザル間ニ拿捕
セラレタル船舶カ再ヒ中立領域ニ入レル場合ニ林キ海牙條約ニ規定
ナキニ共、未ダ交戦國ノ軍艦其ノ他ノ公船ニ輸入セラレハレハ禁過ニ於
テハ之ヲ解放マシムル為メ必要ナル手段ヲ施シ得ヘキトモ、而シテ
之既ニ便地又ハ其他ノ公船ニ輸入サレタル場合ニ付テモ中立國ハ政
策上ヲ執ラザルヘカラストスルノ義アリ
レ中立國ハ交戦國カ其領内ノ要塞又ハ領域ノ一部ヲ占領セントス
ルニ當リ海力ヲ用フルモ之ヲ禁過スルノ義務アリ中立國カ一方ノ交
戦國ノ占領ヲ禁過スルノ義務ナク且戰爭上緊急ノ必要アルトキハ他
方ノ交戦國ハ自ラ敵ノ占領軍ヲ擊滅スルコトヲ得ヘシ加シ中立國カ
一方ノ交戦國ニ依リ其領域ヲ戰爭ノ為ニ利用ナルヲ妨グルノ實力
ナキコト明ナルニ當リテ他方ノ交戦國ハ戰前上緊急ノ必要アルハ元々中

立國ノ領域ヲ占領シ又ハ占領ニ至ラサル必要ナル処分ヲ為スニトシテ
得ハキナリ

一 此ハ又戰國ノ一方ノ戰爭ニ特別ナル政治上ノ目的ニ感テ中立領域
カ事實上當然交戦區域トナルニトアリ此場合ニ中立國カ其領域ニ戰
闘ノ行ハルルヲ明認スルハ中立領域ニ行ハレタル戰爭行為
ヲ以テ中立侵害ト認メ得ルニ至レバ自衛戰爭ノ際我國ク戰爭ノ特別
ナル政治上ノ目的ト爲セル所ハ支那ノ滿洲地方及韓國ヨリ露國ノ占
領及排力ヲ排除セントスルニ在リ改ニ滿洲ハ事實上當然交戦區域ト
ナレリ此ノ如キ変態ハ支那ノ露國ノ占領及排力ヲ自ラ排除スルノ力
ヲ欠ケルニヨリ生シタルモノニシテ我國ハ自國ノ存亡ニ干スル重
大利害ヲ以テ支那ノ領域ニ於テ軍事行動ヲ行ヘルナリ諸強國ニ
此ノ變態的地位ヲ認メテ支那ヲ以テ戰爭ニ干渉セシメナレバ因リ又
双方ノ交戦國ニ滿洲以外ニ軍事行動ヲ及ボサ、ルヲ約シ新ノ世ヲシ
テ支那ハ遂ニ滿洲ニ於ケル變態的地位ヲ認ムルニ至レリ

レ

中立國ハ其領域以テ於テ交戦國ノ一方カ歐州部隊(又ハ遠征軍)

ヲ編成スレトテ緊邊スルノ義務アリ(陸戰ノ中立ニ干スル義務四
及ユ)所謂戰闘部隊、又ハ遠征軍トハ指揮官ノ下ニ組織ヲ爲シ一
方ノ交戦國ノ爲ニ敵對行為ヲ行ハントスル目的ヲ有スルモノナリト
又苗ヲ指揮官ノ下ニ軍隊ノ組織ヲ有スルモノハ中泰ノ當時支那ヲ侵
有セスト岳モ之カ出テ緊邊セラルヘカラス一八八八年トテ、マリ
リノ葡國ヨリ驅逐シラルルマ其麾下ニ在リシ兵士ハ逃レテ英國ニ入
リ而シテ英兵士ハ組織ナル團體ヲ成シテ指揮官ノ下ニ立テ一八二八
年ノ初ノ四隻ノ船泊ニ塔東シテアラシムル航マト揚子江ニ葡國牙
ノ領有ニ係ルテルレ島ニ向テ其英國ヲ緊スルニ方ク防礙ヲ受
ケンコトヲ恐レ悉ク長江ヲ撤去シテ以テ西品ノ如ク蒙ヒ免レセマ他
港ヨリ輸出セリ英國政府ハ一小艦隊ヲテルレ島附近ニ派遣シ以
テ其上陸ヲ防止セリ四隻ノ船泊ハ葡國領域内ニ於テ抑留セラレ後歐
洲ニ送還ヤレタリ(此場合ニ於テ英國政府ノ執レル処置ハ中立義務
ヲ念ウレント故ニラ時機ヲ失ヒ方法ヲ誤リ自ラ葡國ノ領域ヲ侵害ス
ルニ至レルモノナリ)但依令多人殺シリトモ組織ヲ成サスニテ其ノ

領城ヲ出ワルヲ禁遏スル義務ナキナリ(陸戦ノ中立ニ于テスル條約六
參照) 昔仙戰争ヲ際テ二百人ノ仙國人カ公軍ニ投スル爲メニ是ノ公
國船ニ搭乗シテニユー、ヨークヲ出航シ船中丸ヲ六千ノ小銃及千百
万發ノ彈藥ヲ載セタル之人ハ隊伍ノ編成ナク又兵隊彈藥ハ普通ノ商
業ニ於テアルト同様ノ方法ニ依リ輸送セラルヲ以テ合衆國官憲ハ出
發ヲ禁遏スルコトヲ爲ケル又同戰争ノ豫備向ハ仙國人及荷國人ノ各
其軍隊ニ加ハル爲メ引出シテ又ハバーセルヲ通過シテ旅行スルヲ
禁ヤス唯兵隊ヲ携ヘス軍隊ヲ着ケタルコトヲ要スト爲セルノミ
シ
交戦國々中立國ノ領域外ニ於ケル或場所ニ於テ戰團部隊ハ又ハ遠
征軍ノヲ組織セシキ爲ニ其個々ノ行爲ヲ觀察スルトキハ敢テ不法ヲ
以テ目スヘカラサルニ隨フ行爲ヲ別々ニ中立領域ニ於テ行ヒタル場
合ニ於テ中立國ヲシテ異後ノ結果ニ付シテ責任ヲ負ハシメントスル
ノ説アラバマ号事件ノ仲裁又判ニ於テ主張ホレタリ南北戰争ノ際南
軍ニ屬スル軍艦アラバマ号一八六二年七月リハブールヲ出航シ其
出航ノ際公ノ武裝ヲ爲シナリシカレセルトシテ島ニ到リ銃砲彈藥ヲニ

隻ノ船船ヨリ没取レリ其一隻ハナワソノニ航行スト被シテ二週回後
ニリハブールヲ出航セルモノニシテ此ノ一隻ハアラバマ号一號行
スト被シニ倫敦ヲ出航セルモノナリ又同シク南軍ニ屬スルジョール
シア号ハ又即ニ航行スト被シテグラスゴークヲ離脱シ仙國ノ近海ニ於
テ英國ノサワセソクスノニユーヘ引込テ出航セル船船ヨリ兵隊彈
藥ノ供給ヲ受ケタルモノナリ出航ト兵隊輸送トヲ各別ニ考フルトキ
ハ處ニ不画ナラサレトモ合衆國政府ノ仲裁又利害ニ於テ主張セルト
コロニ依レハ此ニ行爲ノ相結合スルマ其中立領域外ニ於テ能合スレ
場合ニモ二行爲カ不正ナルト爲ス此既ハアラバマ号事件ノ仲裁又判
廷ノ採用スルトコロトナリシモ國際法ノ規則ヲ以テ許シ得ル所ナ
リ

中立國ハ其領域ニ於テ交戦國ノ爲メ救濟事ヲ斷行スルコトヲ
寛容スルヲ得ス(陸戦ニ於ケル中立ノ條約四五) 是レ十九世紀ニ
入り多數ノ學者ノ認ハル所ナリ、昔仙戰争ノ際公國ハバーセルニ事
務所ヲ置キアルカス人ノ兵勇兵ヲ瑞西ヲ通過シテ仙國ノ南部ニ出テ

シメントセシモ端西ハセラ禁シタリ

今日ニ於テ中立國ノ其領土ヲ交戦國ノ軍隊又ハ兵器彈藥若ハ軍需品ノ輸送ヲ禁止スルコトヲ得サルハ善ク認メラルル所ナリ
(海軍ノ中立ノ條約ニ) 昔ニ軍隊ヲ輸送スル者ニ至リテハ總令一時軍隊ヲ若クハ兵器ヲ携ヘサルモセカ通過ヲ許スヘカラス但交戦國ノ輸送ニアラザル以上ハ交戦國ノ一方ノ計算ヲ以テスル兵器彈藥其他艦海軍ノ一切ノ軍需品ノ輸送又ハ通過ヲ禁止スルノ義務ナキナリ(陸軍ノ中立ノ條約ニ) 軍需品ノ輸送若ハ通過ニ干シテ禁止若ハ制限ヲ為スコトヲ得ヘキモ西交戦國ニ於テ一様ニセシテ適用セサルヘカラス是レ公平不偏ノ中立ノ基本觀念ニ基ク所ナリ(公上條約九第一項參照)

病者傷者ノ中立領土ノ通過ニ干シテハ在来ノ實例一途ニ出テス昔ハ戰爭ノ際戦乙ハ白耳我及ルクサンブルクニホムルニ其病者傷者ヲ通過セムルコトヲ以テセリ然ルニ他國ハ若シ之ヲ禁ミ陣ニ許サハ則チ是レ其軍ノ他ノ方面ノ輸送ニ便宜ヲ与ヘ作戰動作ヲ補助スルノ能

果ヲ生スヘコト爲シテ抗議セリ白耳我ハ其乙ノ要求ヲ容レサリシモルクサンブルクハ之ヲ容レタリ平和會議ニ於テ中立國ハ病者傷者ノ其領土内ヲ通過スルヲ許シ得ヘシト爲シタルカ(陸軍ノ中立ノ條約一四) 必ズニセテ許ササルヲ得サルニアラズシテ許否ハ中立國ノ裁量ニ委セリ但シテ許ス場合ニ於テ病者傷者ヲ輸スル列車ニ戰術ノ人貨及材料ヲ搭載セシメサルヲ要シ中立國ハ必要ナル保安及監督ノ措置ヲ執ルヘキモノトス而シテ他方ノ交戦國ニ屬スル病者傷者(即チ俘虜トシテ)者ハ必ズ中立領域ニ留置ス、ク中立國ハ其ノ回復ノ後作戰動作ニ加ハシコトヲ得サル程セテ監視マ、シトス、公上條約一四) 而シテ輸送ヲ為ス交戦國ニ屬スル病者、傷者ニ之ヲ本國ニ輸送セズニテ中立國ニ委ネテ中立領域ニ留マラシムル時ハ中立國ハ之ヲ留置シ他方交戦國ニ屬スシモノト同視ニ監視ヲ為サ、シ、ハカラス(公上條約一四參照)

陸上ニ於テ交戦國ノ軍隊カ中立國ノ領土ヲ通過スルハ中立ノ侵害ニシテ中立國ハ之ヲ禁過スルノ義務アルコト上述ノ如キニ海上ニ於

ニ七八
マハ交戦国軍艦ハ既泊ヲ為シ又ハ敵船投棄ノ為ニ遊シ為スニアラ
ズニテ軍ニ中立回領海ノ通過ヲ為スハ中立ノ侵害トナルコトナクハ
海戦ノ中立ニ干スル條約一〇〇〇 中立國ハ此ヲ禁過スル義務ナシ但シ
戰時ニ於テ中立國ハ交戦國軍艦ノ國際航路ニ當テアル領海ノ部分ヲ
通過スルヲ禁過スルノ権利アリ又中立國ハ交戦國軍艦ノ其港灣ヲ或
斷上ノ特別ノ利益ノ為ニ利用セサル以上ハ其港灣ニ投泊スルコトヲ
全ク禁スルノ義務ナシ但シ中立國ハ交戦國軍艦ノ其港灣ニ投泊スルヲ
禁スルノ権利アリ交戦國軍艦ノ中立領域ノ通過ハ中立港灣ノ投泊
ニ干シ一方ノ交戦國ニ禁スル所ハ他方ノ交戦國ニ之禁セサルヘカ
ス陸上ト海上トニ依リテ上述ノ如ク中立國ノ權利義務ヲ異ニシ陸地
ニ屬シテ海洋ニ屬サルハ陸地ト海洋トノ性質ヲ異ニシ海洋ハ國際
交通ノ公路トシテ存スル想ムヘク且領海ノ通過又ハ港灣ノ投泊ハ
其戰事ノ目的ヲ補助スル效果甚クテ減少ナルニ由ル
中立國ハ其ノ領海又ハ港灣ノ戰事ノ目的ノ為ニ特別ノ利用ナル
コトヲ禁過セザルヘカラザルヲ以テ又ニ平ナル諸ノ結果ヲ生ス

一、中立國ハ其領海又港灣ヲ敵ニ干スル海軍ノ作戦根據地ト為ス
トヲ禁過セザルヘカラス時ニ無線電信局又ハ陸上若ハ海上ニ於
テル交戦國兵力トノ通信ノ用ニ使スヘキ一切ノ器械ヲ設置スレ
ヲ得スヘ海戦ノ中立ノ條約五ノ處征艦隊ノ出港準備ヲ為ス港ハ
海軍作戦根據地トナルナリ海軍力ノ準備物品ノ補助ヲ受ケ又ハ
艦隊ノ補充ヲ受ケル港灣モ亦海軍作戦根據地ト為スヘシ然レト
モ此場合ニ於テ一ノ港灣カーニニ海軍艦ニ補助又ハ補充ヲ為ス
メ海軍作戦根據地トナルニトモ港灣ノ數回往來シテ補助又ハ補充
ノ為ノ使用トシラレタルコトヲ尋ヌ南北戰爭ノ際ノセナンドア号
ノ如ク軍ニ一國英領ノルボロンニ入港シ艦隊ノ修繕ヲ加ヘ糧食
及石炭ヲ積聚スル等ノ準備ヲ為セルノ故ヲ以テ直ニ海軍作戦根
據地トシテ中立港ヲ使用セリト云フヲ得スヘキニル國際法ニ
一節故紙第三版七八六丁乃至七九〇丁參照)但バルチロク艦隊
ノ如キ多數ノ軍艦ヨリ成ル艦隊ノ戰場ニ向テニ對シテ供給ヲ為
スハ唯一回ノ軍需品ノ供給タリトモ海軍ノ作戦根據地トナレリ
ニ七九

二、

ト認めハキコトアルヘキナリ
 中立国ノ交戦国ノ一方ニ対シテ中立ノ用ニ供シ人ハ敵対行爲ニ
 加ハルヘキモノト信スヘキ相違ノ理由アル一切ノ船舶カ其領域
 (管轄)内ニ於テ繰返又ハ武装セラルルコトヲ禁遏(防止)ス
 ル爲メ施シ得、キ手段ヲ尽スコトヲ要ス中立国政府ハ又巡邏ノ
 用ニ供シ又ハ敵対行爲ニ加ハルヘキ船舶ニシテ其領域内ニ於テ
 全部又ハ一部戦船ノ用途ニ適合セシメタルモノハ總テ其ノ領域
 外ニ出帆スルコトヲ禁遏スル爲メ同環ノ監視ヲ爲スコトヲ要ス
 (海戦ノ中立ノ条約ハ)是レワシントンノ三則ノ第一則ト懸念
 ヲ同クス船舶ハ中立領海ヲ出テ兵員及兵器彈藥ヲ搭載スルトキ
 ハ直ニ敵対行爲ヲ行ヒ得ヘテ以テ中立国ノ上陸ノ繰返又ハ武
 装ヲ撤脱スレハ中立領域ヲ特別ニ戦争ノ目的ノ爲メ利用スルヲ
 寛容スルコトトナルトノ思想ニ基キテ上述ノ規則カ吾ク觀メラ
 ルルニ至レルナリ然レトモ今日ニ於テハ中立國ハ其臣民カ交戦
 國ノ注文ニ依リテ繰返又ハ武装ヲ爲セルニアラマシテ單ニ交戦

二八〇

三、

國ニ既ニ成レル武装セル艦船ヲ要卸メントスル場合ニハセテ禁
 遏スルノ義務アルコトナシ此ノ如キ艦船ハ海上航海ノ途上ニ於
 テ戰時禁制品トアルコトアルノミ但シ此ノ場合ニ於テモ中立領
 海ニ於テ乗員ヲ搭載シ公海ニ出ワレハ直ニ敵対行爲ヲ行ヒ得ヘ
 キトキハ其領海ヲ出ワルヲ禁遏セサルヘカラス
 三、 中立國ハ交戦國ノ軍艦カ其港灣及領海ニ於テ其設備ヲ増加
 スルコトヲ禁遏セサルヘカラス(海戦ノ中立ノ条約一七)此語
 果トシテハ友ノ諸規則ヲ生ス

(甲)

武装ノ更新若ハ増加ヲ禁セサルヘカラス(同上条約一八)
 兵器彈藥ハ艦隊ニ随伴シ又ハ艦隊ト特定地點ニテ共同スヘキ
 運送船ヨリ載取ルル場合ニ於テモ中立領海ニ於テ行ハントス
 ルヲ禁セサルヘカラスト思惟ス

(乙)

軍艦ノ航行ノ安全ノ爲メニ鉄クヘカラサル程度以上ノ修理
 殊ニ武装具ノ修理ヲ禁遏セサルヘカラス(同上条約一七)軍
 艦ノ修理ヲ許スコトハ戦時ノ増スノ結果ヲ生スルコトアル

二八一

以上許多ノ箇ニ於テ小修理ハ之ヲ許スルモ小修理ニテハ航
 海ニ堪ヘタル船舶ヲ修理シテ航海ニ堪ヘシムル如キハ之ヲ許
 ス、カラスト為セリ日露戦争ノ際海軍ノ結果トシテ被毀ノ度
 ケニ二十四時間ハ又ハ四十八時間以内ニ修理ヲ終ヘテ出航シ得
 テル船舶ヲ抑留スルコト普通ニ行ハレタリ然レニ第二回平和
 公議ニ於テハ修理ハ出航得、キ大ケ速ニ為テシムヘク又修理
 終ルトトハ直ニ出航ス、キヲ定メタルモ普通ノ場合ニ於ケル
 ニ二十四時間并、決定ノ期在期間ノ制限ニ拘ラズ航海ノ安全ニ
 必要ナル程度ノ修理ヲ為シテ後出航スルコトヲ認メタリ（各
 上条の一四）

(丙) 乗員ノ生存及航行ノ安全ニ必要ナル程度以上ノ糧食燃料ノ
 積入レヲ禁マサルヘカラス糧食燃料ニ付テ乗員ノ生存及航海
 ノ安全ニ必要ナル程度ハ現今ニ於テハ最近ノ本國艦ニ運スル
 分量ヲ以テ限度ト為スヘキモノト為シテ希トシ糧食燃料ノ積
 込ハ船舶ノ適任ニスハ之ト念合人ハキ進送給ヨリ轉載シテ行

場合ニ於テハ中立領域ニ於テ行フトキハ制限以上ノ積込ヲ
 為人ヲ禁マサルヘカラス日露戦争中英國ハ一九〇四年八月
 中立宣言ヲ出シ文藝國軍艦ノ積込ニ向テ場合及場所禁制
 ヲ輸送スル積込アル中立國船ヲ停船スル目的ヲ以テ航路ニ當
 リ諸地点ニ向テ場合ニ於テ是等ノ積込ニ否テ積込ノ為メ英國
 ノ領海ヲ利用スルヲ禁シタリ第二回平和公議ニ於テ艦内ト糧
 食トノ區別ニ糧食ハ平時ニ於ケル通常積載量ヲ補充スル程度
 迄積込ノ為メヲ得トシ又燃料ニ付テハ原則トシテ最近本國艦
 ノ制限ヲ認メタルモ中立國ハ特別ノ回以テ法ノ規定ヲ設テ軍
 艦ノ燃料積込ノ全重量ヲ抑元スルヲ許シ得ヘシト為セリ（一九〇
 九）中立國ノ一ノ艦ニ於テ燃料ヲ積込シタル文藝國ノ軍艦
 カ三月月ヲ経過スルニアラカレハ同一中立國ノ艦ニ於テ正
 積入ヲ為人ヲ得スト人シ英國ノ積行ヲ規則トシテ採用セリ（
 一九〇九）

(丁) 中立國ノ艦艦ニ於テ軍艦ノ乗員ヲ容ルコトヲ禁セサルヘカ
 二八三

ラスヘーハ
但シ本國最近港ニ軍艦ヲ回航セシムルニ必要ナル人貨ヲ補充
スルハ此ノ限ニ在ラスト解スヘキヤ否マノ疑問アリ可國々際
法学会ノ決議ニ依レハ航海ニ必要ナル充分ノ乗員ヲ徴シカガ
×中立港ニ入レル文戦國軍艦ハ戰爭終了ニ至ルマテ之ヲ抑留
スヘトス

四、中立國ハ其方ノ及フトキハ一方ノ文戦國ノ軍艦カ他方ノ軍艦ノ
公海ニ達スルマ否マ直ニ拿捕ヲ行カカ為メ中立領海ヲ巡邏スル
ヲ禁マサルハカラス但シ斯ノ如キ事ノ生スルヲ防止ニ禁スルハ
中立國ノ職クヌル所ニテラカレテ又テ中立國ノ為ニ保ヘキ所ヲ
悉スヲ以テ免レリトモサレテ得ス

五、中立國ハ一方ノ文戦國ノ軍艦カ他方ノ軍艦又ハ商船ト必同時
ニ中立港ヲ去テ公海ニ達スルマ否マ直ニ攻撃ヲ為スコトヲ禁
スルノ手段ヲ執ラサルハカラス十八世紀ノ頃ヨリ漸次出航ノ回
隔ニ下スル所謂二十四時間規則行ハレ中立港ニ一方文戦國ノ軍

艦又ハ捕獲免許私船ト他方ノ軍艦捕獲免許私船又ハ商船カ公時
ニ在ルトキニ於テ一方ノ出航後二十四時間ヲ経過セサレハ他方
ノ軍艦又ハ捕獲免許私船ノ出航ヲ許ササルコト多數ノ國ノ行フ
所トナレリ第ニ四早和會議ニ於テ同時ニ四一中立港ニ在レ西文
戰國ノ一方ノ軍艦ハ他方ノ軍艦又ハ商船ノ出航ノ後二十四時間
ヲ經ルニテラカレハ出航スルヲ得ストセリ、而シテ双方ノ文戦
國ノ軍艦カ同一港ニ在ルトキ出航ノ順序ハ原則トシテ到着ノ順
序ニ依リセレテ定ム、但シ最初到着ニタル軍艦ニシテ碇泊ノ法
定期間(六照)ノ延長ヲ許可セラルル場合ニハ此限ニ在ラスト
スヘトス

六、中立國ハ其ノ港灣及ニ領海ニ入りタル文戦國ノ軍艦カ永ク碇在
シテ碇泊上ノ特別ノ利益ヲ受クルコトヲ妨ケサレハカラス、英
國ハ一八六二年以來、天候、海難ニ由ル場合出航ノ前隔ニ下ス
ル二十四時間規則ニ依ル出航延延ノ場合等ノ外ニ二十四時間以上
文戦國軍艦カ中立港灣又ハ領海ニ碇泊スルヲ禁スルノ規則ヲ行
ニ八五

世に同主
仙石の行

二八六
ヒ許多ノ國ハ之ニ依リテノ規則ハ未タ總テノ國ノ採用スル所
トナラザレモニシテ日露戰爭中ハ國ハ此ニ二十四時間規則ノ
國際法上確立セルコトヲ否認セリハ在國ニテハ擲獲物ヲ引致シ
テ中立港ニ入レル場合ニ依リ二十四時間以上ノ碇泊ヲ禁スルナ
リ然レトモ依令此ノ二十四時間規則ハ國際法上確立セストス
ルモ交戰國ノ艦隊カ中立領海ニ碇泊シ待合ハ又ハ戰艦上
必要ナル軍需品ノ供給ヲ受テ又ハ敵情ヲ探リ又ハ敵ヲ避ケル等
ノ戰艦上ノ特別ノ利益ヲ受ケル為メ利用スルコトヲ禁セザルハ
カササルヲ以テバルナク艦隊ノ東航ノ途上在國屬領地ノ領海
ヘマダグスルカ及印度支那等ノ領海ニ碇泊シ待合セルヲ寬容セ
ルハ在國ノ中立義務違反ヲ以テ目レ得ヘキモノナルヘシ第一回
平和會議ニ於テ二十四時間以上ノ碇泊ヲ禁スル原則ヲ設ケニモ
ハ一ニ中立國カ之ニ異ル別段ノ國以法上ノ規定ヲ定ムルヲ得
ヘキヲ認メタリヘシ條又亦戰ノ際中立國ノ港灣又ハ領海ニ交
戰國ノ軍艦ノ在ルトハ中立國ハ此軍艦ニ對シ二十四時間以上

ハ中立國ノ法令ニ定メタル規則ノ期間内ニ於テ出港スルヘキコトヲ
報告セザルヘカラストス(一三)
七、第一回平和會議ニ於テ中立國ニシテ其ノ國以法ノ規定ヲ以テ
別段ノ規定ヲ為サザレトキハ中立國ノ港灣ノ一ニ同時ニ碇泊シ
得ヘキ一方ノ交戰國ノ軍艦ノ數ハ三隻ヲ超エテ得スト為スヘ
一五)是レ多數ノ軍艦ヨリ成ル艦隊ノ碇泊ハ戰爭ノ事實上ノ干
渉ヨリ觀察スレハ一ニ軍艦ノ碇泊ト同一視人ハカラスニテ中
立港ヲ有実上海軍作戦根據地ト認メ得、キヲ以テアリ然レトモ
海軍ノ各約ハ燃料ノ供給ニ干スル本國屬領地、派別及軍艦ノ碇
泊ニ干スル二十四時間規則ト同シク此點ニ干シテモ中立國ノ國
以法カ之ニ異ル規定ヲ設ケルヲ得、キヲ認メタルヲ以テ違等ノ
規則ノ拘束力ハ微弱ナルモノトナレリ
八、中立國ハ初メヨリ碇泊スル權利ヲ有セサルカ又ハ之ヲ失ヘル
交戰國軍艦カ其官憲ノ通告アルニ拘ラズ中立港ヲ去ラザルトキ
ハ該交戰國軍艦ヲ戰爭中出港スルコト能ハサザレムルニ必要ナ
二八七

レ手段ヲ熟ルコトヲ得(ハニ四)普通武装及航海機手ノ要ヲ解
除ス、而シテ中立國カ文戦國軍艦ヲ抑留スルトキハ將敢其他
ノ乘取ヲモ抑留スヘキモノトス(ハニ五)

九、中立國ハ中立領土内又ハ中立領海ニ在ル船舶以テ文戦國カ捕
獲場所ヲ設クルヲ覽察スルヲ得ス(ハニ四)文戦國カ中立國ノ領
域ニ捕獲場所ヲ設クルハ其軍艦ニヨリ敵ノ海上ノ商業ヲ妨害
スルノ便宜ヲ得ルヲ為メナリ改ニ中立國ニ在ラズシテ其領土内
海上ノ特別ノ利益ノ為メニ其領域ヲ利用スルヲ認許スルコトト
ナリ中立義務違反トナルナリ

一〇、中立國ハ文戦國カ其領土内又ハ其領海ニ在ル船舶以テ兵器彈
藥其他陸海軍々屬品ノ貯蔵所又ハ製造所ヲ設クルヲ禁遏セサル
ヘカラズ是レ中立領域ヲ海上ノ特別ノ利益ノ為メ利用スルモ
ナレハナリ

一一、中立國ハ其領域内ニ於テ文戦國カ私販ニ捕獲免許狀ヲ与アル
コトヲ察セサルヘカラズ已見宣言ハ捕獲免許私販ノ廢止ヲ定メ
諸國カ之ヲ遵行スルヲ以テ今日ニ於テハ此場合ノ起ルコト殆ト
ナカルヘキナリ

一二、中立國ハ文戦國カ捕獲物ヲ自由ニ其領域内ニ出入セシメ若ハ
其領域内ニ之ヲ保管シテ海軍ノ行動ノ便宜ヲ得ルヲ妨クヘキナ
リ第二回平和會議ハ航海ノ不測、海上ノ危險又ハ燃料若ハ糧食
ノ欠乏ノ事由ニ由レニ下ラサレハ捕獲物ヲ中立港ニ引取スヘカ
ラストレ定率ノ事由アリテ入りテ捕獲物モ事由止ムトキハ直ニ
出航セシメサルヘカラス若シ出港ヲ肯マサレハ其職員及船員ト
共ニ捕獲物ヲ解放シ拿捕ヲ為セル國ノ海軍々人ノ捕獲物タル船
舶ニ乘取メル者ヲ抑留スル為メ應シ得ヘキ手段ヲ尽サハルヘカ
ラストス(ハニ一)又上掲ノ正當ノ事由ナラシテ中立港ニ引取サ
レタル被拿捕船舶ハ之ヲ解放セサルヘカラストス(ハニ二)但海
牙ノ條約カ捕獲場所ノ決定アル迄中立國ニ留置スル為メ被拿
捕船舶ノ護送軍艦ト共ニ又ハ軍艦ニ中立港ニ入ルコトヲ許スヲ
得トマルハ(ハニ三)中立國カ文戦國者ヲシテ其拿捕セル船舶ノ再
二八九

拿捕ヲ成クルノ危険ヲ免ルルヲ得セシメ得ヘント有スモノニシテ
 学理上ノ批難ヲ免レシム
 中立國ノ領域内ニ於ケル電信、海底電線、電話、及び無線電信
 等ノ通信機干ニ付テハ其國有ナルト会社又ハ個人ノ所有ナルト
 ニ論ナク之カ使用ヲ禁止シ又ハ制限スルノ義務カ中立國ニ存セ
 且シハ第一回平和會議ノ定ムル所ナリ（陸戰ノ中立ノ條約ハ）
 但中立國ク禁止又ハ制限ヲ設クルヲ得ヘク之ヲ設ケタルトキハ
 兩交戰國ニ對シテ平等ニ適用セカレハカラス中立國ハ交戰國カ
 其兵クトノ通信ノ爲メ上ニ此ニ如キ通信機干ヲ特ニ中立國ノ
 領土ニ設クルニトテ禁過マサルハカラス
 又既ニ平時ヨリ全然軍事上ノ目的ヲ以テ中立國内ニ設ケタル
 其等通信機干ニシテ單ニ交戰國ノ軍事上ノ目的ニノミ利用セ
 レ公衆通信ノ用ニ設ケラレザリシモノヲ利用スルコトヲ禁過セ
 サルヘカラス（合上條約三）中立國ノ港及領海ニ於テモ交戰國
 カ其兵クトノ通信ノ爲メ上ニ此ニ如キ通信機干ヲ設置スレ

ヲ禁過セサルヘカラス（海戰ノ中立ノ條約五）無線電信ニ于テ
 中立國ハ其國ノ上部ノ空中カ交戰國ノ無線電信傳達ノ爲メ使用
 セラレルヲ禁過スルノ義務ナシ

中立國ハ交戰國ノ情報ヲ蒐集スル事務所ヲ其領土内ニ於テ設ケル
 コトヲ禁過セサルヘカラス然レトモ其ノ臣民ノ或ハ言論、電報、電
 話、無線電信等ニ依リ交戰國ノ一方ニ情報ヲ子フルヲ禁過スルノ義
 務ナキナリ

中立國ハ現今ノ國際法上其領域ニ於テ其臣民カ公然一方ノ交戰國
 ノ公債ノ募集ニ應スルコトヲ禁過スレノ義務ナシト雖モ其領域内ニ
 於テ何人カ之ヲ行フフ同ハス一方ノ交戰國ノ爲ニ軍費ノ補助ノ目的
 ヲ以テ公然寄附金ヲ募集スルヲ禁過スルノ義務アリ但病者、傷者、
 海難者ノ爲ニスル慈善的ノ寄附金ハ交戰國ノ一方ノ爲ニスルモノニ
 テモ之カ募集ヲ禁過スルノ義務ナシ

第三、中立領域ニ依ル庇護

中立國ノ領域ハ交戦正域外ニ立テ交戦國ハ自衛ノ為メ緊急ノ必
要アルニアラサレハ中立國ノ領域ヲ侵スコトヲ得サルヲ以テ他方ノ
交戦國ノ戰術實非戰術莫ハ一度中立國ニ入レハ敵ヨリ危害ヲ受クル
コトナシ是レ所謂中立領域ノ庇護ナリトス若シ敵カ中立領域ニ入レ
ル者ヲ追撃スルトキハ中立侵者トナリ中立國ハ出未得ハクハ強カク
用アルニセテ防クハキモノトス中立國ハ庇護ヲホムル者ニセテ許
スルノ権利ヲ他方ノ交戦國ニ許シテ相スルナリ是レ即チ**民權**ナリ
中立國ハ庇護ヲ許スルノ義務ヲ負スルコトナキモノニシテセテ許
ススハキモノ百々自由ニ選択スルヲ得レトモ一旦庇護ヲ受ヘシレバ
止ハ中立國ハ庇護ヲ受ケタル者カ敵カヲ回復シテ戰場ニ復歸セント
シ若シハ時機ヲ因テ戰場ニ復歸シ若ハ本國ニ歸リテ戰場ニ干ス
ル及否ノ為ス等中立領域ヲ戰爭上ノ特別利益ト爲メ利用スルモノ
ヲ兼重スルニハ要アル如置テ他方ノ交戦國ニ對シテ自
ラニ至ル中立領土ノ庇護ヲ受ケル戰術實ハ中立國ニ以テ條約ノ保護ヲ
受ケタル非戰術實ハ中立國ニテ切實セサルヘカラス

中立領域ノ庇護ハ交戦國ノ公有及私有ノ財産ニ干シテモ傷クコト
アリ一旦中立領域ニ入レハ敵國ニ依リ戦利品トシテ獲得サレ又ハ押
収サレルコトナキニ至ル交戦國ノ軍用材料ニシテ敵ノ獲得又ハ押収
ヲ免ルルカ為メ中立領土ニ入ル場合ニ悉ク中立國カ其ノ入ルヲ許セ
ルトキハ戰爭終了後マテセシテ中立領土以テ切實セサルヘカラス
陸上ニ於テアル軍人ノ庇護ニ干シテハ一、軍隊及軍人(二)俘虏ノ
ニニ付イテ流シントス

一、軍隊又ハ軍艦ノ軍人カ庇護ヲホムルトキハ中立國ハ庇護ヲ許ス
ノ権利ヲ他方ノ交戦國ニ許シテ有スルモセテ許スノ義務ヲ之等
ノ軍隊又ハ軍人ニ負スル交戦國ニ對シテ負フコトナシ若シ庇護
ヲ許スハ武裝ヲ解カシメ戰爭中再々他方ノ交戦國ニ對シテ敵
對ノ行為ヲ行ハサルコトヲ確ムルノ必要ヲ免ルヘキナリ中立國
ハ成ルヘク是等ノ軍人ヲ戰場ヨリ遠隔シタル土地ニ派遣スヘク
之ヲ兵器ノ收ニ監置シ又ハ城塞若ハ持ニ之カ為ニ設けタル場
所ニ幽閉スルコトヲ得將校ヲシテ許可ナクシテ中立國ノ領土以

外ニ出テサレ百ヲ遊藝セシメテ自由ニ生活スルヲ得ルニムハキ
 い否ヤハ中立國ノ次スヘキ所ナリハ陸戰ノ中立ノ条約一ニ
 律ノ者ヲ本國ニ返ラシムルニハ敵國ノ承諾アルヲ要スルモノナ
 レハシ特別ノ条約ナキトキハ中立國ハ其首置シタル人負ニ糧食
 被服及人道ニ基ク救助ヲ供与スヘシ留置ノ為ニ生シタル費用ハ
 平和充復ニ至リ所屬國ヨリ償却セラルヘキモノトスハ一ニ中
 立國ニ庇護ヲホムル交戰國軍隊ハ武装ヲ解カルヘキモノニシテ
 外國ニ在レ軍隊ノ普通ノ場合ト異ニシテ治外法權ヲ有スルコト
 ナク又中立國ノ規律ノ下ニ立ワヘキモノトス中立國ハ留置セル
 交戰國軍人ノ逃走ヲ防グサルヘカラサルヲ以テ嚴重ナル手段ヲ
 行フヲ得ハク斯ノ如キ手段ヲ取ラント試ミ又ハ風紀衛生等ニ于
 スル規律ニ従ハサルトキハ敵ニクシテ罰スルヲ得

二、 停虜ニ付テハ四箇ノ場合ニ區別シテ述フルノ必要アリ然レノ
 場合ヲ通シテ中立國ハ之ヲ其領域内ニ容レルト否トノ許否ノ自
 由ヲ有ス而シテ前ノ三ノ場合ヲ通シテ停虜ハ中立國ニ入レハ

停虜タルノ身分ヲ失フモノトス

(甲)

停虜力敵ノ取刀ヨリ脱シテ中立國ニ入レル場合ニハ中立國
 ハ之ヲ抑留スルノ義務アリヤ否ヤニ付キ議論アリ、昔ハ戰爭
 ノ際自軍兵ハ他國ノ下士ノ如ク軍ヨリ脱シテ自軍兵ニ入レル
 モノヲ抑留セリ并ニ平和會議ハ一方ニ於テハ逃走セル停虜ヲ
 收容セルトキハ強テ之ヲ抑留スルコトナカルヘシトシ而シテ
 他方ニ於テハ中立國ニ留置スルヲ許否スレノ自由アルモ若
 シ其中立領域内ニ滞留スレバ許容スルトキハ其再々自國ノ兵
 カニ合スルヲ妨クル為メニ其居所ヲ指定シ得ヘシト為スハ陸
 戰ノ中立ノ条約一三一蓋停虜ノ身分ヲ失フコトト念ク自田ト
 ナルニトトハ全然異レル觀念ナルヲ忘レ中立領域ニ入レハ停
 虜ノ身分ヲ失フヘキコトヨリ直ニ全ク之ヲ自由ニスヘクシテ
 抑留シ得スト為セルモノナリ是レ停虜力中立領域ニ入ルモ軍
 人タル身分ヲ失ハスシテ軍人トシテ抑留セラルヘキモノナル
 コトヲ忘レシレモノナリ

二九六

(乙) 停戦カ敵軍ノ為ニ伴ハレテ中立國ニ入りタル場合ハ此後ヲ
 於ムレ敵軍ニ伴ハレテ中立領域ニ入ルモノニシテ此場合ニ付
 キテモ抑留スヘキヤ否ヤニ干シテ議論アリ然レニ平和会議ハ、
 (甲)ノ場合ト曰振ニ取扱フヘキモノト為ス也ニ干シ(甲)
 ノ場合ト同様ノ理論上ノ此種アリ(△上条約一三一)
 (丙) 停戦カ病者、傷者トシテ中立國ニ入りタル場合ニ干シテ
 ハ岸ニ回平和会議ハ中立國カ番置ヲ為シ之ヲ監守シテ其回復
 ノ後作戦動作ニ干渉セザルコトヲ確ムルノ処置ヲ執ルヘキコ
 トヲ定ム(△上条約一四)中立領域ニ番置セラレタル病者及
 ニ傷者ニ付シテ亦十年條約ノ規定ノ適用アリ(△同上条約一五)
 (丁) 停戦カ中立國ノ派兵ヲ終テ中立領域ヲ經由シテ停戦トシ
 テ輸送セラルル場合ハ中立國ノ中立義務違反ノ場合ナリ此場
 合ニハ停戦ハ其ノ停戦タル身分ヲ失フコトヲ實際ニ認メラレ
 サルナリ

陸上ニ於テハ中立國ハ其領土ニ入ルコトヲ許セル交戦國ノ軍隊

及軍人ヲシテ武装ヲ離リシノ戰爭中再ニ作戦動作ニ加ハラサザシム
 ルノ処置ヲ執ラザルハ、カリザルモ海上ニ於テハ陸上ト異ニシテ交戦
 國軍艦ノ中立國港灣又ハ領海ニ入ルヲ禁ムルトキニ當リテ中立國ハ
 直ニ之ヲ武装ヲ解カシメテ首置スルヲ要ス此海陸ノ巨異ハ海軍
 及船舶ニ干スル特別ノ事情ニ基クモノナリ海洋ハ世界ノ交通ノ公路
 ト思惟カレ諸國ノ港灣ハ多ク海上ノ國際交通ニ攪阻ヲ与ノルモノナ
 リ而シテ航路ノ狀態ハ港灣ニ於テ一定ノ位置ヲ度クルコトヲ欲テノ
 國家ノ船舶ニ取リテ必要ノコトナラシム但中立國ハ交戦國軍艦カ航
 行ニ阻ハレテ中立領域ニ侵入シ又ハ其他ノ事由ニ依リ中立領域ニ航路
 ヲ求ムルヲ許サズルノ義務アルコトヲク海軍ノ場合以外ニ於テ總テ
 ノ交戦國軍艦ノ其港灣ニ入ルヲ禁止シ又ハ制限スルヲ得ヘキナリ、
 唯禁止又ハ制限ハ双方ノ交戦國ニ均等ニ適用セザルヘカラザルノミ
 中立國カ軍艦ノ防護ヲ許ストキニ談軍艦カ中立領域ヲ戰爭上ノ目的
 ノ為メ特別ニ利用スルコトヲ許スヘカラザルヲ以テ種々ノ制限ヲ存
 ス(△中立領域ノ不可侵ノ節參照)就中立領域ヲホメタル軍艦ノ永ク滞

二九七

在シテ慮意ノ時期ニ自由ニ出港スルヲ許スヘキニアラス、此意ニ於
 テ敵ニ迫ハレテ輸入セル軍艦又ハ敵ノ船メニ被擧テ敵リテ輸入セル
 軍艦ハ直ニ之ヲ抑留スヘキト爲スノ説アリ日露戦争ノ際我國ノ艦隊
 ノ西ニ被擧テ敵リテ中立港ニ輸入セル露國軍艦ハ本ノ修理ヲ許サレ
 スコトヲ抑留サレ又ハ二十四時間乃至四十八時間内ニ修理ヲ修メ得サ
 ルトキハ抑留サレテ武装及航海機干ノ要部ノ解除ヲ行ハレタリハ海
 賊ノ中立ノ条約ニ因テ武装ノ解除ヲ受ケタル軍艦ハ吾國ノ軍艦
 ノ如ク程度ニ於テ治外法權ヲ認めラレタリ又中ニ在ル停泊ハ停泊
 ノ身分ヲ失フモノト認めヘキナリ
 文法國軍艦ト爲テ普通ハ中立領域ニ於テ治外法權ヲ有スレテ以
 テ軍艦以ノ停泊ハ軍艦力中立領域ニ入ルモ直ニ停泊ノ身分ヲ失フコ
 トナリ又拿捕セラレタル船中モ軍艦ニ準スル取扱ヲ受ケヘキヲ以テ
 其中立領域ニ入ルモ直ニ捕獲物タル資格ヲ失フコトナリ但中立領域
 ニ入ル文法國軍艦ハ中立國力其中立ノ地位ヲ維持スル爲メ被擧アル
 所ノ規則ヲ守ラサルヘカラス若シ強テ違テ守ラサルトハ中立國ハ

強カテ用ヒテ規則ヲ履行スルコトヲ得ヘキナリ

中立國ノ軍艦力敵對中敵ニ擊沈セラレ又ハ敵前ニ自ラ莫視シレ軍
 艦ノ未買ヲ収奪スルコトアリ此場合ニ保護ヲ許ケレタレ若ハ中立國
 自ラ抑留ズルカ又ハ其他ノ手段ニ依リ戰爭中再ニ交戦ニ干渉セシメ
 サレニトテ要ス、日清戦争ノ初メ高陞号撃沈ノ時ニ仏國及他國ノ軍
 艦ニ被ハレタル支那ノ兵士、水夫ハ軍ニ支拂ニ送り返サレタリ然レ
 トモ日露戦争ノ始メ仁川ノ海賊ノ際アリソグ及ソコリエソツ号
 ノ東自カ英、米、仏、伊ノ軍艦ニ依リ収奪セラレルモ兎昔中立國ハ
 多クハ其収奪セル露國軍艦ノ乗員ヲ交戦ニ干渉セシメサルコトヲ露
 國ヨリテ許セシメテ之レヲ露國ニ引渡セルカ如ク亦ニ平和會議ノ亦
 十年条約ノ原則ヲ海賊ニ適用スル條約ヘ一三一ニ於テ中立國軍艦ニ
 於テ傷者、病者又ハ難船者ヲ収奪シタルトキハ爲シ得ルカキリ之レ
 等ノ人負ラレテ再ニ作戦動作ニ加ハレコトヲ得ナラシムヘキト爲ス
 後國ノ難船者、傷者又ハ病者ヲ其収内ニ收メテ停泊ト爲セル交戦
 國ハ中立國ニ之等ノ人負ヲ送致スレコトアリ(上述ノ條約第一四條)

此場合ニ中立國カ上陸ヲ承諾セハ中立國ト文戦國トノニ及テノ後
 定ナキ限リ再ニ作戦動作ニ加ハルコトヲ得サラシムル事中立國ニ於
 テ之ヲ抑遏スヘキモノトス而シテ入隊及留置ノ費用ハ送替ノ人負ノ
 所兩國ニ於テ之ヲ負担スヘキモノトスヘ公上條約一五ノ
 中立國商船ハ自ラ進ニテ又ハ文戦國軍艦ノ依附ニ依リ停泊、夜着
 又ハ預知者ヲ収容スルコトアリ（同上條約九）中立國商船ノ場合ニ
 ハ文戦國軍艦カ送替ノ人負ノ引渡ヲ請求スル時ハ之ヲ引渡ササルハ
 カラス（同上條約一ニ）
 中立國ハ中立ノ地位ヲ維持スル為メ及自國ノ内部ノ秩序ヲ維持ス
 ル為メ或テ其ノ保護ヲ受クルモノノ一身及其行為ニ干シ制限ヲ加フ
 ルコトヲ許ス所ニシテ、為メ要スレ費用ハ保護ヲ受クル者ノ所屬國ヲシ
 テ之ヲ担ハシムルヲ得ヘキナリ

第四章 中立國臣民ノ行為ニ関スル

中立國ノ權利義務

臣民ニ干スル禁遏義務及監視
 ノ義務並ニ之ニ牽聯スル權利

中立國ハ其臣民ノ行為ニ干シ禁遏ノ義務ヲ負フコトアリ又監視ノ
 義務ヲ負フコトアリ禁遏ノ義務ハ中立國ノ領域内ニ在ル臣民ノ行為
 ニ關シ監視ノ義務ハ文戦國ノ領域外ハ公海ニ在ル臣民又ハ臣民ノ財
 産ニ干ス中立國ハ其領域以外ニ行ハレタル臣民ノ行為ヲ禁遏スルノ
 義務ナク其臣民ノ中立違反ノ行為タリトモ領域外ニ行ハレタルモノ
 ハ之レヲ禁遏スルヲ要セス（他國ノ中立ノ條約並禁二項）
 中立國ハ其臣民ノ一隊ヲ派テ干シテ何カニ因テ去リ文戦國ノ軍艦
 ニ従事スルヲ禁遏スルノ義務ナシ或國ノ國民法ノ規定ニ於テ中立國
 トシテ其臣民ノ文戦國ノ軍艦ニ従事スルヲ禁遏スルノ例アリ（例ハ
 英國ノ外國就役條例 Foreign Enlistment Act / 1863）

三〇二
國際法ノ要則スルトコロニアリス中立國ノ其ノ中立ノ地位ヲ危クスルニ至ルトアラシク廢テ其國收法上禁スル所ナリ然レトモ中立國ハ其現役ノ將校ニテ文戰國ノ軍務ニ從事スル者アルハ之ヲ召選スルヲ要ス或ハ文戰國ノ軍務ニ派スル爲メ辭職セントスル者ヲ抑留セサルハカラストスルノ說アリ但軍医其ノ他ノシゴネテ了条約ノ保護ヲ受クル非戰國員ノ文戰國ノ役務ニ服スルヲ禁スルノ義務ナシ
第二回平和會議ノ決議ニ依レハ總テ中立國ノ臣民ノ交戰國ノ一方ニ對シテ派對行爲ヲ爲シ又ハ文戰國ノ一方ノ利益トナルヘキ行爲ヲ爲シ殊ニ任意ニ交戰國ノ一方ノ軍ニ入りテ服務スルトキハ地方ノ交戰國ハ之ニ對シテ其ノ中立人タル資格ニ伴フノ利益ヲ認めケルモ中立國ヘ之ヲ監視スルノ義務アリトス但レ之等ノ中立人ノ同一行爲ヲ爲セル敵國人ヨリ嚴酷ナル取扱ヲ受ケルトキハ中立國ハ監視スルヲ要セズシテ之ヲ保護シ少クとも同一行爲ヲ爲セル敵國人ヨリモ嚴酷ナル取扱ヲ受ケシメサルコトヲ主張シ得ル陸戰ノ中立ノ條約ニ七ノ前記ヲ前記ノ所謂文戰國ノ一方ノ利益トナルヘキ行爲ト見做カレ得

テ之ヲ行ハハ中立國ノ個人ヲシテ中立人タルノ利益ヲ失ハシムヘキ行爲ノ中ニハ文戰國ノ一方ノ爲メ種種ノ義務ヲ爲シ又ハ公債ニ應ジルコトヲ含マストス但レ義務者又ハ債主カ地方ノ交戰國ノ親ニ又ハ其台領地ニ住居シ若ハ使路島カ送拜ノ地方ヨリ米トキ比限ニテアラストス又上述ノ所謂文戰國ノ一方ノ利益トナルヘキ行爲ノ中ニハ陸戰ノ中立國自身カ兵器・彈藥其他ノ軍需品ヲ交戰國ニ供給スルハ其禁止ノ義務ニ違反スルコトナレトモ中立國ハ其臣民ノ之カ供給ヲ交戰國ニ爲ストトテ廢止スルノ義務ナシ(陸戰ノ中立ノ條約一、海戰ノ中立ノ條約一)但中立國ハ其國收法ヲ以テ之ヲ禁避スルノ権利アリ再ハ戰爭ノ際瑞西及白耳義ハ禁避ヲ行ヘリ禁避ヲ行フ場合ニハ双方ノ交戰國ニ對シテ一律ニ適用セサルヘカラス中立國ハ臣民ノ軍需品ノ供給ヲ禁避スルノ義務ナシハ上述ノ如クナレトモ是等ノ所効ハ海上輸送ノ場合ニ戰時禁避トナリ地方ノ交戰國ハ其敵ニ違スルヲ妨グルカ爲メ公海又ハ文戰國領域ニ於テ國際法上一定セル範圍内ノ海

三〇三

制手段ヲ加フルコトヲ得ヘク中立國ハ斯ノ如キ強固手段カ適法ノ範
圍ヲ限ルサル以上ハ之ヲ默視シ其平素有スル臣民ニ許スル一般ノ保
護權ニ基クテ午ヲ為ササル默視ノ義務ヲ負フモノトス中立國ヲシテ
其臣民ノ軍需品ヲ一方ノ交戦國ニ供給スルヲ禁遏セシムヘシトスル
ノ字義ワルモ今日ニ於テハ行ハレスニシテ斯ノ如キ實國ノ禁遏義務ヲ
中立國ニ負ハシムレハ其煩累甚シク又中立國ノ商業ニ打撃ヲ与フハ
ク且交戦國モ軍需品ノ供給ヲ他國ニ仰カント欲スル者多クハハ
運繼ニ作テ交戦國ノ往來ニ依リ製造、武裝、又ハ振策セルモノハ
カ中立國領域外ニ出ワルヲ禁遏セサルハワラストシテ三章ノ中立
領域ノ不可侵ノ節(第一條)單ニ交戦國ニ賣テントシテ中立ノ
領域外ニ出テントスルハ必ズシテ之ヲ禁遏スルノ必要ナク唯戰時禁
制品トシテ他方ノ交戦國ノ拿捕シ得ルニ過キスト為メ(第五條)單
ノ規則ハ現行ノモノト認メサレハカラサルモ之ニ對シテ理論上ノ批
難ヲ為ス者アリ

學者或ハ中立國ハ其臣民カ交戦國ノ公債ニ應募スルコトヲ禁遏マ

ナルハカラスト為シ少クモ中立國或ニ於テ公債募集スレテ禁遏マ
ルハカラスト為スヘアイリモア、ブルンナユリ、ハフター)然
レトモ又他方ニ於テ實幣ハ商品ノ一種ニ外ナラサルヲ以テ中立國ハ
其領域外ニ於テ其臣民ノ交戦國ノ公債ニ應募スルヲ禁遏スルノ義務
ナシトスル者アリ現來ノ國際法上ニ於テハ中立國ハ其臣民カ其領域
外ニ於テ交戦國ノ公債ニ應募スルコトヲ禁遏スルヲ要セサルナリ日
露戰爭ノ際我國ハ倫敦及紐育ニ於テ露國ハ巴里及柏林ニ於テ公債ヲ
募レリ軍費補助ノ為ニスル等附金又ハ慈善的ノ寄附金ノ募集ニ作テ
ハ既ニ述ラ述ヘタリ

中立國ハ其臣民カ電報、電報、無線電信等ニ依リ交戦國ノ
一方ニ情報ヲ伝アルヲ禁遏スルノ義務ナシ然レトモ之ヲ行ハレ臣民
カ他方ノ交戦國ノ権利ニ侵害シ或罰ヲ受ソルトキニ當リ之ヲ默視スル
ノ義務アリ

中立國ハ其回籍ヲ有スル商船カ交戦國ノ一方ノ為ニ軍需ヲ輸送シ
情報ヲ傳ソル等軍事ニ干渉スル役務ニ從事スルヲ禁遏スルノ義務ナ

三〇六
シト出テ交戦国カ公海及交戦国領域ニ於テ是等ノ義務ヲ強制的ニ妨
遏スレニ當リ中立國ハ交戦國ノ行ヲ強制手段カ適法ノ範圍ヲ限ルマ
ル以上ハ之ヲ黙視スルノ義務アリ此点ハ後ニ軍事的補助ノ章ヲ設テ
テ詳論スヘシ

交戦國ハ無線電信線ヲ有スル中立國ノ新聞通信員使用船舶カ戰地ニ
近クテ防護ニ必要アルハ之カ船舶ヲ爲シ得ハキヤリ然レトモ日露
戰中ノ際ノ「グレイムン」新聞ノ通信員ノ使用船ニ干渉シテ露國カ戰
線電信機ヲ擄フル新聞通信員ヲ刺殺ト爲儀スヲ定メ其使用スル船舶
ヲ没収スルコトヲ定メタル如キハ不法ナリ但新聞通信員ニシテ敵ニ
情報ヲ傳フルトキハ同罪ヲ以テ罰ニ得ハク又敵ノ爲メニ交戦國ノ一
方ノ通信ヲ妨害スルトキハ軍事的補助トシテ船舶ヲ没収シ得ハキナ
リ

中立國ハ其臣民又ハ其船舶ノ行ヲ新鐵優待ヲ發遣スルノ義務ナク
單ニ交戦國ノ之ヲ禁避スル爲メ行ヲ許シ適法ノ強制手段ヲ黙視スル
ノ義務アルノミ

第五章 戰時禁制品

第一 戰時禁制品ノ種類及種類

戰時禁制品トハ其敵ノ使用ニ供スラレルヲ妨クル爲メ交戦國ノ一
方カ海上輸送ノ途上ニ於テ其敵軍ニ到達スルコトヲ防護スルノ手段
ヲ與リ得ルキ貨物ナリトス、是等ノ貨物ヲ中立國臣民カ交戦國ニ賣
リ又ハ中立船舶カ交戦國ニ輸送スルハ國際法違反ト云フヲ得スレテ
中立國ハ之ヲ禁避スルノ義務ナキモ他方ノ交戦國ハ交戦國領域又ハ
公海ニ於テ其輸送ヲ防護スルノ手段ヲ與ルヲ認メテレ交戦國ノ防護
ノ手段カ適法ナル範圍ヲ逸セサル以上ハ中立國ハ之ヲ黙視スルノ義
務アルナリ

本章說クトコロノ黙視ノ義務ニ干スル戰時禁制品輸送、新鐵優待
及ヒ軍事的補助ハ詳論ヲ要スレテ以テ各別章ヲ設ケテ詳論スヘシ

如何ナル種類ノ貨物ヲ戰時禁制品ニ屬スヘキモノナルカニ干レテ
 在末字既價例共ニ区々ニ出テタリテカトキハ此点ニ干レテ貨物
 7 (一) 其性質上專ラ戦事上ノ用途ニ用ヒラレルモノ (例ハ矢返彈
 藥) (二) 專ラ平和的用途ニ用ヒラレルモノ (例ハ倉庫修葺) (三)
 戰事上ノ用途ニ用ヒラレルモノ (例ハ貨幣、糧食
 食料、船舶及其機裝材料) ノ三ニ分ケ第一種ノ貨物ハ常ニ戰時禁制
 品トナリ第二種ノ貨物ハ戰時禁制品トナレトナリ第三種ノ貨物ハ場
 合ニ依リ其用途ニ依ヒテ或ハ禁制品トナリ或ハ禁制品トナラズト為
 ス今日ニ於テハ絶対的禁制品ト条件付禁制品トノ區別其來ニ於テ多
 數ノ國ニ設メラレ絶對的禁制品トナリ得ヘキ性質ヲ有スル貨物カ歐
 港又ハ敵軍ニ向ノトキハ戰時禁制品トナリ条件付禁制品トナリ得ヘ
 キ性質ヲ有スル貨物カ敵國ノ運用ニ充テラレルコト明白ナル事情ヲ
 存スルトキハ戰時禁制品トナルト爲シテ而シテ絶對的禁制品トナリ得
 ヘキ性質ヲ有スル貨物ハカトキハ第一種ノモノト略同
 シテ条件付禁制品トナリ得ヘキ性質ヲ有スル貨物ハカトキハ

區別ノ第三種ノモノト略同シ唯カローキウス
 ノ區別ノ第三種ニ屬シテカラ其戦事上ノ用途ニ充テラレルコト着シ
 キノ故ヲ以テ絶対的禁制品トナルヘキ性質ヲ有スト認メラレタルモノ
 ノアリハ例ハ船舶ノ機裝材料) 日露戰役ノ際有敵ナリシ我國ノ捕獲
 規定ハ明治三七年三月大木管副令)ニ依レハ絶対的禁制品(一三)
 及條件付禁制品(一四)ノ旨目ハ左ノ如シ
 第十三条 左ニ掲ケル物品ハ敵地ニ到達スヘキ場合又ハ敵ノ陸海
 軍ニ到達スヘキ場合ニ於テ之ヲ戰時禁制品トス
 兵器、彈藥、爆薬物並ニ其材料(鉛、硝石、硫黄等ヲモ包含
 ス) 及製造機材(セメント) 陸海軍々人ノ制服及武裝具、甲
 狀板、艦船ノ製造及機裝ノ材料並ニ以上ノ物品ニ屬セスト云
 フ單ニ戰事ノ用ニ使スヘキ一切ノ物品
 第十四条 左ニ掲ケル物品ハ敵ノ陸海軍ニ到達スヘキ場合又ハ敵
 地ニ到達シ其到達地ノ如何ニ依リ敵ノ陸海軍用ニ使スルモノ
 ト認めヘキ場合ニ限リ之ヲ戰時禁制品トス
 糧食及飲用品、被服及其材料、馬匹馬具、車輛、石灰、及ヒ

其他ノ燃料、木材、通信、金銀塊、^三至ニ電信、電話、及鉄道
建物ノ材料（明治三十八年一月本項改正）

歐洲大陸ノ學者中戰時禁制品ヲ以テノ區別ノ第一種ノ貨物ニ限リ而シテ所謂條件付禁制品ヲ認ムヘカラスト為スモノ少カラズ然レトモ此說實際ニ行ハレズ條件付禁制品ヲ認メサル固モカローノウズノ第一種ノ貨物ヲモ戰時禁制品トナルヘキモノトシ實際ニ於テ此種ノ貨物ヲモ純粹的禁制品トシムルニ至ルコトアルヲ以テ中立國ノ抗議ヲ受ケルルル免レズ露國ハ日露戰役ノ際純粹的禁制品ト區別ヲ認メスレテ米及其他ノ食料品ヲ戰時禁制品中ニ數ヘ其單ニ敵軍ニ向テ再送サレルル故ヲ以テ戰時禁制品ト為レルヲ以テ英國及合衆國ノ抗議ヲ受ケ逐ニ純粹的及條件付ノ區別ヲ認メルニ至リ是等ノ貨物ヲ條件付禁制品トナルハキモノトスルニ至レリ

倫敦宣言ハ大体ニ於テカローノウズニ依ル貨物ノ三種ノ區別ヲ認メ大體第一種ヲ以テ純粹的禁制品ト為シ其第三種ヲ以テ條件付禁制品ト定ムルニ至レリ而シテ其第二種ヲ以テ禁制品ト為レ得、カラ

ナルノ貨物トシテ認メタリ倫敦宣言ハ當然ニ純粹的又ハ條件付ノ禁制品ト認メラル、キ貨物ノ品目表（二ニ及ニ四）ヲ作シリ但シ其ノ品目中ノ一定ノ貨物ヲ禁制品トシテ取扱ハサラント欲シ又ハ純粹的禁制品ノ品目表中ニ在ル一定ノ貨物ヲ條件付禁制品トシテ取扱ハント欲スルトキハ特別ノ宣言ニ依リ其意思ヲ他國ニ通知スヘキナリ（二六）而シテ是等ノ當然禁制品トナルハキ貨物ノ品目表以外ニ於テモ專ラ戰爭用ニ供メラル、キ物件及材料ハ平時ニ於テ他國ノ政府ニ通知シ又ハ戰時ニ於テ中立國政府ニ通知スヘキ宣言ニ依リ之ヲ純粹的禁制品トシテ取扱ヒ得、ハ（二七）又戰爭用ニモ平和用ニモ供シ得、ハキ物件及材料ハ金探ノ方法ニ依リ之ヲ條件付禁制品トシテ取扱ヒ得、ハキニ至ルニ至レテ認ム（二五）

倫敦宣言カ當然ニ純粹的禁制品トナルヲ定メタル物件及材料ノ品目表（二ニ）ハ第一種ニ平和金銀ノ委員會ニ於テ委員由リ文議ニヨリテ一旦議定ヲ經ルル所ヲ其係採用セルモノニシテ專ラ戰爭上ノ用途ニ充テラル、キ物件以外ノモノヲモ含ム戰爭ノ用ニ供スレマ得、ハキ米

用、戦用、取用ノ獸類、及材料用武器ノ類ニナリ、兵用、戦用、取用ノ獸類就中馬匹カ平和用ニモ用ヒラルヘキモノナルヲ以テ条件附禁制品タルノ性質ヲ帯カレモノト爲スヘキハ学說上高カスヘカラザル所ニシテ我國、英國等ニ於テハ在来之ヲ条件附禁制品トシテ認メタリ然レトモ合衆國ノ一九〇〇年ノ海軍法典(三六)ニ於テ馬匹ヲ絶対的禁制品ト爲シ日露戰役ノ際露國ハ絶対的ト条件附トノ區別ヲ認メレニ至リタル後モ馬匹ヲ以テ絶対的禁制品ト爲セリ

条件附禁制品トナルヘキ物件ノ何タルマニテハ在来議論多カリシモ其中最モ議論ノ適ニカリシハ(一)米及其他ノ食料品(二)石油及其他ノ燃料(三)貨幣、地金、及ヒ貨幣代表ノ紙幣(四)船舶等ナリトス(一)米及其他ノ食料品ハ如何ナル場合ニモ禁制品ト爲スヲ得ヌトスル學說(例ハガルンチユリ)アレトモ多數ノ學說ハ其ノ限ノ雇用ニ依セラルルコト明ナル場合ニハ禁制品ト爲シ得ルト爲ス实例ニ於テ我國、英國、合衆國ノ如キハ且テ条件付禁制品ト爲セリ日露戰役ノ際露國ハ米及食料品ヲ禁制品ト爲シ實際上絶対的禁

制品トシテ取扱ヒシモ英國及合衆國ノ抗議ニ依リテ遂ニ条件付禁制品トシテ認ムルニ至レリ命張宣言ハ一版ニ糧食ヲ以テ条件付禁制品ト爲セリ(二)石油及其他ノ燃料ニ因テ英國ハクリシハ戰役以來石油ヲ条件付禁制品ト爲セリ伊太利親一戰中ノ際、仏、伊兩國ハ石油ヲ禁制品トシテ認ムル露國ハ一八八五年ニ於テ石油ヲ禁制品ト爲セリ認メタルヲ宣言セルニ日露戰役ニ際シ石油及其他ノ燃料ヲ禁制品ト爲シ絶対的ト条件附トノ區別ヲ認ムルニ至リテモ之ヲ絶対的禁制品中ニ置ケリ倫敦宣言ハ燃料ヲ以テ条件付禁制品ト爲セリ(三)地金、貨幣、地金、及貨幣代表ノ紙幣ハ理論上ニ於テ条件付禁制品ニ屬スヘク倫敦宣言モ斯ノ如ク定メタリ(四)船舶カ軍艦、運送船等トシテ敵ノ雇用ニ使セラルル爲メ敵ニ在リケルル航海中ニ在ルトキハ船舶其モノカ戰時禁制品トナルヘキモノトス往時ニ於テ船舶ヲ絶対的禁制品ト爲セルコトアルモ倫敦宣言ハ區別ヲ立テ戰時用船舶ヲ特ニ軍艦ニ限リ供用スルヲ得ヘキコト明瞭ナル組織品ヲ以テ絶対的禁制品ト爲シ(一)第一〇号一其ノ他ノ一切ノ船舶及機件及

其組既而ヲ以テ條件附禁制品ト為セリ但一方ノ文獻國政府ノ注文ニ依リ中立領域ニ於テ船舶ノ武装又ハ機材ヲ為スエト又ハ一方ノ文獻國政府ノ注文ニ依リ中立領域ニ於テ船舶ノ武装又ハ機材ヲ為スエト又ハ一方ノ文獻國政府ノ注文ニ依リ中立領域ニ於テ船舶ノ武装又ハ機材ヲ為スエト又ハ一方ノ文獻國政府ノ注文ニ依リ中立領域ニ於テ船舶ノ武装又ハ機材ヲ為スエト

倫敦宣言ハ戰時禁制品トシテ宣言スルヲ得ル物件及材料ノ品目表即チ所謂自由品目表ヲ作りシカヘニハ(一)之レ戰時禁制品ニ供スルモノト極メテ稀ナルカ或ハ金ク戦時禁制品ニ供スル物件及材料ト認メラシタルモノナリ而シテ倫敦宣言ハ別ニ戰時禁制品ニ供スルヲ得ル物件及材料ハ之ヲ戰時禁制品トシテ宣言シ得ルモノ一版の規則ヲ置ケリ(二七)

自由品目表ノ界限ニ掲ケラレタル品目ニ干シテ言スハ(一)南北戦争ノ際一八六一一年合衆國政府ハ生綿ヲ以テ禁制品ト取セリ又理由トシテ所ハ南部諸州ノ生綿ヲ以テ貨幣ニ代用シ船舶、兵器、彈藥ノ支拂ニ當テタル特別ノ状態ニ在リタリ然レトモ當時所謂禁制品ノ語ヲ確

定スルニ國際政治上ノ禁制品ノ意ニアラス(一)合衆國政府軍ノ侵入セシ歐州ニ於テ上述ノ特別ノ事情ニ鑑ミテ生綿カ總令私人(中立人ヲ含ム)ニ販スルモ反収シ得ヘシト主張スルノ意ニ外ナラザルコトハホルランドノ曾テ指稱セル所ナリ生綿カ普通ノ状態ニ於テ絶対的禁制品トナスヘカラザルハ言ヲ煩マサルトコロナリ然ルニ日露戦争ノ際露國ハ生綿カ綿火藥製造ノ材料トナルノ故ヲ以テ之ヲ絶対的禁制品ト為シ英國ハ之ニ抗議シ露國モ遂ニ屈シテ單ニ條件付禁制品トシテ之ヲ認ムルニ至レリ倫敦宣言ニ於テハ生綿ハ所謂自由品目表中ニ掲ケラレタルヲ以テ如何ナル場合ニ於テモ(一)後令敵ノ軍用ニ供セラルヘキコト明カトナリテモ(二)禁制品ト為スヲ得ルモノトナレリ倫敦宣言ハ又次ノ二種ノ物件ノ戰時禁制品ト看做スヲ得ルモノヲ定ム(二九)

(一) 專ラ高貴傷者ノ看護用ニ供スヘキ物件及材料 是等ノ物件及材料ハ總令敵軍ニ仕向ケラレトモ戰時禁制品トナルコトナレ但倫敦宣言ハ是等ノ物件及材料カ(一)敵國ノ領土ニ敵

三六
國ノ占領地又ハ敵國ノ兵力ニ仕向ケラレタル時ニ於テハ口
軍事上重大ナル必要アル場合ニハ(ハ)艦艇ヲ支取ヒタル上
之ヲ徵察スルヲ得ヘントス

(三) 船舶ノ自用ニ使スヘキ船舶ニ在ル物件及材料至ニ航行中
該船舶ノ乗員及乗客ノ用ニ使スヘキ物件及材料 例ハ海軍防
禦ノ為メ兵器、彈藥、信号、為メノ砲及火藥乘員乗客ノ食料
ノ如クハ禁制品トナルコトナシ之レ規定ヲ須テテ始メテ然ル
ニテラス一ノ物件ヲ禁制品トナルニハ敵ノ軍用ニ使セラルト
認め得ヘキ場合ヲラサレハカラサレハナリ

一ノ物件又ハ材料ヲ戰時禁制品トナルニハ敵ノ軍用ニ使セラルト
認めラルヘキ場合ナラサルヘカラス故ニ絶対的禁制品ニ付テハ其敵
國ノ領土、敵國ノ占領地又ハ敵國ノ兵力ニ仕向ケラレタルコトヲ立
證セラルルコトヲ要シ(三〇)條件付禁制品ニ付テハ所謂條件カ更
ニ嚴重ニシテ倫義宣言ハ其敵國ノ兵力又ハ行政廳ノ使用ニ仕向ケラ
レタルコトヲ立証セラルルコトヲ要スルナリ(三一)是レ絶対的乘

制品ト條件付禁制品トノ最モ重要ナル仕向先(即チ到達先)ニ于テ
此差異ナリ但條件付禁制品トナルハキ物件ヲ行政廳ニ仕向ケラレタ
ル場合ニ於テハ是等ノ物件ハ(金銀、貨幣及其他金及貨幣代表ノ資
幣ハ容易ニ運搬取用シ得ルヲ以テ之ヲ除ク)事實上其ノ戰爭ノ為ニ
使用セラルルハキモノニアラサルコトヲ諸般ノ状況ニ依リ立証セラレ
タルトキハ禁制品タルノ限ニ在ラスト為セリ(三三)而シテ絶対的
禁制品ニ于ル上述ノ仕向先ハ水ノ二ノ場合ニハ明確ニ証明サレ候
テ禁制品タルコトノ條件ヲ充タルモノト看做サレ而シテ此場合ニハ
反証ヲ許サス(三一)ニノ場合トハ右ノ如シ

(一) 貨物ニシテ敵港(敵ノ占領地ヲモ含ムト解スヘキナリ)ニ
陸揚セラレ又ハ敵ノ兵力ニ引渡サレヘキモノナルコトヲ船舶
書類ニ記載スルトキ

(二) 船舶ニシテ敵港ニ至リ到達スヘキモノナルトキ又ハ船舶ニ
シテ船舶唇表上貨物ノ陸揚地タル中立港ニ達スル以前ニ於テ
敵港ニ寄港シ、若シクハ敵ノ兵力ニ合会スヘキモノナルトキ

又条件附禁制品ニ于ル上ニ述ハセル此白先ハ又ニ述ノル三ノ場
 合ニハ存スト推定スラレ得テ禁制品タルノ条件ヲ定メタスモノト推
 定セラルル此ノ如キ推定ヲ為スヲ得ル場合則チ又ニ述ノル三ノ場合
 ニ該当セラルル場合ニハ此白先ハ無害ト推定セラルル語ヲ取テ又テ言
 ハハ禁制品トナルニ必要ナル此白先ヲ有マスト推定セラルル条件附禁
 制品ノ仕向先ニ于ル送等ノ推定ニ計レテハ倫理宣言ハ絶対的禁制
 品ニ于スレ上述ノ場合ト異ニシテ反証ヲ許スモノトス(三ノ四)

(一) 物件ノ輸送ニシテ敵國官憲ニ宛テラレタルトキ
 (二) 敵國ニ在在スル商人ニ宛テラレタル場合ニ於テ右商人カ
 此ノ種ノ物件及材料ヲ敵ニ供給スルコト著名ナルトキ
 (三) 敵ノ防備アル場所又ハ敵國兵力ノ基地タル民衆ノ場所ヲ
 仕向地トシテ輸送セラルルトキ

商船ノ補助運送船、運送船等トシテ敵ノ軍用ニ供セラルル為メ敵
 ニ仕向セラルル航海中ニ在ルトキハ商船自體カ条件附禁制品禁制品ト
 ナルハキコトハ既ニ述ヘタルカ商船自體ノ戦時禁制品タル性質

運送航海主義

ヲ立証セントスル場合ニ就テハ夜令敵ノ防備アル場所又ハ敵國兵力
 ノ基地タル其他ノ場所ヲ仕向地トスルニ此事實ノミニ依リテ直チニ
 禁制品トナルニ必要ナル仕向先ヲ有スト推定セラルコトナキナリ(三
 四)

絶対的及条件附禁制品ヲ輸送スル船舶ノ航海ニ于テハ条件附禁制
 品ニ付テハ又貨物ノ運送場所ニ于テモ(船舶書類カ完全ナル証知
 クルハキモノトス仕向ノ船舶ニシテ船舶書類ノ記載ニ依テ航行スヘ
 一航路ヲ明ニ識シタル際ニ於テ軍艦ニ遭遇シ且シ其航路変更ニ付キ
 充分ナル理由ヲ表明スルコト能ハサル場合ハ此限リニ在ラスト為ス
 ハ三ニ及ニ五第ニ項)

絶対的禁制品ト条件附禁制品トノ仕向先ニ于テ倫理宣言ハ他ノ
 差異ヲ認メタリ異レ所運送航海主義又ハ運送輸送主義ニ于スルテ
 ノナリ倫理宣言ハ折衷的ノ解決ヲ与ヘ絶対的禁制品ニ付テハ此主義
 ナルメ条件附禁制品ニ付テハ之ヲ否認セラルコトニ若シ仕向先ニ于ス
 ル他ノ差異ヲ生シタルナリ禁制品ニ于ル運送航海主義ハ元來禁制

旨ノ仕向先ヲ原則トシテ船舶ノ仕向先ニ依リテ決スルノ根本思想
ニ対スル例外ヲ為スルニシテ縱令船舶ノ現ニ敵港ニ向ハサルモ一
旦敵港ニ近キ中五港ニ仕向ケテ一ノ航海ヲ終リ更ニ回航ヲ以テ別ノ
航路トシテ去一ノ禁制旨トナリ得ヘキ實情ヲ載セテ敵港ニ向ハント
スル港ニ於テ初ノ中五港ニ向フ航海ヲ後ノ直達ニ敵港ニ向フ航海ト
相連続シテ一ノ航海ヲ為スモノト看做シ初ノ航海中禁制旨輸送トシ
テ拿捕ヲ為シ得ハント為スナリ南北戦争ノ際各國法廷ノ採レル所
ナリ而シテ一旦中立港ニ港場シテ後ニ別船ヲ以テ又ハ他路ニ依リ敵
地ニハ敵軍ニ達ス、キ場合ニモ前ノ航海ト後ノ別船ヲ以テスル航海
又ハ陸上ノ輸送トニ干シテ連続航海主義ノ觀念ヲ推及シテ前後ノ輸
送ヲ連続セシ一ノ輸送ト看做シ中立港ニ向フ航海中一於テ禁制旨輸
送トシテ拿捕シ得ヘキコト主張ヲ为レルニ至レリ輸送ノ後ノ階段力
別船ヲ以テスル航海ナル場合ニ同シニハ南北戦争ノ際各國法廷
ノ連続輸送主義ヲ認メタリヘスナリシテボツツア号及ビ一タノボフ
ノ号事件等更ナリ一英國ハ前ニハ船舶ノ仕向先ニ依リ貨物ノ仕向先

ヲ定ムルノ主義ヲ堅ク執リシカヘスト一ツエレ御ノイミナ号事件ニ
干スル判決ノ近時ニ至リ連続輸送主義ヲ認ムルニ頃キ南亞戦争ノ際
南亞戦争ニ屈スル中立港ヲ仕向港トシテ航海スル船ノ航路アリ
ルニ至レリ但歐洲大戦ニ於テハ早クヨリ船舶ノ仕向先ニ依リ貨物ノ
仕向先ヲ決スル英國主義ノ原則ニ反対スル思想アリヘスナリ、リ
リン、アオレ、クリミヤ戦争ノ際ノフロウ、ホウ、イナ号事件ハ
一八五五年ノ一仏國捕獲添検所ノ判決ノ如キハ連続航海主義ノ思想
ヲ認メタリト云ハニヨリハ寧レ船舶ノ仕向先ノミニ拘ラスニテ更ニ
別ニ貨物自身ノ仕向先ヲ問フノ根本思想ニ基ケリト為スヲ言レリト
スヘキカキナアロシニハ戦争ノ際ノアルクイシエツ号事件ニ干スル
伊國ノ捕獲添検所ノ判決ニ亦然リト云レトモ元來船舶自身ノ仕向
先ニ依リテニ採取スル貨物ノ仕向先ヲ決ムヘシトスル英國主義ノ限
木取則ノ例外ナル連続航海主義ノ思想ノ陸上輸送ノ場合ニ迄推及リ
ルニ至リテハ其主義ノ結果ニ於テ英國主義ノ其根本原則ニ至テ

ナル船舶ノ仕向先ノニニ拘ラスシテ更ニ別ニ貨物自身ノ仕向先ヲ同
フヘントスル思想ト一致スルニ至ル命泉會議ニ於テ運送航海主長若
ハ運送輸送主長ヲ認ムヘキ否ヤニ付テハ該會議ニ於テ或大陸諸國
ハ憲、新章ハハセテ認ムルヲ肯マナリシハ運送主長ノ解決ニ依リ
他國の禁制品ニ付テハ全然セテ認メ得ラ共直捷ニ海上ヨリ敵國ノ領
土、敵國ノ占領地スハ敵國ノ兵力ニ輸送マラルト一旦中立港ニ航
海シ更ニ別船ニ轉載シ若ハ陸路ニ依リ運送ノ仕向先ニ輸送マラルル
トニ付マス苟モ貨物自身ノ仕向先カ上陸ノ如クナレハ戰時禁制品ト
ナレハキモノトシヘシヨシ而シテ條件付禁制品ニ付テハ運送航海主
長若ハ運送輸送主長ヲ認メムシテ敵國ノ領土、敵國ノ占領地又ハ敵
國ノ兵力ニ付テ航路行スル船舶ノ午ニ在リテ且此物件ヲ中回ノ中立
港ニ於テ陸揚マカレ場合ニ付テハ令船船ノ仕向先カ中立港ナルモ貨
物自身ノ仕向先カ敵ニ在ルカ否カヲ審査シ敵タル仕向先ヲ有スルト
キハ之ヲ禁制品ト爲シ得ヘキニ條件付禁制品ニ在リテハ荷セ船舶ノ

仕向先カ中立港ニ在リテ敵國ノ領土、敵國ノ占領地地方、又ハ敵
國ノ兵力ニ付テナル以上ハ最早貨物自身ノ仕向先ノ敵ニ在ルカ否カ
ヲ審査シテ禁制品ト爲スル途ナキナリ但倫敦宣言ハ條件付禁制品ニ
付キ此点ニ付スレ例外ヲ認ム敵國ノ領土カ存ニ面スル回境ヲ有サ
ル場合ニ於テハ運送輸送主長ヲ認メテ後令中立港ニ向テ船舶ノ中ニ
積メル場合ニ付テモ陸上輸送ニ依リテ敵國ノ兵力又ハ行政廳ノ使用ニ
仕向テラレ敵軍ノ用ヲ爲スニ至レハキコト明ラルトキハ戰時禁制品
トシテ拿捕シ得ト爲スヘシク

第二 戰時禁制品輸送ノ結果

交戰國ハ公海又ハ兩交戰國ノ領海内ニ於テ戰時禁制品ノ輸送ニ從
事スル中立船ヲ拿捕スルコトヲ得共船舶ニ付テ敵タル仕向港ニ運ス
ル以前ニ付回港ニ寄港マントスルノ意思ヲ有スル場合ニモ然リトス
ハ倫敦宣言三七)中立領域ニ於テ拿捕ヲ行フトキハ中立侵害トナル
ハナリ(海戰ノ中立ニ付スル條約ニ)禁制品輸送ノ船舶ハ其ノ輸
送ニ從

送リ現一行ノ四ニ於テノニニテ奪得シ得税ニ輸送ヲ行フ所明ハ禁制
品ヲ積ミテ出港港ヲ出ツル時ヨリ始マリ禁制品ヲ卸シタル時ニ終
ルリ既ニ終了ニタル禁制品輸送ヲ理由トシテ奪得ヲ行フコトヲ得
スハ倫義宣言三八ノ在米英米ノ慣例ニ於テハ虚偽ノ書類ヲ以テ戦時
禁制品ヲ輸送セル船舶ハ其帰航ノ航路中ニ於テモ奪得シ得ルト為メ
ルモ倫義宣言ハ斯ノ如キ例外ヲ認メス

戦時禁制品輸送ノ制裁ニ于テ在米各國ノ慣例一途ニ出テ又禁制
品自体ハ又ヲ没収スルヲ一紙ノ例トスリ倫義宣言モ不之ヲ認ムハ三
九ノ条件付禁制品ニ于テ英國ハ止テ没収スルノ权利ヲ否認セサル
ニ實際ニ於テ單純ニ没収スルコトナクシテ購買ヲ行ヘリ船舶ニ運便
ヲ拒ヒ又禁制品ノ原便ニ一割ノ利益ヲ加ハタルモノヲ禁制品ノ所有
者ニ取ハリ条件付禁制品ヲ認メサル大陸ノ學者ハ平賣面用ノ貨物ノ
没収ヲ禁ゼタルモ所謂非常使用权 (jus imperiales) ヲ根拠トシ
テ敵ニ仕向ケラレタル此種ノ貨物ヲ完全ノ便格ヲ拒ヒテ購買シ又ハ
賠償ヲ拒ヒラ五押ノ得レシト為メ倫義宣言ハ条件付禁制品ニ絶對的

禁制品ト同一ク没収シ得ルキヲ認メタルモ条件付禁制品ニ付テ單純
ノ没収ヲ行ハズニテ購買ヲ行フコトヲ禁ムルコトヲキハ言フ續ク又
禁制品ヲ輸送スル船舶ノ制裁ニ于テ各國ノ慣例ノ差異甚ニク我國
及米英主權ニ於テハ船舶ノ所有者ハ禁制品ノ所有者トシテ一人ナルカ
又ハ船舶ノ禁制品輸送ノ為メニ運格ノ書類ヲ此種船舶ニ於テキハ船
船ヲ没収スル以テ國海上項後現現四三及四一又船舶ノ所有者又ハ船
長ノ運載ニテ禁制品ヲ輸送スル場合ニ於テモ船舶ヲ没収スルコト為
ス或ハ大艦ニ於テハ數貨ノ若シキ部分ハ奪得ハ四分ノ一以上他國ハ
四分ノ三以上) ハ禁制品ナルトハ其船舶ヲ没収スト為スアリ或ハ
禁制品ヲ輸送スル船舶ハ運格ノ没収スト為ルアリ(他國ノ法令ノ州及
ハ然リトス但利次例ニヨリ船舶所有者ハ船舶ノ禁制品輸送ニ使用セ
ラルベキヲ知ラザリトキハ船舶ヲ没収セザルコトト為ル) 我國
ニ於テ船舶ノ航行ノ目的力戰時禁制品輸送ニ在ルトキハ七ヲ没収ス
ルノ利次例アリ倫義宣言ハ大陸ニ多ク行ハルル主義ニ依リ戰時禁制
品ヲ輸送スル船舶ハ戦時禁制品ニシテ便格上ノ貨物上又ハ運賃上

三二四
三二五

左載貨ノ半數以上ニ上ル場合ニ於テ又ヲ反收スルヲ許ルトノ規定ヲ
改テタリハ宣言四〇)

船舶ノ反収セラレタル場合ニ於テモ戰時禁制品ヲ輸送スル船舶ハ
又戰國柳獲廢棄物ニ流ケル廢棄手続ニ于テ至ニ麻袋中紙船舶及ニ其
載貨ノ保存ニ于テ拿捕者ノ支払ヒタル費用ヲ負担セサルハカラスト
セラル(四一)

中立船舶中ニ載ヌタル禁制品以外ノ載貨ハ反収又ラレサルヲ原則
トスルニ英國主權ニ於テハ從來禁制品ト同一ノ所有者ニ屬シ且禁制
品ヲ輸送スル船舶中ニ在ル積荷ヲ反収セルカ倫政受諾モ之ヲ採用ス
ル(四二)

輸送品類ニ於テ戰時禁制品ヲ輸送スル船舶モ其分量多カラサル為
ニ反収ニ得ケルトキハ之ニ戰時禁制品ヲ交戦國軍艦ニ引渡シテ航海
ヲ続行スルノ権利ヲ享フヘキコトヲ主張スルモノアリシカ令議ニ於
テ採用マラルル所トナラス、軍ニ船長カ戰時禁制品ヲ引渡スノ意アル
トキハ交戦國軍艦ノ船長カ時ノ積荷ニ依リ之ヲ許シ航海ヲ続行セシ

ムレトアルハキヲ定メリ(四四第一項)而シテ此場合ニ艦長カ
禁制品ノ引渡ヲ受ケタルトキハ之ヲ破壞シ得ト為セリ(四四第二項)
然レトモ柳獲廢棄物ノ檢定ニ付マサルハカフサルヲ以テ拿捕者カ船
中ノ航海日誌ニ戰時禁制品引渡ノ事実ヲ記入ス、且船長ハ一切ノ
於於ナル船舶書類ノ謄記悉クテ拿捕者ニ交付スルヲ要ス、(四四第二
項)

第六章 封鎖

第一 封鎖ノ性質

封鎖トハ(海軍力ニ依リテ)一定ノ敵地沿岸ノ海一方
面ヨリスル交通ヲ遮断スル戰時行為ナリ、之ニ依リ交戦國カ敵ニ屬
スル敵對艦艇若ハ敵對船舶海岸ト外界トノ間ノ方面ヨリスル交通係ニ

し

三二八
 船舶ニ依ル交通ヲ閉鎖スルモノナリ封鎖ハ元天敵ニ非スル戦争行為
 ナルニ中立船ノ出入ヲ防遏スルノ結果ヲ生スルヲ以テ中立人ノ利害
 ニ干渉スルニトテ火ナリ在時動カスレハ交戦國ハ中立船ノ敵ト交通ス
 ルコトヲ一般ニ防遏シ得ルト爲セルニ漸次中立人ノ正当利益ヲ重ス
 ル思想發達シ而シテ交戦國ノ戦争ノ必要ト中立國ノ正当利益トノ調
 和スル所表シテ履行ニ基キ封鎖ナル特別ノ戦争行為カ認めラレルニ
 至リ其行ハルル港又ハ海岸以外ニ於テ一般的ニ中立船ノ交通ヲ防遏
 スルコト能ハサレニ至レリ

封鎖ハ交戦國トシカラス交戦國ハ必ス敵ノ兵力ノ據レル地帯ニ現ニ
 存スルモノナルヲ封鎖ハ必ス然ラズ但封鎖カ交戦國ノ性質ヲ帯フル
 コトアリ封鎖カ沿岸ノ城塞ヲ攻取ルニ等シ封鎖地帯ノ地帯ニ於テ
 此作戦動作ノ一部ヲ爲シ又ハ港灣以テ敵ノ海軍力ニ対スル作戦動作
 ヲ爲スコトアリ之ヲ航路上ノ封鎖ト稱ス又沿岸ニ作戦動作行ハレサ
 レニ均ラズ軍ニ砲岸ノ海ノ方面ヨリ人ト交通通商ヲ遮断スル目的ヲ
 以テ封鎖カ宣言カルルコトアリ之ヲ商業上ノ封鎖ト稱ス或ハ中立國

✓

商ノ自由ヲ害スルノ故ヲ以テ商業上ノ封鎖ヲ禁ムヘシト論スル者ア
 ルモハホールル國際法ニ三三節参照一現実ノ國際法上禁マラレサレ所
 ナリ

判例ナル制度認メラレテ故ニ高不宣言ヲ行フモ實ヲ其ハナル所
 前紙面封鎖行ハレテ時ニ封鎖ナル戦争行為ヲ認ムルノ趣意ヲ及却セ
 シメクテ第一及第二ノ武装中立同盟ハ封鎖カ實カテ以テ維持セラレ
 サルヘカラサルヲ主張シ英國ニ対抗セリ斯クテ一ニ新機カ東カテ
 維持セラレサルヘカワナルト断ク然ラレハ一八五六年ノ巴黎宣言
 ニ之ヲ明高シヘ第四期ニ倫敦宣言モ亦之ヲ確認セリヘニ

封鎖ハ船舶ノ封鎖ナレバ地帯ニ出入スルヲ認テ防遏ハレモノア
 ルモ或ハ入港ノミヲ防遏シラレ例ナキニアラスグリニ、戦争ノ際一
 ハ中立軍艦國ニ對シ英領海ノ同盟諸國ハタニユウ可ノ許可ヲ封
 鎖ナルモ軍ニ入港ノミヲ防遏シタリ是レ敵國カ海ヨリ侵略ヲ受ケル
 フ妨ケルヲ目的トセルヲ以テナリ又封鎖ニ於テ一般ノ船舶ノ出入ヲ
 防遏スルニテ特殊ノ貨物ヲ積ミタル船舶ニ限リセク出入ヲ禁スルニ
 三二九

トアキーハ、六年英國ハ、イストランドヨリエルベ河口ニ至ル迄一帯、北海沿岸ノ封鎖セルモ、當時禁制品、販賣スル英國産出ノ貨物ヲ輸送スル船舶ノ外ハ、封鎖ノ権利ヲ害スル行為ヲキ以上ハ、セリ出ハラ禁マナリキ一八五四年ノ英仏兩國ノ割ニ、エニ、エ、河口ノ封鎖ハ、露國軍ニ対スル食料品ノ輸送ノミヲ禁シ一八八八年ヨリ一八八九年ニ亘リ其時兩國ノ互利和ノカニシハ、ルニ行ヒタル封鎖ニハ、軍需品ノ輸入及収款ノ輸出ノミヲ禁シタリ、斯ノ如キ変例ナキニアラサルモ、有取ナル封鎖アレハ、船舶ニヨリ海ノ方面ヨリスル熱帯ノ交通ヲ遮断スルヲ得、ク船舶ニ依ラサル交通ニ至リテ、海ノ方面ヨリスル交通ハ、海上ニ至リ、郵便信卷、海底電線及無線電信ニ依ル交通ハ、セリ所通スル手段ヲ断リ得ヘト認メラル

或ハ封鎖ヲ以テ沿岸ノ白領又ハ紅版ナリト爲シ、之ニ依リ封鎖ノ中立國船ニ攻撃ナクホメテ得ルコトヲ説明セシト、然レモ、アリ然レトセ封鎖ハ、沿岸ノ占領ニモアラズ、紅版ニモアラズ、自ラ一種ノ戰爭行為ナリ、其中立國船ニ攻撃ヲ及ボスハ、同國艦隊カ、海岸ノ自由及中立商業ノ手段ヲ断リ得ヘト認メラル

第二 封鎖ノ施行

自由ノ系連スル吉初ヨリ封鎖ナル戰爭行為、茲ノ初ヨリセリ、以上述ノ自由ニ対スル制限トシテ認メタルカ爲メ、之ヲ他ノ法理ヲ依リテ説明ヲ試ハレ、ト要セラルナリ

(一) 封鎖ヲ行ヒ得ヘキ地域

封鎖ハ、敵寇ノミナラス、敵地ノ沿岸一帯ニ対シテ之ヲ行フヲ得、而シテ、敵カ防壁ヲ施シタル沿岸ト否トヲ區別スルヲ要ス、又南北戰争ノ際、露國政府亦、軍ハ二千五百海里ニ至ル南部諸洲ノ沿岸ヲ封鎖マシ、又敵國ノ領土ヲラサルモ、敵軍ノ占領セル港及沿岸ニ対シテ之ヲ行ヒ得、善ム敵軍ノ保固艦隊ハ、特ニ、占領ニ歸セルルハ、國領ニノ一部タルル、アン、テイ、エ、ロ、バ、フ、エ、リ、ン、ヲ封鎖セリ、然レトモ、敵國領土又ハ占領地以外ノ地域ノ甚クハ、沿岸ヲ封鎖スルコトヲ得、不倫、敵宣言モ、之ノ點ヲ明ニス、(一) 又敵國ノ領土トシテ、自國軍ノ既ニ占領セル土地ノ沿岸ハ、又テ封鎖スルコトヲ得

三三二
ナレトス。トス。國際河川ノ締結ノ南洋回リ。又或國々ナレバ。場合ニ
國際河川ノ河口ヲ封鎖シ得ルヤ否ニテ。テ。該河アリ公海又ハ
中立領海ヲ結合スル所。ハ封鎖ニ依リ。合フ封鎖シ得ルコトハ
疑フ。容レズ。縱令。向岸ノ領域ニ。ルトキト。雖モ。然リトス。定年ノ。點ニ
テ。テ。輪流宣言ハ。封鎖。艦隊。力。中。土。底。及。中。止。恐。岸。ニ。停。對。ス。ル。コト
ヲ。遮。斷。ス。ル。ヲ。得。ス。ト。ノ。規。定。ヲ。置。ケ。リ。ハ。一。八。一。但。シ。國。際。河。川。又。ハ
公海。若。ハ。中。立。領。海。ヲ。結。合。ス。ル。海。域。ノ。沿。岸。ノ。派。遣。ヲ。封。鎖。ス。ル。コト
ヲ。妨。シ。ケ。ル。ナ。リ。

(三) 交戦國ノ权限アル。機關ニ。依。ル。封。鎖。ノ。施。行
封鎖ノ施行ハ。國家行為ナルヲ以テ。交戦國ノ。权限アル。機關。ナ。ラ。ズ。之ニ
便宜ス。ハ。ヤ。ハ。言。フ。所。ナ。ク。又。而。シ。テ。封。鎖。ノ。施。行。ハ。實。行。力。有。ル。ニ。中
立國ノ。通商。ニ。大。礙。ヲ。及。ボ。ス。ヲ。以。テ。殊。ニ。之。ク。施。行。ヲ。許。ス。ル。ニ。ハ
キ。ナ。リ。倫。敦。宣。言。ハ。封。鎖。ノ。宣。言。ハ。封。鎖。ヲ。施。行。ス。ル。國。又。ハ。其。名。ニ。於
テ。行。動。ス。ル。海。軍。官。定。セ。テ。為。ス。ヘ。シ。ト。ス。ハ。九。第。一。項。交。戦。國。ハ。艦
隊。又。ハ。領。艦。ノ。指。揮。官。ノ。特。定。ノ。艦。又。ハ。沿。岸。ニ。封。鎖。ヲ。施。行。ス。ル。ノ。权

通知(大陸)
要(英米)

能。テ。与。テ。ル。コト。ヲ。得。ヘ。ソ。又。ハ。二。版。的。一。封。鎖。施。行。ノ。权限。ヲ。与。テ。ル
コト。ヲ。得。ヘ。シ。艦。隊。ノ。最高。指。揮。官。ハ。其。必。要。ト。認。ム。ル。場。合。ニ。封。鎖。ヲ
施。行。ス。ル。ノ。权限。ヲ。有。ス。ト。推。定。ス。ル。但。シ。封。鎖。施。行。後。政。府。力。マ。テ。是
認。セ。サ。レ。ト。キ。ハ。其。封。鎖。ハ。有。效。ナ。ラ。ズ。
(三) 封鎖ノ宣言及告知
封鎖ノ施行ニ付キ。告知力。必要ナルニ。ト。ハ。大陸。學。者。ノ。多。ク。主張。ス
ル。所。ナ。リ。英。米。ノ。學。者。ハ。封。鎖。侵。破。ノ。行為。ノ。成。立。ニ。ハ。告知。又。ハ。其。ノ
他。ノ。方法。ニ。依。ル。封。鎖。ノ。有。効。ノ。知。識。ヲ。必。要。ト。ス。ル。モ。彼。レ。テ。封。鎖。ノ
施行ニ。告知。ヲ。要。ス。ル。コト。ヲ。認。メ。ス。大陸。學。者。同。ニ。於。テ。モ。如何。ナル
種類。ノ。告知。力。封。鎖。施。行。ノ。為。メ。必。要。ナル。カ。ニ。テ。意。見。ノ。一。致。ヲ
有。セ。ズ。或。ハ。一。版。的。告知。ノ。告知。力。及。ヒ。地方。的。告知。ノ。三。行。行
ハ。ル。ル。ヲ。必。要。ト。シ。或。ハ。一。版。的。告知。及。各。別。告知。ヲ。必。要。ト。シ。或。ハ。一。版
的。告知。ヲ。為。ス。ハ。望。マ。シ。キ。モ。封。鎖。ノ。施行。ニ。ハ。各。別。告知。ノ。ミ。テ。必。要。ナ
リ。ト。ス。決。然。ニ。於。テ。之。ヲ。見。ル。ニ。封。鎖。ヲ。施。行。ス。ル。ニ。際。シ。海。軍。指。揮。官
ハ。封。鎖。ノ。宣。言。ヲ。為。シ。封。鎖。地。域。ノ。地方。官。吏。及。外國。領。事。ニ。告知。ヲ。為

三二四
シテ封鎖ヲ施行スル國ノ政府ハ外交手段ニ依リ一級ニ中立海國
ニ告知ヲ爲シテ例トスルニテハ伊等ノ政府大陸ノ或國ハ常ニ外
邦ヨリ封鎖地或ニ此等ノ中立船ニ封鎖ノ施行ヲ各別的一告知マ
シム或國又英米ノ如クハ封鎖施行ノ爲ニハ必シテ告知ヲ必要ト
ス海ヨリスル接對カ遠隔ナレバ中立船舶ノ出入口現ニ防遏セリ
ルノ事實カ封鎖ノ存在ヲ知ラシムルニ充分アリトシ外交手段
ニ依リ一級告知ヲ行ハサル場合ニ船長ニシテ封鎖ノ存在ヲ覺
知リ得ナレトヤハ封鎖破トシテ船舶ヲ拿捕スルトス我國及
英米ニ於テハ一級告知ヲ經ケル所請事實上ノ封鎖 (*de facto*)
Blockade) ヲ認め倫敦宣言ハ封鎖ノ相殺ニ施行セラルル爲
ニハ封鎖ノ宣言ヲ告知ヲ爲サレハカラストシヘハハ封鎖ノ宣
言ハ封鎖ヲ施行スル國又ハ其ノ名ニ於テ行動スル海軍官憲ニ
爲スヘク宣言中ニ(一)封鎖開始ノ時日(二)封鎖地域ノ地理
上ノ限界(三)封鎖施行ノ條封鎖地域ニ在ル中立船舶ニ許容
スヘキ運送ノ荷手期間ヲ記載スヘシトス(九)而シテ(一)及

(二)ニ于テ宣言中ニ記載セル所ニ準據セザルトハハ宣言ハ無
效ニシテ後ヲ封鎖ヲ有效ナラシムル爲ニ新ニ宣言ヲ爲スヲ要ス
トス(一)封鎖ノ宣言ハ中立國ノ政府及封鎖地或ニ地方
官憲ニ告知スヘキモノトス(一)中立國政府ニ對スル告知即
チ一級告知又ハ外交上ノ告知ハ封鎖ヲ行フ交戰國一級國又ハ中立國代
表者ヘ大使又ハ公使)ニ宛テタル公信ヲ以テ之ヲ爲スヘク又地
方官憲ニ對スル告知即チ地方官憲知ハ封鎖地或ニ海軍官カニ行
フハ地方官憲ハ告知ヲ受ケルハ必シテ之ニ對シテ封鎖地或ニ爲テ
其職ヲ行フ所ノ外國領事ニシテ通知スヘキモノトス(一)一
一級告知即チ外交上ノ告知ハ中立國政府ヲシテ其國籍ヲ有スル
船舶ニ封鎖ノ施行ヲ知ラシムル爲ニ之ヲ行フ地方官憲知ハ封鎖
地域ニ在ル中立船舶ヲシテ封鎖施行ノ事實ヲ知ラシメ封鎖宣言
ニ記マレ運送期間内ニ封鎖地ヲ去ルヲ得ヤレムル爲ニ之ヲ行フ
倫敦宣言ハ封鎖ノ有效ニ成立スル爲ニ宣言及告知ヲ必要ト爲シ

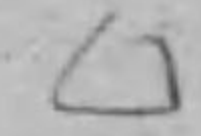
三三五

ルヲ必要ナル告知ハ一紙告知及地方の告知ニシテ各別告知ハ之
ニ入ラス各別告知ハ現場ニ於テ封鎖後破ノ行為、成立スル為
ニ必要ナルニトイルノミ

封鎖ノ通告及告知ニ于テ上述ノ規則ハ封鎖地域ヲ拡張スル場
合又ハ一旦封鎖ノ解除アリタル後更ニ之ヲ施行スル場合ニ適用
セラルハ一ニ

(四) 封鎖ノ実効

封鎖ハ実効ヲ具ヘザルヘカテラサレト第一及第二ノ武装中立同
盟ノ主張マレテアリシカト先述ノ初頭ニ於テモ確實実効ノ具ハ
ラサル所請紙面封鎖行ハレタリ現今ニ於テハ封鎖ノ有效ナル為
ニハ船舶ヲ実効封鎖コレヲ現場ニ接収スルコトヲ防止スルニ
足ルヘキ充分ノ兵力ヲ以テ之ヲ維持スルヲ要スルコト吾々認メ
ラレハ五六年ノ巴里宣言ニ之ヲ認メテ第四則ハ命数宣言ニ不
明ニ及ラズメタリ、(一)然レトモ実効ニ於テ船舶ノ近ワクテ所
止スルニ足ル程度ノ兵力如何ニ依リテハ字義一致ニ入ル固主実



ノ字義ニ於テハ極メテ嚴格ニ解スルノ如キ程度ノ兵力ハ一七八
〇年ノ第一武裝中立同盟ノ宣言ノ趣意ノ如ク封鎖ノ現場ニ一列
ノ軍艦ヲ配置シ各軍艦ノ距離ヲ均等トシ且各軍艦ニ明白ニ命令
ヲ下シ且封鎖マラレバ危險ヲ冒スルヲ得ヘキ程度ヲ出シカレト
テニ於テ之ヲ封鎖ヲ有效トシムルニ足ル兵力ヲ存スルコト高ク
ニ認メテ斯ノ如キハ一方ニ於テ魚形水雷、浮筒水雷、潛航艇ノ存
スル今日ニ於テ封鎖艦隊ニ於テ危險甚ニク実行ニ難ク所ナレ
ト今時ニ他方ニ於テ速クノ大ナル巡洋艦ヲ存シ且無線電信ノ便
利ヲ有スル今日ニ於テ封鎖艦隊ノ封鎖ノ実効ヲ著アル為メニモ
要クランナル所ナリ。英米並長ニ於テハ必シモ軍艦ノ定置ヲ要ス
ル巡邏ヲ為ス軍艦ニ依ルニ尚マ封鎖マレタル場所ニ於テ船舶ノ
出入スルコトヲ危険ナラシムル程度ノ監視ヲ為ス封鎖艦隊トシ
トキハ封鎖ノ有效ニ必要ナル兵力ヲ具フコト為セリ而シテ夜間霧
霧若ハ列風ノ時又ハ其他ノ巴ムヲ得ザル軍艦ノ不在等ノ特別ナ
ル事情ナケレバ原則トシテ出入セントスル船舶ニ付シテ拿捕ス

ハ寧ろ免港ヲ感マシムヘキ程度ノ海軍力ヲ存スルトキハ依令
時ニ封鎖遂ニ成功スル商船アリトモ封鎖ノ有效ニ必要ナル実
力ヲ具ストルニ決ム実際ニ於テ多数ノ國ハ比、比ニテ英米主戦
ヲ謀ム

倫敦宣言ハ上述ノ如ク封鎖ノ有效ニ必要ナル実力
ニ于テ準備的ノ制限ヲ定ムルニトナシ封鎖ノ実力ヲ備ヘケリ
ヤリ、問題ハ市実上ノ問題ト為スヘキニ、ト定メ、(三)各場
合ニ於テ其ノ時ノ事情ニ依リ判断スレトト為レタリ是レ大体
ニ於テ英米主戦ノ思想ヲ表シタルト認ムヘキナリ
封鎖ニ於テ中スレ艦隊又ハ軍艦力封鎖マラルヘキ場所ヨリ若干ノ
距離ニ在ルヘキヤニ付テハ絶対的ノ制限ヲ存セズ準備ニ依リ産
距離ニ在ルニ差支ナキナリケリミヤ戰事ノ際露國リガ港ハ既港
ヨリ百二十哩離リタル地点ニ設ケル一軍艦ニ依リテ封鎖ナレ
バ是レリガ港ニハレ唯一ノ航路タル所ニ以テ航路ヲ閉スル一
途ナリトス

封鎖ノ実効ニ于テ封鎖艦隊ノ海上ニ砲台ヲ作リ其砲力ニ依

リ其實力ヲ補フヲ得、トコトハ昔ク認メラルルモ所謂石、封
鎖即チ若石又ハシラ積載ヤル船隻ヲ沈メテ閉塞ヲ行ヒ以テ実
際船隻ノ出入ヲ妨ケルニトハ浮説上ニ於テ誤リナリトス蓋シテ
水雷ニ依リテ艦隊ノ実力ヲ補フコト一付テニ議論アリ惟フニ封
鎖ノ攻取ノ一部ヲ為シ又ハ港灣内ノ敵ノ海軍力ニ対スル作戦動
作ヲ為ス等戦場上ノ封鎖ナルトキハ若石ノ設置及水雷敷設ハ之
ヲ行ヒ得ヘキナリ海軍ノ自動艦隊海底水雷ノ敷設ニ于テ係属的
カ、一單ニ商業上ノ航海ヲ遮断スルノ目的ヲ以テ敵ノ沿岸及港ノ
西面ニ自動艦隊海底水雷ヲ敷設スルヲ禁スルト為メハ商業上
ノ封鎖ノ施行及維持ノ為ニハ自動艦隊海底水雷ヲ使用スレテ得
ザルニトシテ定ムルモノト解スヘキナリ

(五) 実力ノ継続

封鎖ハ封鎖カレタル場所ニ母到セントスル船舶ニ危険ヲ与フル
ニ於ル程度ノ充分ナル実力ヲ具ヘタルニ至リタルトキハ当然終
止スルニ封鎖艦隊力敵ノ西ニ迫ラレ又ハ封鎖ニ干渉シキ或任務

ノ為ニ封鎖地政ヲ導レ又ハ封鎖艦隊ノ任意ニ封鎖地政ヲ撤退シ
 タルトキハ封鎖ハ終止スヘキコト明白ナリ其意ニ於テ封鎖艦隊
 ヲ天候等ノ為ニ一時其地征ヲ離レルニ封鎖ハ解除ナレタリト
 認ハヘカフナレト命喪宣言スホキヲ認メテリ(四) 改ニ天候
 險惡ノ際封鎖艦隊ノ在ニ来コフ封鎖艦ニ近ロカントムルモ封鎖
 艦隊ヲ引トス英米ノ皇君中封鎖艦隊ヲ近フ為ニ封鎖ニ從事ス
 九軍艦ヲ暫時其地征ヲ離レレモ封鎖ノ実力ハ備不能使スル者做
 スヘキトスルノ或ヲ為ス者多キニ倫喪宣言ハ此其ニ干シテ明告
 スル所ナレ此場合ハ実力ノ継続ヲ要メサレモノト解スルノ外
 ナ

(六) 封鎖ノ各國船舶ニ対スル公平

封鎖ハ各國船舶ニ対シテ公平ニセテ適用スルコトヲ要スルハ倫
 喪宣言ノ定ムル所ナリ(五) 特別ノ事由ニ基キ出入ヲ許容シ得
 ヘキ船舶以外ノ船舶ノ出入ヲ許容シテ各國船舶ニ対スル公平ヲ失
 フヘキハ封鎖ハ有效ト認メサレニ至レ但特別ノ船舶ニ対シテ特

別ノ事由ニ基キ出入ノ許可ヲ与フルモ船ノ国籍ニ依リテ區別ヲ
 設ケサレ以上ハ封鎖ノ有義ナレトモトモ各々倫喪宣言ハ海陸ニ
 遺レル中立船舶ニ付テ封鎖艦隊ニ届スル旨意ヲ此事実ヲ認定ス
 ルトキハ封鎖地政ニ輸入シ出シ載荷ノ卸下又ハ積積ヲ為リサ
 ルノ条件ヲ以テ更ニ出航ニシトテ得ト為ス(七) 倫喪宣言ハ
 又封鎖艦隊ノ指揮力中立回ノ保護ニ対シテ封鎖艦隊ニ輸入シ
 且更ニ出航スルノ許可ヲ与フルヲ得ト為ス(八) 但封鎖艦隊
 ハ中立回船艦ヲ其封鎖地政ニ輸入ルヲ禁止スルヲ得トク又一二
 ノ軍艦ニ輸入ノ許可ヲ与フルマタ又人ニ運テノ軍艦ニ許可ヲ与
 フルヲ要マサルナリ

第三 封鎖ノ侵蝕

封鎖侵蝕ノ行爲ハ國際法上ノ違法行爲ニテラ又軍ニ國際法上文獻
 國カ所違スルコトヲ許サル所ノ行爲ニ外ナラス又戰回ノ回以テ
 三リ見レハ封鎖侵蝕ノ行爲ハ一ノ犯罪ニ近似スルモ國際法上三リ

見しハ封鎖便取ノ行爲ヲ行ハ個人ハ國際法上ノ裁判義務ノ主体ニ
ルニノニアラザルヲ以テ封鎖便取ノ行爲カ國際法上違法ナルコト
有り得ルナリ

封鎖便取ノ行爲トハ封鎖ノ存在ニ拘ラス封鎖地域内ニ入り又ハ
之ヨリ出テントスレ行爲ニシテ其成立スル爲ノ第一ノ要件ハ封鎖
カ有效ニ成立セルコトナリ

封鎖便取ノ行爲ノ成立スル爲ノ第二ノ要件ハ封鎖地域ニ入り又
ハ之ヨリ出テントスレ者リ封鎖ノ存在ヲ知レリト認定シ若クハ知
ラザルハカラスト認定スハナリ事情アルコトナリ是レ封鎖便取ノ行
爲ハ之戰國ノ國収ニヨリ見レハ犯罪ニ近似スルモノナルヲ以テ其
成立ニハ故意アルヲ要スレハナリ公國主權ノ保護ニ於テハ出港ニ
依リ封鎖ノ場合ニハ船舶ニ各別ニ封鎖ノ存在ヲ告知スルヲ要スレ
ルニ入港ニ依リ封鎖ノ場合ニ外部ヨリ封鎖ニ近づく各船舶ハ一
旦封鎖艦隊ニ依リ封鎖ノ存在ニ干スル各別ノ告知ヲ受ケタル後ニ
封鎖線ノ通過ヲ試ムルニアラザレハ封鎖便取トシテ拿捕シ得スト

為マトモ我國及英米ノ主義ニ於テハ必ズシモ各別告知ヲ必要トヤ
ス封鎖便取ノ成立スルニハ所謂封鎖ノ現実告知 (Actual
notice) 又ハ認定告知 (Constructive notice) ヲ要ス

ルコトヲ以テ足レリトス而シテ其所謂現実告知ハ船長ハ其戰國軍
艦ヨリ直接ニ警告ヲ受ケ又ハ公船ハ通信其他何等ノ方法ニ依リシ
テ聞ハス封鎖ノ存在ヲ知レシコト明レル場合ニハ之ヲ受テタル
モノトシ(我國海軍規程ニ五) 其所謂認定告知ハ其ノ二ノ場合ニ
於テハ之ヲ受ケタルモノトス

(一) 封鎖成立ノ通知ニシテ船舶所屬國ノ相當官憲ニ送達セラレ
四該官憲ヨリ自國臣民ニ於テ之ヲ告知スルニ定メテ之ノ期間ヲ經過シ
タルニヨリ現ニ其告達アリタルト於テハ聞ハス船長ニ於テ封鎖ノ
告知ヲ受テタルモノト認定スヘキ場合(二) 封鎖ノ事實一報ニ
察取マラレタルニ依リ船長ニ於テ封鎖ノ告知ヲ受テタルモノト認
定スヘキ場合是ナリ(海上規程ニ六)

三十四
推定上封鎖ノ旨ヲ知レルニトテ要スヘク爲スヘク一四一ノ旨ニ依リテ
シテ或國及英米ノ主義ニ依レルモノト認ムルコトヲ得ルシテ而シテ
船舶ニレテ最後ノ出帆港ノ所屬國ニ於テ封鎖ノ一報告知即チ外
文上ノ告知アリタル後期ヲ過ラシテ出帆シタル場合ニハ封鎖
ノ事實ヲ知リタルモノト推定スルモノト推定ニ付シテハ反証ヲ示
ルコトヲ許スヘク一四一ノ論旨宣示ノ推定上封鎖ノ事實ヲ知レルト爲
人場合ト或國及英米ノ主義ニ依ケル認定告知ノ場合トテ比較スレ
ニ認定告知ニハ反証ヲ許サズ又認定告知ハ船舶ノ属心ノ出帆港所
屬國ニ付スル一報告知ヲ認定ノ根據ト爲サズシテ船舶所屬國ニ付
スル一報告知ヲシテ根據ト爲スルニ於テ論旨宣示ノ推定上封鎖ノ
旨実ヲ知シリト爲ス場合ト異ナリトス而シテ論旨宣示ノ封鎖艦隊
ニ依リテ各船舶ニ付ヘラレル各別告知ヲ必要ト爲セシムル入港ニ依
ル封鎖侵襲ノ場合ニ於テ封鎖地域ニ近ワク船舶ノ封鎖ノ存在ヲ知
ラズ又知リタルモノト推定スルヲ得ル場合ニ限ルヘク一四一各別
告知ヲ得ニタル場合ニ付マテ爲ニタル日及時至ニ當時ニ於ケル該船

船ノ地理上ノ位置ヲ明ニ定報書類ニ記入スルヲ要ス、(公海)而
シテ出港ニ由ル封鎖侵襲ノ場合ニ於テハ封鎖艦隊指揮官ノ同意ニ
依リ未ダ封鎖ノ宣言ヲ地方官處ニ告知セサル場合又ハ告知ヲ爲ス
ニ告知セシ宣言中ニ退出ノ稱ヲ期間ヲ規定セサル場合ニハ封鎖艦
ヲ出港セントスル中在船船舶ハ出港セシムルコトヲ要スト爲ス
(四回條)

封鎖侵襲ノ行爲ノ成立スル所ニハ船舶カ封鎖艦隊ノ監視
ヲ受シテ封鎖地域ニ入り若クハ入ラントシ又ハ出テ若クハ出テ
ントスルコトナリ或ハ強ク又ハ奇計ヲ用ヒテ封鎖艦ヲ通過スルニ
テラサレハ封鎖侵襲トナラヌト爲ヤル學說アルモ封鎖艦隊ノ監視
アルニ依リテ封鎖侵襲トナラヌト爲ヤル學說アルモ封鎖艦隊ノ監視
レヨリ出テ若クハ出テントスルトハ封鎖侵襲ト云ハサルヘカフ
人
封鎖侵襲ハ封鎖艦隊ノ監視ヲ侵スルヲ指シタル場合ニ
封鎖艦カレタル港ノ一方ノ入口ノミニ監視ノ実カテ存スル場合ニ
三四五

三四大
ハ他方ノ監視ノ美カヲ存セサル入口ヨリ該港ニハルモ封鎖後破ニ
下ラヌ

我國ノ捕獲規程ハ主トシテ英米三國ノ採用セルカ入港ニ依ル候
波ノ場合ニ於テ封鎖ノ規定又ハ認定ノ告知ヲ受ケタル船舶ニシテ
封鎖線ヲ通過シテ其区域ニ侵入シ又ハ渡入セシトシタル者又ハ
封鎖港ヲ到達港トシテ航行スル者ノミテラヌ封鎖区域外ニ在リテ
其處更テ他ノ船舶ニ轉載シテ封鎖線ヲ通過セシメ又テ封鎖区域
ニ輪返シ又ハ輸送セント企テタル者モ封鎖後破ト爲レヘニル等
等ノ又出港ニ依ル封鎖後破ノ場合ニ於テモ船舶ニシテ封鎖区域
外ニ出シ又ハ航出マシト企テタル者ノミテラヌ封鎖区域外ニ在リテ
出被ニ依ル封鎖後破ヲ爲シタル船舶ヨリ領物ヲ轉載シ又ハ転載セ
ント企テシル者ヲモ封鎖後破ト爲スヲ定ムヘニル等ノ倫救並
モハ此點ニ于テ明文ヲ設ケヌ

入港ニ依ル封鎖後破ノ場合ニ于テ在米天候後惡、食料品ノ又又
又ハ船舶修理ノ必要等ノ絶對的ノ必要アリテ封鎖港ニハルヲ封鎖

後破ト認メサルコト云フ行ハレタリヘ不ランド捕獲區域一ハ
八八年三八頁)然レトモ英國ノ慣例ニ依レハ、(イ)船長ノ認許、
(ロ)海岸ノ不潔又ハ(ハ)羅針盤ノ紛失(ニ)入港ノ目的ノ通商
交通ニ于テ軍ニ水先人ヲ得又ハ(絶對的ノ必要アリシテ)食
料品ヲ得ントスルニ在ルコト又ハ(ホ)封鎖カ解除サレタリ又否マラ
推カントスルニトモ入港ラシテ封鎖後破タラシムルニ定
ラヌ而シテ封鎖線ノ附近ヲ徘徊スル船舶ハ入港ヲ企圖スル者ト認
定サルヘキナリ

倫敦宣言ハ船舶ノ封鎖港ニハルヲ許サレ原則ニ例外ヲ置クノ必
要ヲ認メテ海難ノ場合ニ于テ封鎖艦隊ニ居スル官憲ニ於テ海難
ニ遭遇セルコトヲ認定セル場合ニハ中立船舶ハ封鎖地域ニ航入
スルヲ認ム(七)所謂海難トハ例ハ食料品ノ缺乏、飲料水ノ缺乏
船舶ノ即時修理ノ必要等ノ場合ヲ含ム封鎖艦隊ニ居スル官憲ノ認
定ヲ要スルモ一旦海難ニ遭遇セルコトヲ認定セハ航入ヲ許ササル
ヲ得ヌ但封鎖艦隊ハ必要ナル救助ヲ予ヘテ以テ入航ヲ禁スルヲ得

ハキナリ
 出航ニ依ル封鎖使被ノ場合ニ于テ封鎖施行ノ際封鎖地境内ニ
 在リタル船舶ハ何れ封鎖ニ於テハ封鎖施行前封鎖地境内ニ於テ港
 載ニタル戦貨ヲ搭載シテ出航スルモ封鎖使被トナラス但封鎖施行
 後新ニ戦貨ヲ搭載スルヲ許カスルヲ新ニ戦貨ヲ搭載シテ出航スル
 後新ニ戦貨ヲ搭載使被ト為スハ我國捕獲規程ニハ第三章第四号ノ以
 國主長ニ於テハ獨子期有ハ普通ニ適用ナルトキハ新ニ戦貨ヲ
 搭載シテ出航スルモ封鎖使被ト為サス又倫義宣言ハ封鎖施行ノ際
 出航ノ期子期有ヲテハキナリ同接ニ定ムルモ英米主長
 ノ如ク封鎖施行後戦貨ヲ搭載スルニトテ殊スルノ規定ヲ置カス
 倫義宣言ハ又封鎖地境指確官ノ怠慢ニ依リ未タ封鎖ノ宣言ヲ地
 方官憲ニ告知セタル場合又ハ告知シタル宣言中ニ返去期有ヲ規定
 セタル場合ニ於テハ封鎖地境ヲ出港セントスル中立船舶ハ之ヲ出港
 セシムルコトヲ要ストナスハ一六号ニ項一ノ封鎖地境ノ許可ヲ得テ
 又ハ他封ノ必要ニ因リ入港セル船舶ハ更ニ出港ヲ許サレルヲ席ト

セルカ倫義宣言ハ海難ニ依リ封鎖地境内ニ入港ヲ許サレル中立
 船舶ノ戦貨ノ却下又ハ積載ヲ為サレルノ条件ヲ以テ更ニ出航スル
 ヲ得ハキナリ又ハ七一號ノ如キ条件ヲ設ケルハ海難ヲ口突トシテ
 商業上ノ利益ヲ得ント或ハルコトヲ防クカ為メナリ
 以上ノ場合ノ外封鎖施行ノ事矣ヲ知ラスニテ入航セル船舶又ハ
 中立國ノ海難ニ遭遇セル船舶ヲ封鎖地境ヨリ本国ニ送還スル為メ專
 ラ中立國ノ外交官ノ任用スル船舶等ニ于テ出航ヲ許シタル例アル
 又倫義宣言ニ於テ是等ノ詳細ノ点ノ規定ヲ欠ケリ
 再封鎖使被ノ行為ノ成立スル為ノ第四ノ要件ハ倫義宣言ノ定ムル
 所ニ依レハ船舶力封鎖サレタル地域ニ入ラントシ又ハ出ヨリ出テ
 ニトシテ封鎖地境ノ行商区域 (Rayon d'activité) 内ニ入リ
 タルコトナリ左末ノ我國及英米ノ主長ニ依レハ再封鎖使被ニ依リ封
 鎖地境ノ通過ニ重キヲ置カスニテ禁止サレタル場所トノ交通ヲ為ス
 處ニ重キヲ置クヲ以テ所謂予防取ル處限取トテ認ムルニ至ル英米
 主長ニ於テハ入港ニ依リ封鎖使被ニハ封鎖地境ノ監視取ヲ現ニ通

三三〇
 此ノ又、通過セント國レ場合ノニテハ、封鎖港ヲ突テ到達港ト
 ニテ出帆シ荷モ禁止カレシル場所トノ大ニ通テ爲メ、企圖ニ着手ス
 ルトキハ直ニ之ヲ封鎖便改ト爲シ封鎖艦隊ニ聲ヨリ軍艦ニヨリ
 之ヲ拿捕シ得ヘント爲セリ是レ所謂予所収ノ *Practise de guerre*
 (War) ナリ但船長ニ於テ封鎖ノ解除ヲ條件セントシ其解除ヲヤ
 トキハ到達地ヲ変更スルノ意思ヲ以テ封鎖港ヲ到達地トシ非常ニ
 遠隔レ地ヲ航シニケル船舶ニシテ荷惣スヘキ市田アリト認ムハ
 ナトキハ封鎖便改トシテ拿捕シ得ルノ限ニ在ラス(我國捕獲規程
 第二十九條第四号及第三十條第二号)又英米主義ニ依レハ出帆ニ
 依レ封鎖便改ニハ封鎖艦隊ノ監視眼ヲ脱出ニテ後モ船舶ノ到達港
 ニ達スレ航海ヲ終ルマテハ便改ノ行爲引能キ封鎖ノ有效ニ存続ス
 ル以上ハ英航海中何時ニテモ封鎖艦隊ニ届ケサル便改ニ依リテモ
 拿捕シ得ト爲ス上テ英米ノ道義又 *Abuse of right* 入港ニ依レ封鎖
 便改ニ出帆ニ依レ封鎖便改モ又ニ理ニ封鎖便改ヲ通過シ又ハ通過ス
 得スト爲レタリ

然ルニ倫義宣言ハ英米主義ト英國主義トノ折衷ヲ試シ封鎖艦隊
 ノ行動区域ニテラカレハ封鎖便改トシテ拿捕スルヲ得スト規定
 ヲリ(一七)所謂封鎖艦隊ノ行動区域ハ市境上ノ問題ニシテ各
 國ノ特別ノ事情ヲ考ヘテ判断セラルヘカフナルモ倫義宣言ノ第一
 條及委員ヨリ成レル委員會ニ於テ所謂行動区域ノ解散ニ付キ又ノ
 諸點ハ確シラレタリ

(一) 行動区域ハ封鎖ヲ有效ニ維持スル爲メ地勢ニ依ヒ定ムル所
 ノ封鎖艦隊ノ監視区域、全体ヲ指ス英言ハ *one person* 海軍官
 ノ命令ノ下ニ立テ封鎖便改ヲ監視スル所ノ艦隊ノ監視ノ決メ
 ノ及フ区域ノ全体ヲ指ス

(二) 行動区域ハ封鎖ノ奥數アルコトニ依テ、干渉アリ而シテ
 又軍艦ノ表トモ終極ノ干渉アリ

(3) 行動区域ハ事情ニ由リ又封鎖ノ重軽ノ表ニ依リテ區分一

ナラス、但シ常ニ実効アルコトノ条件ニ依リテ制限マラル

(4) 行動区域ノ制限ヲ一定不勤ノ表ニ依リテ定ムルコト能ハ

カルハ何木等ノ總ラノ封鎖ノ有效ヲ確ムル爲ニ必要ナル噸艦

ノ數ヲ一定スル能ハカレカ知レ

(5) 行動区域ハ其範圍ニ亘ルコトアリ得ヘシ然レトモ封鎖

ノ実効アルコトニ拘カスヘキ噸艦ノ數ニ依リテ左右マラレ又

実効ノ条件ニ依リテ制限マラルコト以テ航海中封鎖ニ變更ノ

由スヘキヲ計リテ侵襲ノ意思ヲ有シテ封鎖艦ニ向テ航行スル

船舶ノ在リ得ルカ如キ處キ海ニ及ハス

船舶カ封鎖艦隊ノ行動区域内ニ入ルモ封鎖艦ニ入り又ハ封鎖艦ヨ

リ出テントスルモノニアラカレハ封鎖艦隊トシテ拿捕シ得テルハ

テラ得タス

餘義迄ハ原則トシテ封鎖艦隊ノ行動区域内ニ封鎖艦隊ノ船舶

ノ拿捕ヲ限レルカ例外トシテ艦長ノ追及被テ被テ封鎖艦隊ノ監視

ヲ受テ得タス

テ從ニテ封鎖艦隊ヲ出港セシトシ又ハ封鎖艦ニ航入セント企ツル船

船ハ封鎖艦隊ニ屬スル噸艦カ之ヲ察見シテ其追及ヲ能クスル限ハ

縱令行動区域外ニ出ワルモ之ヲ拿捕スルヲ得ト爲セリ但シ追及

ヲ止メタル場合及封鎖ヲ解除シタル場合ニハ之ヲ拿捕ヲ行ハコト

ヲ得スト爲スヘシ

入港ニ依リテ封鎖艦隊ノ場合ニ封鎖艦以外ノ艦ヲ以テ表裏ノ封鎖

艦トスルニ實際上述ニ封鎖艦ニ入ラントスルモノナレトモハ其數

被取ヲ以テ論ハキハ被取艦トシテ一或回捕獲規程ニ九章ニ由リ各

船舶ハ南北戰爭ノ際船舶ハ封鎖艦以外ノ艦ヲ實際ノ封鎖艦トシテ

航行スルモ其噸貨カ別船ニ依リテ封鎖艦ニ行クハヤミノールトキ

ハ初ノ封鎖艦以外ノ艦ニ向テ航海スルコト封鎖艦隊トシテハ

ハルムトシテ封鎖艦以外ノ艦ニ向テ航行スルコトハ

カ事情ヲ知ラサレトキハ船舶ハ其噸貨カ上ニ及リ知事官ハ之

ヲ受取セリハスプリングボックヲ以テトスルコトカ事情一巡レ運

送艦隊主長ノ封鎖ニ適用セルモノナリ

三五

三五

論敵軍若ハ封鎖ニ付テ運送輸送主長若クハ運送輸送主長ヲ認メ入
改ニ船舶ニシテ現ニ封鎖セラレサルモ向テ航行スル場合ニ於テ
ハ其船舶又ハ其載貨ノ最後ノ仕向地ノ如何ニ拘ラズ封鎖船トシテ
之ヲ拿捕スルニ充分ノ理由ナキモノトス(一九)

第四 封鎖侵破ノ結果

封鎖侵破ハ現行中(*in bello*)ニ於テノミテテ拿捕スルキモ
ノナルコト一被ニ認メラレモ所謂現行ノ時期ノ長短ニ付テテ
論アリ英米主長ニ於テハ侵破ノ現行ハ封鎖港ニ向テ出航スル時ニ
始マリ封鎖港ヲ出テテ最初ノ出航港ニ達スル迄陸路スルモノト有
概ナル公國主長ニ於テハ封鎖ノ現行ハ封鎖港ヲ通過シ又ハ通過シ
ニトテナルトキニ限リテ存ストル而シテ封鎖侵破ヲ行ヘル船舶
ノ拿捕ニ付テ侵破ノ追復権ヲ認ムルノ論敵軍若ハ此莫キ付テ
封鎖侵破ノ行爲ニ拘限ニ在ル間ノ侵破ノ現行力存スルヲ認メ又
侵破ヲ行ヘル船舶ノ拿捕ニ付テテ單ニ侵破ノ追復権ヲ認メタルノ

三(一七、二〇)

封鎖侵破ノ制裁ニ付テ公國主長ニ於テハ侵破ノ船舶及其載貨ヲ
没収ス英米主長ニ於テハ封鎖侵破ノ船舶及所有者ノ情ヲ知ラザリ
コトヲ証明ニ得ザル載貨ヲ没収スハ或國捕獲規程四五ノ論敵軍
言ハ封鎖侵破ノ船舶及其載貨ヲ没収ストル爲シ唯積入ニシテ載貨
ヲ積込シタル當時ニ於テ其封鎖ヲ破ラントスル意思ヲ有スルコト
ヲ知ラス又知ルヲ得ザリニコトヲ証明スルトキハ没収ノ限ニ在ラ
ストル爲ス(二一)

封鎖侵破ノ船舶ノ船員ハ昔時之ヲ罪人視ニ又ハ俘虜ト爲セルコ
トナルモ今日ニ於テハ罪人又ハ俘虜トシテ取扱フヲ得ルコト唯註
人ト爲ス事ノ必要ニ因リテヲ却留スルヲ得ルノミ

第五 封鎖ノ終止

封鎖人及ニ此ナル諸場合ニ於テ終止ス
(二) 戰爭狀態ノ止ミヌルトキ

或ハ滿和条約ニ依リ或ハ文獻田ノ一方ノ保全ニ依リ戰爭状態ヲ
終止スルトキハ戰爭状態ニ於テノミ存スルヲ得ヘキ所續ニ不終
止スヘキモノトス

(三) 封鎖艦隊ニ依ル封鎖ノ解除ノトキ

此場合ニハ封鎖ノ終止ヲ中立ノ地位ニ在リ滿海上田ニ告知スル
ニト例アリコト倫義宜言ハ此場合ニ封鎖決定ノ條ノ如ク總テノ
中立國政府及封鎖區域ノ地方官憲ニ告知ヲ為スコトヲ以テ封鎖
ヲ施行スル國ノ長各ト為入封鎖ノ範圍ヲ漸クスル場合ニ於テモ
然リトス

(三) 封鎖ノ失敗ノ終止スルトキ

更ニ(イ) (ロ) (ハ) ノ三ノ場合ニ分テテ後ヲヘシ

(イ) 封鎖艦隊ノ敵ニ依リ封鎖地域ヲ追ハレルトキ

此場合ニハ封鎖艦隊ノ再々封鎖地域ニ歸ルノ意思ノレト否ト
ニ干マズ封鎖ハ当然終止ス

若シ封鎖艦隊ノ歸リテ再々封鎖ヲ行フトキハ新アル封鎖ヲ生

スルモノニシテ其有效ナル為ニハ新アル封鎖ノ宣言及告知ヲ
要スルアリ(宣言一)

(ロ) 封鎖艦隊ノ封鎖ト干係ナキ任務ノ為メ封鎖地域ヲ為ルルト
キ

例ハ南北戦争ノ際一八六一一年合衆國政府軍ノ「イマカ」号ヲ
チヤールレストンヲ封鎖セルノ任務ノ為メ封鎖地域ヲ為レ
五日ヲ距テ「ミネソタ」号ヲ封鎖ノ地位ニ就キシニ封鎖ハ有效ナ
ラストセラレタリ

(ハ) 封鎖艦隊ノ封鎖ニ干係スレ在否ノ為メ一時封鎖地域ヲ為レ
タルトキ

例ハ、便便船ヲ追ヒテ封鎖地域ヲ越レタレトキノ如シ此場合
ニ於テ封鎖ハ無効ノ故ヲ失ハサルマ否マニ付テ議論アリ在
不英國主權ノ條ニ於テハ封鎖ノ效力ヲ失ハサルヲ認ムハ英國
捕獲規程ニ一節ニ項ノ倫義宜言ノ本文ニハ明言ナキモ宣言ニ
ハ天候險惡ノ場合ハ宣言四一以外ニ於テハ不可成リヲ認ム

二五八
シテハハノ場合ノ如クモ封鎖ハ效力ヲ失フト認ムル事ハ

下ニノ如ク
(四) 封鎖艦隊ノ封鎖ノ各回船船ニ付スレバ乎ノ要件ニ及スルニ至

ルトキ
將ニ出入ヲ許シ得、キ船舶以外ノ船舶ノ出入ヲ許シ各回船船ニ
許スル公平ヲ以テ之ニ至ルトキハ封鎖ハ效力ヲ失ハレモソト看做
ナル例ハ引例ノ封鎖ノトキ英國ハ露國船ノ封鎖港ヨリ貨物ヲ輸
出スルヲ許シタルイリ封鎖ハ中立國船ニノ封鎖港ニ入ルモノトナ
ルニ付此ノ場合ノ封鎖ハ效力ヲ失ハリト看做カレ封鎖被破トシ
テ拿附カレタル丁木船ヲラニシカガ等ハ許被マラセリ

第七章 軍事的補助

(款 对 帮助)

第一 軍事的補助ノ種類

學者カ非中立後務 (Municipal service) 干渉後務 (Holligering service) 禁制輸送 (Transport interdiction) 接推防 (Port of refuge) (Contrabande par voie d'eau) 或ハ中立船船カ一方 文書圖ノ類々ニ至ルニ付人又ハ信書ヲ輸送スルコトニ付後ハ戰時禁制人及戰時禁制書ノ名ヲ用テルコトアリハ我國海陸通商法ニ章) 非中立後務又ハ禁制輸送ノ名ヲ用テル學者ハ人及信書ノ輸送ヲ之ヲ戰時禁制品輸送ト性質異ナリトシ彼此用之別々トシ取スルナリ又ハ戰時禁制品輸送ハ敵ノ爲ニ直接ノ後務ヲ爲クモノニ付ラサルモ敵ノ爲ニ軍隊兵士又ハ戰争ニ付係アル信書ヲ輸送スルハ敵ノ爲ニ直接ノ後務ヲ爲クモノニ付ラズ文書圖ノ一方トシテ係カ禁制品輸送ヨリモ一層深キヲ以テ

之ヲ禁制由輸送ト區別セラルハカラスト島セルナリ余ハ禁制由輸
 送ノ或場合ハ其輸送ノ方法ニ依リ非中立役分ニ屬セシムルハキモノ
 テリ人又ハ信書ノ輸送ニ或場合ニハ其輸送ノ方法ニ依リ其法理
 上ノ性質等口普通ノ禁制由輸送ノ場合ト區別スルコトアルヲ信
 單ニ輸送ノ目的切カ物品タルカ又ハ人若ハ信書タルカニ依リテ
 然タル區別ヲ立ツルヲ不可トス輸送者ハ非中立役分又ハ禁制輸
 送ノ名ヲ用ヒスレテ軍事的補助又ハ銀行補助 (Kassieratzen
 Kautelle) ノ名ヲ用ヒ而シテ單ニ人又ハ信書ノ輸送ノミナラス
 通信ヲ伝達シ又ハ銀行行爲ニ加ヘル等中立船舶ノ輸送ノ名ニスル諸
 種ノ補助ヲ又ニ含メシメテ其中ニ例裁ニテシテニ原ノ區別ヲ爲シ
 (倫敦宣言第三章)
 (一) 敵ノ爲ニスル人ノ輸送、
 現行ノ慣習國際法上ノ規則ニ依リハ敵國軍隊ハ敵國ノ兵力ニ
 歸入セラレタル各員ノミナラス其到達後敵國軍隊ニ歸入セルハ
 亦個人ノ俘虜ト爲シ得ヘキ要員ナル敵國ノ又高又ハ敵國ノ代理

人トシテ外國ニ赴ク個人等ヲ輸送スルモ非中立役分ト認メラル
 ニモコレコトアリ例ハ敵國ノ元首又ハ其以國大臣ノ俘虜トナル
 ヲ免ルルカ爲メ回ヲ脱スルニ占リ中立船舶カ又ハ採集セシムル
 ハ非中立役分トナルコトアルヘク又敵ノ爲メニ公債ヲ募集スル
 爲メ外國ニ赴ク者ヲ採集セシムルコト又ハ赤十字會但立船舶
 カ敵入ヲ採集セシムルコト又ハ直ニ中立船舶カ敵ノ爲メノ役
 多トシテ是等ノ人ヲ輸送スルコト云フヲ得ス船舶所有者又ハ
 船長カ採集セシムル人ノ資格ヲ知レルニ由ラス之ヲ輸送セル場合ニ
 アラハレハ敵ノ爲ニ役分ヲ爲スト云フヲ得タルヘキナリ
 之ニ及ビテ船舶カ直接ニ敵入ヲ輸送スル爲メ敵ニ依リ船舶ヲ
 レタル場合ニハ船舶カ敵ノ爲メニ役分ヲ爲スト云フヲ得ヘキコ
 ト明ナリ例ハ若干人ノ私カニ軍隊ニ入ルルノ意思ヲ蓄ヘテ各
 自乗船シテ中立船舶ノ切符ヲ買ハルル敵船舶カ敵ノ爲ニ是等ノ
 人ヲ輸送スルノ非中立役分ヲ行フト認メラルヘキニアラス然レ
 トニ敵ノ代理人カ公然ト是等ノ人ノ爲ニ切符ヲ購ハルトキハ該船

非中立の爲ニ又非ノ人ヲ輸送スル非中立行為ヲ行フト爲セラル
ヘキモノトス又敵國ノ元帥ヲ逃シントシテ名ヲ偽リテ密絶タル
中立船舶ノ切符ヲ買ハルトキハ船舶ハ敵ノ爲ニ人ヲ輸送スルノ
行為ヲ爲スト看做サレルコトナシ然レトモ中立船舶ニモ何人
タルヲ知リテ之ヲ輸送セルトキハ現時ノ多數ノ説ニ依レハ敵ノ
爲ニ非中立行為ヲ爲スト看做サレルニ至ルヘキナリ敵國代理人
カ直接ニ船舶セル船舶ヘソレンドシテ何等事件及オロズンボ
何等事件ニ至リテハ其敵ノ爲ニ非中立行為ヲ行フモノナラコト
疑フ必シカレナリ

在米ノ英國ノ慣例ニ依レハ中立船舶ハ敵ノ爲ニ積付ニ來
リ巴ハヲ得ヌ輸送ヲ爲サラズタル場合ニ於テモ又善意ニテ積
付ノ敵タル貨物ヲ有スルヲ知ラザリシ場合ニ於テモ之ヲ理由トシ
テ拿捕ノ免除スレトシテ認メヌカコトヲイフ何等事件オロズンボ
何等事件ノ如キハ此例ナリハ我國捕獲規程三八第二項參照
在米ノ慣習法上ノ規則ニ依レハ敵カ中立國ニ送ル所ノ外交使
節ヲ便乗セシムルモ敵ニ送ヘタル所ニ對スル例外トシテ非中立

三六二

行為ヲ以テ論セラルルコトナカルヘキナリ是レトシテ何等事件
ニ依リテ知レテ得ヘキナリ但中立船舶ノ外交使節カ他
方ノ交戦國ニ交付スル同盟談判ノ爲メ中立國ニ對シテスル等
他方交戦國ノ自衛上ノ緊急狀態ヲ以テ該對ニ必要ナルトキハ此
ノ如キ外交使節ノ中立國ニ赴クヲ妨クルノ如置テ執リ得ヘシ
我國捕獲規程ハ現時禁制人トハ敵兵其他ノ者ニシテ該國ノ軍
中ニ從テ爲メ輸送セラルル者ヲ謂フト爲シ而シテ戰時禁制品ノ
如クモ到達地ニ至ル規定ヲ置カズ到達地ノ敵地ナルト否ト
ヲ問ハズ戰時禁制人トナリ得ルト爲ス而シテ輸送スル船舶友軍
ノ所有物ニ在ル戦貨ヲ沒收スト爲シ船長ニ於テ過失ヲクシテ
事實ヲ知ラサルコトヲ証明シタルトキハ此ノ限リニアラストス
戰時禁制人ハ之レヲ俘虏ト爲スハ言フ得タスハ在規程一一、四
〇一

倫敦宣言ニ於テハ敵人ノ輸送ニ付テモ場合ヲ分チテ規定ヲ爲セ

三六三

(一) 中立船舶ニシテ現ニ且等ヲ派回軍隊、*Transports armées*ノ輸送ニ從事スル場合ニ於テハ軍事的補助トシテ没収セラルハク且一概ニ敵ノ商船ノ没クルトシテ一ノ処分ヲ受クヘキモノトス(四六第一項第四号)

(二) 中立船舶ノ敵ノ軍隊ニ編入サレタル個人ノ旅客ヲ (*passagers individuels incorporés dans la force armée de l'ennemi*) 輸送スルトハ其ノ時ニシテ輸送ノ目的ヲ以テ航海スル場合ニ於テハ軍事的補助トシテ没収セラル(但(一)ノ場合ト異ニシテ一概ニ戦時禁制品輸送ノ為ニ没収セラルル中立船舶ト同一ノ処分ヲ受クヘキモノトス)
(四五第一項第一号) 時一概ノ軍隊ニ編入サレタル者ヲ輸送スル目的ヲ以テ航行スルニトシテ著シキ例ハ平素航路ヲ一定セシ船舶ヲ或テ飛テ航海ヲ為シ敵ノ運載ノ為メ又ハ敵ノ人ヲ上陸セシムル為メ且下乗時没セサル甚ニ奇港ニシテ場合アリトシテ平素航路ヲ一定セシ船舶ニシテ其ノ平素ノ航路ニ於テ派回軍隊ニ

編入サレタル個人ヲ輸送スル場合ハ軍事的補助トシテ没サレズ
シテ斯ノ如キ中立船舶ヲ令捕没収シ得ズ
然レトモ此ノ場合ニ於テモ文戦回運艦ハモシテ伴船シ共ノ輸送ノ人ヲ海制ヲ以テ自己ノ权力以テ没シセテ伴船ト為シ得ルニトス(四七)

(三) 中立船舶ノ軍事的補助トシテ現ニ且等ヲ派回軍隊ニ從事スルニシテ平素ノ人持ニ軍隊ニ編入サレタル者ヲ輸送スル目的ヲ以テスル航海中ニ在リニテ平素ト母ニ船主、船舶全部ノ無船者又ハ船長ノ情ヲ知リテ敵ノ軍隊ノ一部 (*détachement militaire*) ヲ輸送スルトキハ軍事的補助トシテ現ニ且等ヲ派回軍隊ニ從事スルニシテ平素ノ人持ニ戦時禁制品輸送ノ為ニ没収セラルル中立船舶ト同一ノ処分ヲ受クヘキモノトス(四六第一項第一号) 此場合ニ於テハ總令航路ヲ一定セシ船舶ノ平素ノ航路ヲ航海スル場合ニ於テモ軍事的補助トナルナリ

(四) 中立船舶ノ航海中別ハ信号又ハ無線電信ニ依リ情報ヲ傳フ

ル等敵ノ作戦動作ニ対スル直接ノ補助ヲ与ル敵國人又ハ中
立人ヲ送船船ノ船主、船長、船員等ノ備船者又ハ船長ノ情ヲ知り
テ輸送スルトキハ軍事的補助ヲ為スト認めラレ船船ハ没収セ
ラルハク日一級ニ就テ特禁制區輸送ノ為メ没収セラルル中立船
ト同ノ如ク度々ハキモノトスハ四五第一項第一号ニ
(丁) 敵ノ輸送ニ從事スル中立船船力全部敵國政府ノ為メニ歸
入シラレタル場合ニ於テハ船船ハ没収セラルハク日一級ニ
敵ノ商船トシテ必分テ度々ハキモノトスハ四五第一項第三
号)

(己) 敵ノ輸送ニ從事スル中立船船力敵國政府ノ該船以テ乘組
マレメタル代理人ノ命令ヲ受ケヌハ只監督ヲ受ケル場合ニ於
テハ船船ハ没収セラルハク日一級ニ敵ノ商船トシテ必分テ
度々ハキモノトスハ四五第一項第二号)
倫敦宣言ニ於テ注意スハキハ左ノ如シ
(甲) 人ノ輸送ニ于テ軍事的補助ニ付キニ種ノ區別ヲ認メテ

一 種ノ事情輕キモノハ一級ニ就テ特禁制區輸送ノ為メニ没収セ
ラルル中立船船ト同一ノ如ク度々ハキモノトスルノ事情重キモ
ノハ一級ニ敵商船ト同一ノ如ク度々ハキモノトスルコト共
一リ (四五、四六)

(乙) 中立船船ハ一航海中遭害ニ就テ作戦行商ノ補助ヲ為ス場
合及本部敵國政府ノ為ニ歸入シラレタル場合ヲ除キテハ(現
ニ敵ノ軍隊ニ歸入セラルル者ヲ輸送スルニテラサレハ軍事的
補助ト認メラレサレト共ニ一、予備隊後備隊ノ人力軍隊
ニ歸入セラルル為メ敵國ニ師ヲシテ輸送スルニ軍事的
補助トナラサルナリ)

(丙) 敵ノ軍隊ニ歸入セラルタル者ニシテ中立船船以テ在ルトキ
ハ船船ヲ拿捕スルヲ得タル場合ト爲メ且テ停滯ト爲スヲ認め
タルコト共三十一(四七)
(三) 敵ノ為メニスル情報ノ傳達
現今行ハルル慣習法ノ規則ニ依レハ双方ノ交戦區ハ敵ヨリ係ニ

又ハ該ニ向ケタル政治上ノ信書殊ニ軍事ニ干渉スル信書ノ輸送
ハ我國捕獲規程ニ依レハ敵國政府ノ官吏共公務ニ往復スル一切
ノ公文書等ノ輸送ニ干シテ中立船舶ヲ必罰シ得ヘキナリ然レ
トモ此取則ニ干シ例外ヲ存ス例外ノ第一ハ公使一干領事ル信書
ニテ中立國政府ハ双方ノ交戦國政府トノ交通ヲ妨遏マラズル
コトヲカレヘキヲ以テ中立船舶ハ敵國政府ヨリ中立國政府ニ宛
テ又ハ中立國政府ヨリ敵國政府ニ宛テタル信書ヲ輸送スル為ニ
必罰ヲ受ケレコトナク又敵國政府ヨリ中立國ニ駐在スル其外交
使節若ハ領事一宛テ又ハ中立國ニ駐在スル敵國ノ外交使節若ハ
領事ヨリ敵國政府ニ宛テタル信書ヲ輸送スル為ニ必罰ヲ受ケル
コトナレハ我國捕獲規程一ニ例外ノ第一ハ郵便信書ニテ又ハ郵
便ニ付テマレタル信書ハ封鎖ノ場合ニ封鎖港ヨリ發シ又ハ封鎖
港ニ宛テシレタルモノヲ除キテハ敵ノ公私ノ郵便信書タリトモ
悉ク不可侵ナリトナラレハ捕獲執行使ノ制限ニ干スル故チ茶の
一ルヲ以テ中立船舶ノ必載スル郵便物中ニ敵ノ為メニスル通

信ヲ含メル信書アリトモ軍事的補助ニ觀ムラレコトナシ
中立船舶カ其船中ニ敵ヨリ發シ又ハ敵ニ宛テタル政治上ノ信
書ヲ載又タルノ故ヲ以テ直ニ該船舶ヲ敵ノ為メニ該信書ヲ運
スルノ任務ヲ為スモノト看做スヲ得ス信書ヲ輸送スル場合ニ於
テ船舶ノ係着カ信書ノ性質ヲ如キタルノ事實アルハ又ハ船舶カ
信書を運ノ為メ直接ニ歸船ナレタルノ事實アルニアラサレハ敵
ノ為ニ輸送ノ任務ヲ為スト看做サレサルモノト知シ其他敵國ヲ
利スルカ為メ情報ヲ得ルル船舶ヲ拿捕シ時ノ如キ船舶及其所有
者ニ届スル取領ヲ受取スヘキヲ定ムルコトアリハ我國捕獲規程
三七第五段及四七
倫敦宣言ハ中立船舶ノ為メ一情報ヲ往還スル場合ニ於テ軍
事的補助トナルヘキヲ定ム倫敦宣言ハ所謂情報ノ往還ハ
*Transmission de nouvelles*ノ何タルカニ干シテ既
明ヲ去ヘサルモ所謂情報ノ往還カ口上ノ往還ノコトヲス得故チ
載タル信書ノ往還ヲ包含ムル辭狀人ヘナリ
三六九

倫敦宣言ハ情報ノ傳達ニ于テ軍事の補助ニ付テ互別ヲ立テ

(一) 敵ヲ利スル為メ情報ノ傳達ニ阻ニ且專ラ從事セシムル中立船舶
ハ受收マラレヘク且一般ニ敵ノ船舶ト同一ノ処分ヲ受クヘキ
モノトスヘ四六第一項第四号)

(二) 敵ヲ利スル為メ情報ノ傳達スル目的ヲ以テ時ニ航海スル中
立船舶ハ受收マラレヘク且一般ニ戦時禁制品輸送ノ為メニ反
收セラルル中立船舶ト同一ノ処分ヲ受クヘキモノトスヘ四六
第一項第一号)

情報ノ傳達スル目的ヲ以テ時ニ航海スル若シキ例ハ平素航
路ヲ一定セル船舶カ敵ニ情報ヲ傳達スル為メ其平素ノ航路ヲ
離ラテ下東寄港セラルル港ニ寄港シ又ハ斯ノ如キ港ニ寄港スル
トスル航海中ニ在ルコトナリ航路ヲ一定セル船舶カ其平素ノ
航路ヲ離レシムル航海ノ便次ヲ以テ敵ニ情報ヲ伝達スルハ軍
事的補助ヲ為スト認メラレヌコト也罰ヲ受クルコトナキナリ

然レトモ文戰回ハ其自衛ノ為メ緊急ノ必要アレハ情報ノ敵
達スルヲ妨ケル為ニ必要ナル手段例ハ信書ノ没収、船舶ノ押
留等ヲ行フコトヲ得ヘキモノト思惟ス

中立船舶カ信号又ハ無線電信ニヨリ通信ヲ送ル等ノ方法ニ依
リ敵ノ作戦動作ニ対シテ航海中直接ノ補助ヲ与ルモノヲ輸
送スル場合ハ情報ノ傳達ニ干渉スルコトアルモノノ輸送ニ干
スル軍事的補助トナルヘキヲ以テ禁ニ述ヘス

(三) 敵人輸送又ハ情報傳達以外ノ場合
在系ノ慢習法ニ於テモ中立船舶ニシテ直接ニ戰闘行為ニ加ハル
場合又ハ中立船舶カ全部敵國政府ノ為ニ備ハレラレヌル場合ハ
中立船舶ノ資格ヨリ生スル利益ヲ主張スルヲ許サレサリニモ
中立船舶ニシテ實際上敵國政府ノ権利ノ下ニ立ツ場合ニ付
テ慣例カ充分ニ明確ナリト云フヲ得人
倫敦宣言ハ(一)中立船舶ニシテ直接ニ戰闘行為ニ加ハル場
合(四六第一項第一号)(二)中立船舶ニシテ全部敵國政府ノ

船隻ニ補入シラシタル場合ハ公法各項第三号ニ並ニ(3)中立船隻ニシテ敵國政府ニ於テ該船隻ハニ乗掛マンメタル代理人ノ命令ヲ受ケ又ハ其監督ヲ受ケル場合ハ公法各項第二号ニ於テ船舶ハ没収ナルヘク且一船ニ其敵國商船タル場合ニ没スルト公一ノ処分ヲ受クヘキモノトス

(1) 中立船舶ニシテ直接ニ戦闘行為ニ加ハル場合トハ例ハ戦闘中一方ニ補助ヲ与フルカ如キヲ謂ノ事ノ如キハ實際ニ於テ殆ト一時敵ノ兵力ノ一部ヲ成スニ等シキヲ以テ敵性ヲ有スル私船ノ如ク取扱ハル戦闘中、中立船舶力文戦闘ノ一方ヨリ捕獲免許状ヲ受ケルコトモナク掠奪ノ意思ニ因リ文戦闘ノ一方ノ商船ヲ攻撃シテヲ掠奪シ又ハ没収セシムル如キハ並ニ沖淵賊船行為ニ加ハルモノニアラスニシテ海賊船行為トモテ論マラルヘキモノナリ

(2) 公法敵國政府ニ補入シラシタル場合ニハ、敵ノ運込所ノ如何ナル目的ノ為ニモ使用シ得ヘキヲ以テ中立性ノ利益ヲ受ケル

コトヲ得ヘカラス時ニ戰時禁制品ニ屬スル性質ノ貨物ヲ輸送スル為ニ使用ガルルコトアリ得ヘキナリ

(3) 敵國政府ノ代理人ノ命令又ハ監督ノ下ニ航海スル中立船舶ハ實際ニ於テ殆ト一時敵ノ兵力ノ一部ヲ為スニ等シキヲ以テ敵性ヲ有スル私船ト同様ノ取扱ヲ受ケルニ至ル

第二 軍事的補助ノ結果

中立船舶ノ敵ノ為ニ軍事的補助ヲ為セル事實ノ臨検搜索ニ依リ明白ナルカ又ハ之ニ依リ斯ノ如キ事實アルノ重大ノ嫌疑ヲ存スルトキハ之ヲ拿捕シ得ヘキナリ拿捕ハ公海及交戦國相隣ニ於テ之ヲ行フヲ得

軍事的補助ノ為ニ船舶ヲ拿捕スルハ船舶力軍事的補助ノ現行法ニルカ又ハ軍事的補助ヲ行ヒテ後直ニ之力為ニ船舶力没収セラルル同ニ於テノミ之ヲ行フヲ得ヘキナリ故ニ中立船舶力敵ノ軍隊ニ編入マラレタル箇々ノ乗客ヲ輸送シ又ハ敵ノ為メニ情報ヲ得定スル

目的ヲ以テ捕ニ行ハル航海ヲ終ハタル後ハ拿捕スルヲ得ス又敵ノ
艦隊ノ一部又ハ航海中直英ニ敵ノ作戦動作ヲ補助スル人ヲ上陸ス
ルニシテ後ハ拿捕スルヲ得ス而シテ軍事的補助ヲ行ヘル者ハ敵ノ
私船ト同様ニ取扱ハルハキ中立船舶ハ四六一ト云モ其軍事的補助
ノ後ヲ皆クル後ハ現行中ト云フヲ得スニシテ又ア拿捕シ得ルニシ
ル故ニ例ハ敵國政府ノ代理人ノ命令又ハ監督ノ下ニ航海スル船舶
モ該代理人ノ船ヲ去レル後ハ之ヲ拿捕スルヲ得ス但該船ニ戰艦行
船ニ加ハレル中立船舶ニ至リテハ之ヲ拿捕スルコト現行ノ條ニ依
ラザルハキカ如シ

今日迄行ハシヨル慣例ニ依レハ敵ノ為ニ人又ハ船書ヲ輸送セルノ
故ヲ以テ拿捕ナレル中立船舶ハ没収ニ付ハキモノトビラレタリ
且英國ノ慣例ニ依レハ船舶所有者ニ屬セル戰艦モ亦没収ナル而シ
テ船舶カ人又ハ船書ヲ輸送セルノ故ヲ以テ没収ニ得ナル場合ニモ
一旦拿捕シテ之ヲ引致スルトキハ敵人ハ之ヲ作廢トシ船書ハ之ヲ
没収セリ然レトモ拿捕ナ行ヒ得ナル場合ニ於テモ中立商船内ニ在

ル敵國ノ軍需ニ輸入カレタル個人ノ作廢トスルヲ認ムルコト倫敦
宣言ハ四七ノ加クナルニトナシトス多數ノ國ハ中立船舶ヲ拿捕
スルニイテカレハ其中ニ在ル敵人ノ作廢ト爲シ得ナルヲ認ムトレ
ントモ市中件ニ於テ各敵國政府ノ有部諸州ノ代表者ヲ解放セルハ此
理由ニ基ク

倫敦宣言ニ於テハ敵ノ為ニ軍事的補助ヲ爲ス船舶ハ没収ニ得ルニ
トシ而シテ没収カレタル船舶ノ作主ニ居スル戰艦モ没収ニ得ルニ
ト爲スハ四五及四六ノ而シテ中立船舶ヲ拿捕スルヲ得ル場合ニ
モ中立商船内ニ在ル敵國軍隊ニ輸入セザレタル者ハ之ヲ作廢ト爲
シ得ルニトスハ四七ノ故ニ船舶カ平民素ノ航海ニ於テ敵ノ軍隊ニ
輸入カレンル者ヲ輸送シ又ハ開戦ノ市況ヲ知ラズニシテ敵ノ軍隊ノ
一歩ヲ輸送シレ場合ニ於テモ船中ニ在ル敵ノ軍隊ニ輸入カレタル
者ハ拿捕ニ得ハキナリ是レ現行ノ实例ト異ナル所ナリト云モ既ニ
赤十字条約ノ原則ヲ海戰ニ適用スル海牙条約第十二條ニ於テ公積
ノ規定ヲ認メタリ又船内ニ在ル船書ニ付シテ、倫敦宣言ニ明クヲ

存マサルモ目衛上緊急ノ必要ナルトキハ船舶ノ扣留ヲモ行ニ得
ク船書カ郵便物ノ一部ヲ為ササル場合ニ於テ船舶ノ扣留ヲ行ハ人
ニテ船書ノ没収ヲ行フコトヲ得ハオモノト為スハシ倫敦宣言ノ敵
人ニ于スル規定ハ四七ノ類推ハ此ノ解釈ヲ許スモノノ如シ
中立船舶ノ軍事的補助ヲ行フノ故ヲ以テ没収シ得ルニハ法律上
所謂悪意ヲ存セシレハカラス倫敦宣言ニ於テハ其敵國商船ト同様
ニ取扱フヘキヲ定メタル場合ハ四六ノ節ナハト中立船舶カ直安
ニ取調行爲ニ加ハレル場合ハ二ノ敵國政府ニ於テ中立船舶取ニ乘
組マシメタル代理人ノ命令又ハ其監督ヲ受ケル場合ハ三ノ全部敵
國政府ノ為メニ傭入シラレタル場合又ハ四ノ現ニ且專ラ敵國軍
隊ノ輸送又ハ敵ノ利益ナル為メ積積ノ行送ニ從事スル場合等ノ四ノ
場合ニハ惡意ヲ持スルモノト認メラル故ニ戰爭開始ノ際ニ作キ
軍事的補助ノ他ノ場合ニ于テハ常ニ惡意ノ存在ヲ認メ得タルヲ
以テ船舶カ未ダ開戦ノ前定ヲ知ラサルトキハ船長ニ於テ戰爭ノ
開始ヲ知りタルモ未ダ其輸送スル人員ヲ上陸セシムルヲ得サルト

十八軍事的補助ヲ以テ論セストキハ四五第三項ニ而シテ船舶カ
戰爭開始後敵港ヲ出港シタルトキハ中立港所屬國ニ對シ戰爭開
始ノ告知アリタル後相當ノ期間ヲ経テ決港ヲ出港シタルトキハ斯
ノ如キ船舶ハ交戦状態ノ中立ヲ知りタルモノト看做スハ四五第三
項ニ
倫敦宣言ハ軍事的補助ヲ行ハル船舶ハ没収ヲ受ケ得キヲ定ムル
モ船舶ノ処分ノ點ニ關シ種々ニ依リて異ナルハ前文ニ奉ケタ
ル四ノ場合ハ四六ノ一ハ一級ニ敵國商船トシテノ処分ヲ爲スハ十
モノトス其結果トシテハイ一級中ニ在ル船舶ノ貨物ハ没収ト推定
サレハ五九ノ船中ニ在ル中立貨物持主ハ其貨物ノ中止性ヲ証明セ
ハルニカラスハ二級ノ船中ニ在ル敵貨ハ没収シ得ハクハ三級宣言
三則ハハ一級倫敦宣言ノ中立船舶ノ破壊ノ制限ニ于スル規定ハ四
八、四九ノ八適用ヲキニスリ又ハ二級交戦國ノ捕獲處檢所ノ檢定
ニ對シテ船主カ國際捕獲處檢所ニ和許ヲ爲スヲ得ルハ一級ニ船舶カ
没シテ敵國商船トシテノ処分ヲ受クヘキ種類ノ軍事的補助ヲ行ハ

「ト認ムヘキヤ否マノ明題ニ下スルノミトナル（下）船貨ハ敵ノ
 商船ノ場合ノ如ク停揚ハ為ニ得ハク然レ海牙ノ捕獲取行儀ノ制取
 ニ下スル禁則中ノ敵ノ商船ノ船貨ノ停揚ニ下スル規定（第三章）
 ノ適用アルヘキカ如ク思惟セラル
 捕獲宣言ハ上述ノ四ノ場合以外ノ軍事的幫助（四五）ニ下シテハ
 一紙ニ戰時禁則品輸送ノ為ニ没収セラルル中立船舶ト公認ノ取扱
 フ度クヘシトス其結果トシテ船舶ハ中立ノ性質ヲ失ハス（イ）
 船中ノ貨物カ敵貨ト推定ナルコトナク（第五十九條ノ適用ナシ）
 （ロ）船中ニ在ル敵貨ハ没収セラルルコトナク（巴里宣言第ニ則
 ニ支取セラル）（ハ）船舶ハ如何ナル事情如何ナル状態ニ於テモ
 皆引致カ公認船舶ノ安全ヲ害シ又ハ其型ニ變用ナル作戦動作ノ成
 效ヲ害マラレ以上ハ捕獲檢査所ニ引致セサルヘカニス、引致シ得
 サレハセテ解放セラルヘカヲナルニ至ル（中立公認船舶ノ取扱ニ下
 スル倫敦宣言ノ第四十八條以下ノ適用アリ）（エ）又文獻圖ノ捕
 獲檢査所ノ檢査ニ対シテ回際捕獲檢査所ニ推所シ得ヘキ其船貨

ニ付テ敵ノ商船ノ船貨ノ停揚ニ下スル海牙条約ノ規定ノ適用ナキ
 フト明白ナリ

第八章 中立船舶ノ臨檢及拿捕

第一 臨檢

臨檢ノ权利トハ交戦者カ船舶ノ中立性ヲ有スレヤ否マ事ノ實格ヲ
 檢シ且戰時禁則品輸送、軍事的幫助、對頻屢取等ノ交戦者ニ有害
 ナル行爲ヲ行フコトヲキマ否マヲ檢スルノ权利ニシテ此目的ノ為
 ニ船舶ヲ停船セシメ檢査ノ臨檢ヲ行ヒ結局ニ於テ船中ヲ搜索スル
 ノ取扱ヲ含ム
 臨檢ノ权利ハ交戦國ノ條約ノ單艦カ以テ行ヒ得ヘキ所ナリ捕獲免
 許私船モ臨檢ノ权利ヲ有スルモ巴里宣言第一則ニ依リ捕獲免許私
 船ハ禁マラレタリ

臨終ノ権利ハ戰爭ノ存スル時ニ得ハキト云フニテ開戦
前又ハ戰爭終了後ニ行フヲ得スハ但平時ニ於テハ海軍ノ保護ノ
場合又ハ特別奈武ニ基ク場合ニハ軍艦ヲ外國船舶ノ臨終ヲ為スコ
トアリ然レトモ宣ハ戦時ニ於ケル文戦者ノ臨終ノ権利ト異リトス
○休戦中拿捕ヲ行ヒ得ハキト云フハ同趣トナルヘキモ元來休戦ハ交
戰者同ニ直接ノ戰前行為ヲ中止スルニ外ナラズシテ戰爭状態ヲ終
止スルニモノニテサルヲ以テ中立國船ニ對シテ休戦中ニ臨終
ノ権利ヲ行ヒ得ハキト云フ

○臨終ノ権利ハ文戰國ノ領海及公海ニ於テモ行ヒ得ハシ中立國ノ
領海ニ於テハ之ヲ行ヒ得ス時ニ文戰國ハ其臨終ノ権利ヲ戰時ノ現
場ヨリ遠キ地方ニ於テハ行ハサルコトアリ南河戰爭ノ際英國ハア
テニ以テ於テハ之ヲ行ハサルコトト為セリ
十九世紀中中立國軍艦ハ文戰國軍艦ノ臨終ヲ度クハキモノニアラ
サルコト一紙ニ宣ハラルニ至レリ但軍艦用ノ受寄ヲ為ス中立國
ノ公船ノ例ハ運送船ハ軍艦ト曰候ニシテ臨終ヲ為シ得サルコト

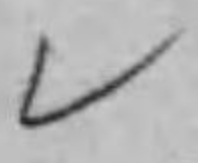
明ナルモ軍艦用ノ受寄ヲ為ササル公船ノ例ハ中立國政府ニ居スル
郵船ニ付テハ受寄ヲ存ス余ハ公船ハ此点ニ于テハ總テ軍艦ト同
様ニ取扱ムヲ可アリトナス
臨終ヲ度クハキ船舶ノ同趣ニ下條ニテ注意ヲ要スルハ護送ノ同趣
ナリトスナリ在況中英國和蘭國ノ戰爭ノ時瑞典ハ中立商船カ本國
ノ軍艦ニ護送スレ護送軍艦ノ指揮官カ被護送船中ニ戰時禁制品ナ
キコトヲ証言セハ文戰者ハ斯ノ如キ被護送中止商船ノ臨終ヲ行フ
ヲ得タルヘキヲ主張マリー一五六年和蘭ハ中立國トシテ中立國カ
其商船ヲ護送スレノ権利ヲ主張セリ十八世紀ノ末ニ至リ中立國ノ
護送ノ権利ハ大座諸國ノ主張スル所トナリ第一武裝中立同盟締結
ノ時(一七八〇年)ヨリ第二武裝中立同盟締結ノ時(一八〇〇年)
ニ至ル向ニ護送ノ権利ヲ認めタレ奈武裝中立同盟ノ際、瑞、丹、瑞典、
仏、北米合衆國等ノ諸國同ニ結ハレタリ然レトモ英國ハ此權利ヲ
否認セリ一八〇〇年ノ第二武裝中立同盟ハ殊ニ中立國ノ護送ノ權
利ヲ主張セリ十九世紀ニ於テ多數ノ國ハ此權利ヲ認ムリニ至リシモ英
國ハ常ニ此權利ヲ否認シ本國ノ軍艦ノ護送ヲ度クル中立國商船ニ

計シテモ臨検ヲ行ヒ得ヘシト爲セリ而シテ護送軍艦カ臨検ニ抵抗
 スルトキハ依テ護送セル商船カ抵抗セストモ是等ノ商船ヲ臨検ス
 抵抗シタルモノト有候シテ奉册没収スヘシト爲セリ或國ハ本國軍
 艦ニ護送セラルル中立船ハ重大ナル嫌疑アル場合ニシテハ護
 送軍艦ノ指揮官カ其船中ノ回籍、奈航地及到達地至ニ船舶書類ノ
 完備スルコト、臨時禁制令、臨時禁制令、臨時禁制令ヲ發シタル
 事トヲ明記シテ署名シタル宣言書ヲ提出シタルトキハ臨検ヲ行フ
 事得スト爲ス、我國海軍規程三三三

〇倫敦宣言ニ於テ護送ノ同意一千シテ英國ハ讓歩ヲ爲シ意ニ中立回
 ノ其軍艦ニ依リ或國ノ商船ヲ護送スルノ権利ヲ認メ本國軍艦ノ護
 送ヲ受ケル中立船舶ニ對シテ臨検ヲ免テスルコトヲ定ムルニ至レ
 リ(ハス一)但護送軍艦指揮官ハ文戰國軍艦指揮官ノ請求アルトキ
 ハ其船舶ノ性質及積貨ニ付テ臨検ニ依リテ知ルヲ得、ナ總テノ情
 報ヲ書面ヲ以テ通知スヘシトス(同條)而シテ文戰國軍艦指揮官
 ニシテ臨検送軍艦ノ數カレ居ルコトヲ報、トキハ讓歩ノ旨ヲ護送

軍艦指令官ニ通知スヘシトス此場合ニ於テ護送軍艦指令官ニ於テ
 檢証ヲ行フヘク檢証ノ結果ハ之ヲ證書ニ作リ其船中一區ヲ文戰國
 軍艦士官ニ交付スヘキモノトス檢証ノ事實ニ依リ護送軍艦指揮官
 ニ於テ文戰國軍艦カ護送船舶ノ一隻又ハ數隻ヲ拿捕スルニ相当ノ
 事決アリト爲ムルトキハ是等ノ船舶ニ對シテ軍艦護送ノ保護ヲ
 撤回シ文戰國軍艦ノ処分ニ委スヘキモノトス(ハス二)檢証ノ結果
 護送軍艦指揮官ハ上述ノ如キ事實ヲ認メサルモ文戰國軍艦ニ於テ
 船舶嫌疑アリト爲ス場合ニ於テハ文戰國政府ヨリ外交裁判ヲ中立
 國政府ニ對シテ爲スノ外ナキナリ
 臨検ノ方法ニ付テハ横綱ノ一定セラルル莫アリ是等ノ一定セラル
 莫ニ付キニ同國ノ條約ヲ以テ約定ヲ爲スコトアリ
 中立船ノ臨検ヲ行ハントスルトキ軍艦ハ中立船ノ停船ヲ余ハ文戰
 國軍艦ハ船舶ヲ追フニ當リ其真ノ回籍ヲ示テサルヲ得ルモ停止ヲ
 命スルニ當リテハ真ノ回籍ヲ揭ケサルヘキラス、我國海軍規程五

停止ヲ命ズルハ他号波、汽笛又ハ白燈（夜間）ヲ改テ中立船舶
カニニ應マサレハ艦砲ニ奉テ連発シ爾レニニ應マサレハ船首ノ前
方ニ向テ実弾ヲ發シ艦停止マシテハ先ヨ船舶ノ撞撃ヲ最右
ニ其船体ニ及ボスヘキモノトス（公規程五四條）船舶ヲ停止シ
シルトキハ復艦ハ相當ノ距離ニ停止ス此距離ハ場合ニ應シ又海上
風波ノ状況ニ依リ異ルヲ免レヌ
船舶ヲ停止シタルトキハ艦長ハ艦檢士官ニ使直補助士官ヲ派シ之
ヲ端艇ニ乗リ組マシメ船舶ニ派遣ス艦檢士官ハ必要アレハ一二ノ
端艇員ヲ伴ヒテ船舶ニ臨檢ス（公規程五五條）
復艦ノ臨檢ニ於テ艦檢士官ハ船舶書類ノ閲覧ヲ強請シ得ヘク船舶
書類ノ閲覧正ニ船舶ノ職員、船員ノ尋問等ニ依リ（イ）船舶ノ國
籍（ロ）其動向及乗客ノ姓名及（ハ）出航地、寄港地及到着地ヲ
確メシレ即チ杖尺ノ臨檢アリ或ハ臨檢ヲ爲スヘキ船舶ニ對シテ其
端艇員又ハ書類等ヲ軍艦ニ送致スルコトヲ請求シ得ヤシムル國
アルモ或國ノ押便規程ハ如何ナル場合ニモ之ヲ請求スルコトヲ得



又トス（公規程五三）若シ被襲ノ艦檢ノ結果國際法上制裁ヲ加ヘ
得ルチ行爲ノ形跡ニ嫌疑モ存マサルトキハ艦檢士官ハ艦檢ニ干渉
スル事候ハ艦檢ノ時、場所、軍艦ノ艦名及艦長ノ氏名艦檢士官ノ
氏名等ヲ被襲日誌ニ記入シ艦長ノ命ヲ受ケ直ニ之ヲ解放ス若シ
被襲ノ艦檢ノ結果國際法上制裁ヲ得ヘキ行爲ノ形跡明ナレハ
直ニ拿捕ヲ行フモノトス形跡明ナラサルモ偏不嫌疑アリト認ムル
トキハ船舶ノ被襲ヲ行フ
船舶ノ被襲ノ艦長又ハ其代理者立会ノ上トテ爲スヘク（公規程五
九）被襲ヲ行フニハ船舶及被襲ニ損害ヲ与ヘタルコトニ注意シテ
ルヘカラス明瞭ニタル場所及器具ハ艦長又ハ其代理者ヲシテ之ヲ
開カシムヘキモノトス（公規程六一）艦長カ之ヲ開クコトヲ拒ムト
キハ強制ヲ用ヒテ之ヲ開クシムルヲ得ルハ我國捕獲規程カ艦長ノ
把ムトキハ臨檢ノ必要ヲ行ヒ得ヘキヲ認メタルハ（六〇）不可ナ
リ但艦長カ船舶全体ノ被襲ヲ援助スルヲ拒ミ又ハ船舶ノ開ク
タル場所及器具ノ被襲ヲ援助スルヲ拒ミタルトキハ艦長ニ船舶ヲ拿

拒絶

船主ノモトニテハ
被索ノ船主ニモトヤハ移置マレ物ハ注意シテ同以ニ復マレカ
ラス

地索ノ結果嫌疑解ケ臨検士官カ船舶ヲ拿捕メハカテスト取ムルト
キハ艦長ノ命ヲ受ケテ直ニ船舶ヲ解放シ船舶ヲシテ其航路ヲ進行
セシハ但臨検及被索ニ干渉スル事實ヲ船舶ノ航海日誌ニ記セラル
ハカラス

臨検支被索ノ結果國際法上制裁ヲ加ヘ得ハキ行爲ノ形跡明トナレ
ルカ若ハ猶ハ斯ノ如キ行爲ノ重大ナル嫌疑ヲ存スルトキハ船舶ハ
之ヲ拿捕シテ自國港ニ引致スルヲ得ヘキナリ但自國港ニ引致シテ
後上述ノ如キ行爲ヲ行ハカリニコト明白トナルトキハ拿捕ヲ正当
トスル好別ノ事因ケレハ拿捕ヲ行ヘル者カ船舶ノ損失ニ對シテ
充分ノ損害賠償ヲ爲カレハカラナルヲ以テ海上ニ於ケル被索ノ
結果上述ノ如キ行爲ノ明証ニキトキハ重大ナル嫌疑アルニテラ
レハ船舶ヲ解放スヘキナリ

本條ノ臨検ノ権利ノ行使即チ停船、臨検、及被索ニ對シテ裁カテ
以テ抵抗ヲ爲セル中立船舶ハ直ニ拿捕マフルヘキナリ然レモ他ノ理
由ニ依リ如前ニ得ナルモ強カテ以テ抵抗ヲ爲ストキハ其理由ヲ以
テ船舶ヲ反収シ得ヘキナリ倫敦宣言ニ亦之ヲ認ム(六三)例ハ停
船ヲ命スル軍艦ニ對シテ強カテ以テ自ラ防禦シ又ハ停船又ニコレヲレ
ソル船舶カ臨検士官ノ乗船ヲ強カテ以テ拒ミ又ハ其書類ノ検査ヲ
強カテ以テ妨害シ又ハ被索ヲ爲ストキハ強カテ以テ妨害スル
如キハ強カテ以テ抵抗ヲ爲スモノニテ船舶ヲ拿捕シ且反収シ得
ヘキニ至レ

新ノ如キ船舶ノ載貨ノ処分ニテハ既分レ英米主義ニ於テハ船
船ノミナラス載貨ヲモ反収シ得ヘシト爲セルモ大抵學者ハ多クハ
船舶ノミカ反収シ得ヘキモノナルヲ論シタリ倫敦宣言ニ於テハ英
載貨ハ船舶内ニ在ル載貨ノ反ナルトム一ノ処分ヲ受クルト爲シ船
長又ハ船舶ノ持主ニ屬スル債物ハ該貨ト看做スト爲スヘキニ改
ニ船長又ハ船舶ノ持主ニ屬スル債物ハ該船内ノ載貨ト同シク之ヲ
三三七

(3) (2)

三三八
改収に其他ノ載貨モ及証ナキ以上ハ改貨ト推定シ候テ該船以テ改貨ノ如ク改収シ得ハキコトナルナリ

強カク用ヒスニテ逃走ニ依リ臨検ヲ免レントセル船舶ハ臨検ニ堪
坑ニル船舶ト云フヲ得ス斯ノ如キ船舶ハ現今ノ普通ノ慣例ニ於テ
モ単ニ逃走ノ改ヲ以テ拿捕改収ヲ為スコトハ倫義實言モ亦然リ
トス但逃走ヲ為ス船舶ハ之ヲ追蹙シテ強カク以テ停船セシメ得此
目的ノ為メ強カクニ依リ逃走船ヲ改貨ト推定スルコトナリ
又賠償ヲホムルヲ得ス逃走ニ依リ臨検ヲ免レントセル船舶ナリト
ス若シ強カク以テ停船セシメタル後臨検改貨ニ依リ國際法上罰款
ヲ加ヘ得ハキ行爲ヲ存マレトコト明白ナルトキハ其航海ヲ続行
セシメサレハカラス

中立國商船ノ敵國ノ軍艦ノ護送ノ下ニ航海スルトキハ商船ノ自ラ
強カク以テ抵抗ヲ爲サ、ルモ自ラ強カク以テ抵抗セルモノト同視
スヘキコトハ今日ニ於テハ吾々認メラルル所ナリ
臨検ヲ受クル船舶ノ其節ハナルハカラサル船舶書類ヲ提供スル能

ハカスルトキハ嫌疑ナシ船舶ナリトス船舶ノ備ハサルハカラサル船
舶書類ハ下ノ如シ

- (一) 船舶国籍證書又ハ改回籍證書
- (二) 船員名簿
- (三) 航海日誌
- (四) 載貨目錄

(五) 船務記帳簿及運狀

其他備船ノ場合ニハ船舶契約書 (Charter-party) ナ具ハサル
ハカラス又船舶竣工後船主ニ戻リナト向ハ船舶者ノ契約書ヲ具ハ
ス船舶ノ護送アリタルトキハ前記證書ヲ具ハサルハカラス又改船
ニ付テハ乗客名簿ヲ具ハサルハカラス又普通出航前番及健康證書
ヲ具フヘキモノトス

船舶書類ノ備ハラサル為ニ嫌疑ヲ度ケタル船舶リ改貨ニ依リ嫌疑
ヲ解クヲ得カレトキハ斯ノ如キ船舶ヲ拿捕シ充分ノ検査ヲ行フ為
メ自國港ニ引致スルヲ得然レトモ船舶国籍證書又ハ改回籍證書ヲ